

「中山間地域の災害復興と地域振興に関するアンケート調査」結果報告書

§ 1 調査概要

(1) 目的

本調査は、中山間地域を対象として、令和元年東日本台風で被災した地域の復興に向けた住民の安全・安心を確保する取組や、人口減少等への対策に資する地域の特性を生かした持続可能なまちづくりの取組の検討・実施に向けた基礎資料とすることを目的に実施したものの。

(2) 対象地区

- ・津久井地区（青根地区、青山地区、青野原地区、鳥屋地区）
- ・相模湖地区（小原地区、千木良地区、与瀬地区）
- ・藤野地区（佐野川地区、澤井地区、牧野地区）

(3) 期間及び方法

令和2年2月21日～3月10日を期間として、タウンプラス（日本郵政実施事業）による郵送で配布。アンケート返信は郵送。

(4) 調査項目

属性

- ・性別、年齢、職業、居住年数

令和元年東日本台風関連

- ・台風の接近から災害発生後の3日程度の間、あなたが困ったこと
- ・現在、困っていることや今後の不安なこと
- ・今回の台風の避難情報（避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示）を得た方法
- ・身近な地域の災害情報（土砂崩れ、家屋の浸水、道路の通行止めや解除）を得るための方法
- ・ひばり放送（防災無線）を聞くことができる戸別受信機の必要性
- ・災害後の津久井地域について（台風被害による将来の当地域の活気）
- ・復旧・復興に向けた取組に向け、市の取組として、重要だと思うもの
- ・復旧・復興に関する取組で、十分に行われていると思うもの

地域の特性を生かした持続可能なまちづくり関連

- ・居住地区内での地域活動への参加状況
- ・今後、居住地区内での地域活動への参加意向
- ・地域の活性化に向けた地域外の人たちとの交流
- ・現在の生活で困っていることや不安
- ・今の地域への居留意向について
- ・今後、地域の活性化に向けて充実させてほしいこと
- ・居住地区の地域資源

§ 2 調査結果

(1) 調査結果の概要

配布数は 5,432 通 で、回収数は 1,895 件。回収率は約 35%。

地区名		配布数	回収数	回収率
津久井地区	青根	265	74	28%
	青野原	696	214	31%
	青山	1,071	356	33%
	鳥屋	806	281	35%
相模湖地区	小原	158	65	41%
	千木良	628	218	34%
	与瀬	659	236	36%
藤野地区	佐野川	276	117	42%
	澤井	219	92	42%
	牧野	654	242	37%
全 体		5,432	1,895	35%

回答者は、70 歳以上割合が最も多い、次いで 60 歳代と高齢の方が多い。

居住地区で地域活動に参加しているのは、約半数、さらに今後、地域活動に参加したいと回答も多い。

地域活動に参加している、興味のある居住者が多く、地域活動の広がりが期待される。

地域外の人たちの交流について、取り組むべきであると、約 7 割が回答している。

地域外の人たちを巻き込んだ取り組みが求められている。

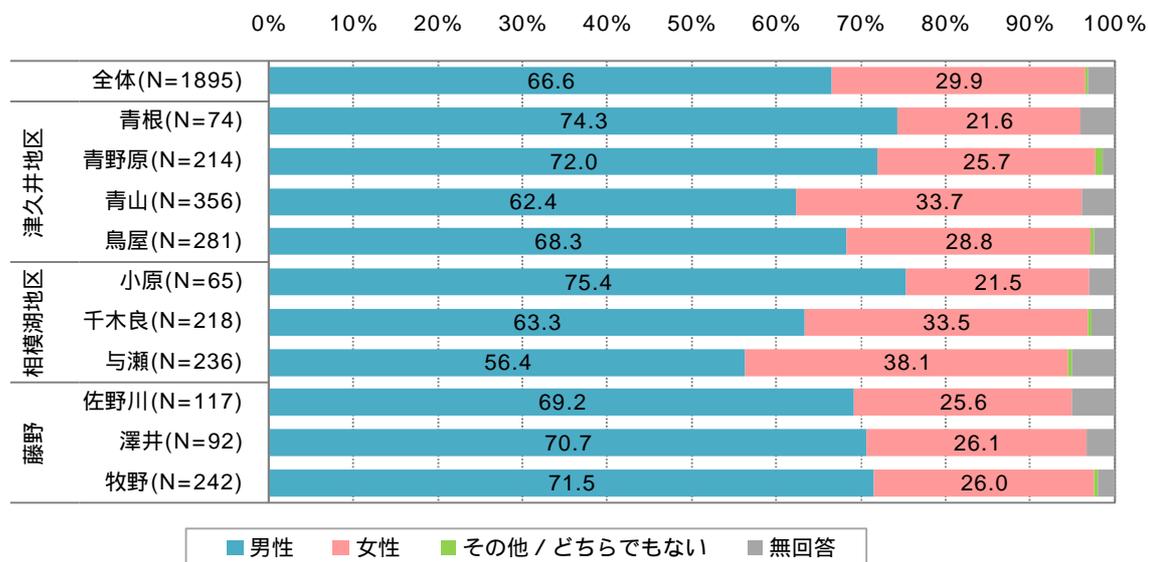
現在の生活で困っているや地域活性化に向けて充実してほしいことでは、公共交通や道路や公共施設の整備に関する回答が多い。

ハード整備に関する要望が多いが、ハード整備以外の方法も検討する必要があるため、より具体的に困窮している状況や求めている都市機能を把握する。

(2) 回答者の属性

問1 性別

- 回答者の性別は、男性が約7割、女性3割である。

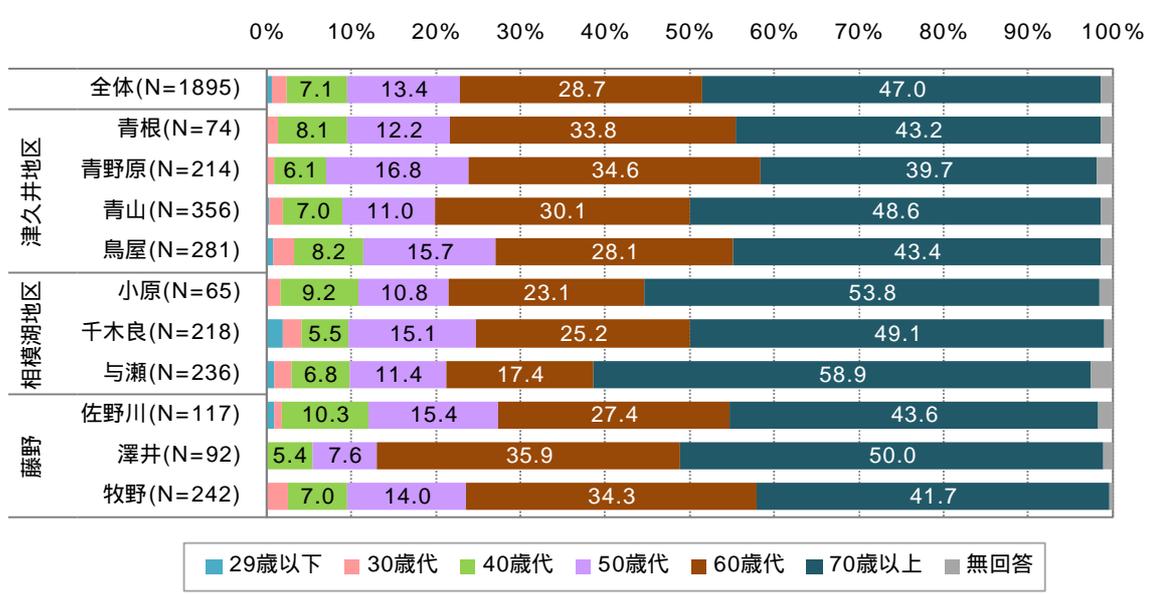


		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	男性	1,262	55	154	222	192
	女性	566	16	55	120	81
	その他/どちらでもない	6	0	2	0	1
	無回答	61	3	3	14	7
	全体	1,895	74	214	356	281
割合	男性	66.6	74.3	72.0	62.4	68.3
	女性	29.9	21.6	25.7	33.7	28.8
	その他/どちらでもない	0.3	0.0	0.9	0.0	0.4
	無回答	3.2	4.1	1.4	3.9	2.5
	全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	男性	49	138	133	81	65	173
	女性	14	73	90	30	24	63
	その他/どちらでもない	0	1	1	0	0	1
	無回答	2	6	12	6	3	5
	全体	65	218	236	117	92	242
割合	男性	75.4	63.3	56.4	69.2	70.7	71.5
	女性	21.5	33.5	38.1	25.6	26.1	26.0
	その他/どちらでもない	0.0	0.5	0.4	0.0	0.0	0.4
	無回答	3.1	2.8	5.1	5.1	3.3	2.1
	全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問2 年齢

- 回答者の年齢は、70歳以上割合が最も多い、次いで60歳代と高齢の方の回答が多い。

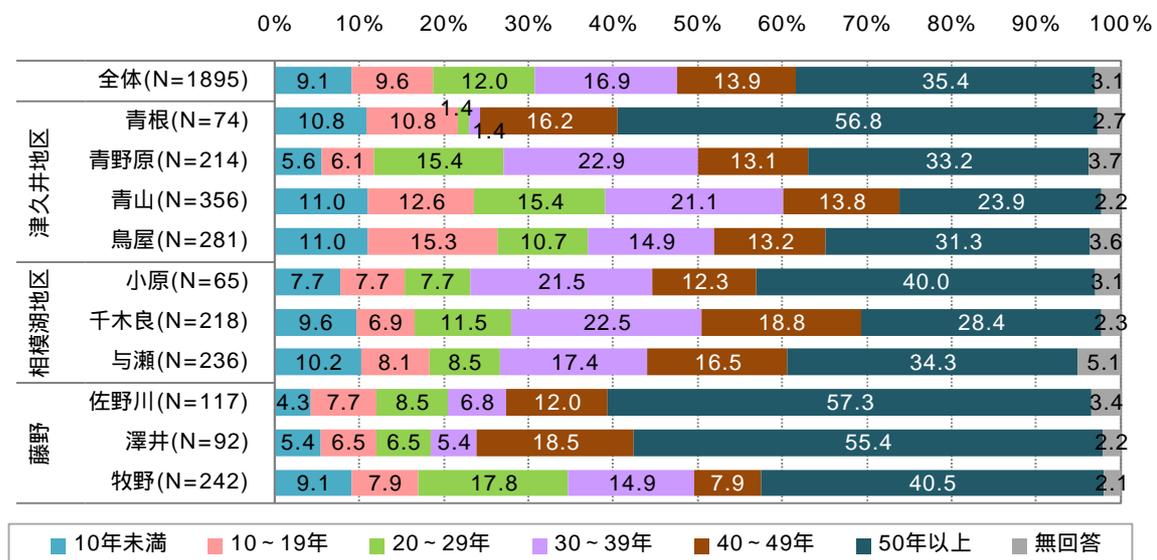


		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281	小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	29歳以下	10	0	0	1	2	0	4	2	1	0	0
	30歳代	34	1	2	6	7	1	5	5	1	0	6
	40歳代	135	6	13	25	23	6	12	16	12	5	17
	50歳代	254	9	36	39	44	7	33	27	18	7	34
	60歳代	544	25	74	107	79	15	55	41	32	33	83
	70歳以上	891	32	85	173	122	35	107	139	51	46	101
	無回答	27	1	4	5	4	1	2	6	2	1	1
	全 体	1,895	74	214	356	281	65	218	236	117	92	242
割合	29歳以下	0.5	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	1.8	0.8	0.9	0.0	0.0
	30歳代	1.8	1.4	0.9	1.7	2.5	1.5	2.3	2.1	0.9	0.0	2.5
	40歳代	7.1	8.1	6.1	7.0	8.2	9.2	5.5	6.8	10.3	5.4	7.0
	50歳代	13.4	12.2	16.8	11.0	15.7	10.8	15.1	11.4	15.4	7.6	14.0
	60歳代	28.7	33.8	34.6	30.1	28.1	23.1	25.2	17.4	27.4	35.9	34.3
	70歳以上	47.0	43.2	39.7	48.6	43.4	53.8	49.1	58.9	43.6	50.0	41.7
	無回答	1.4	1.4	1.9	1.4	1.4	1.5	0.9	2.5	1.7	1.1	0.4
	全 体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件 数	公務員	3	6	4	4	1	11
	自営業	7	24	19	13	8	33
	会社員	7	39	40	25	13	43
	主婦・主夫	9	35	38	12	11	30
	学生	0	2	1	0	0	0
	無職・定年退職	31	87	98	49	40	95
	その他	7	21	27	11	13	20
	無回答	1	4	9	3	6	10
	全 体	65	218	236	117	92	242
割 合	公務員	4.6	2.8	1.7	3.4	1.1	4.5
	自営業	10.8	11.0	8.1	11.1	8.7	13.6
	会社員	10.8	17.9	16.9	21.4	14.1	17.8
	主婦・主夫	13.8	16.1	16.1	10.3	12.0	12.4
	学生	0.0	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0
	無職・定年退職	47.7	39.9	41.5	41.9	43.5	39.3
	その他	10.8	9.6	11.4	9.4	14.1	8.3
	無回答	1.5	1.8	3.8	2.6	6.5	4.1
	全 体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問 4 居住年数

- 回答者の居住年数は、50年以上が最も多く、次いで30～39年が多い。



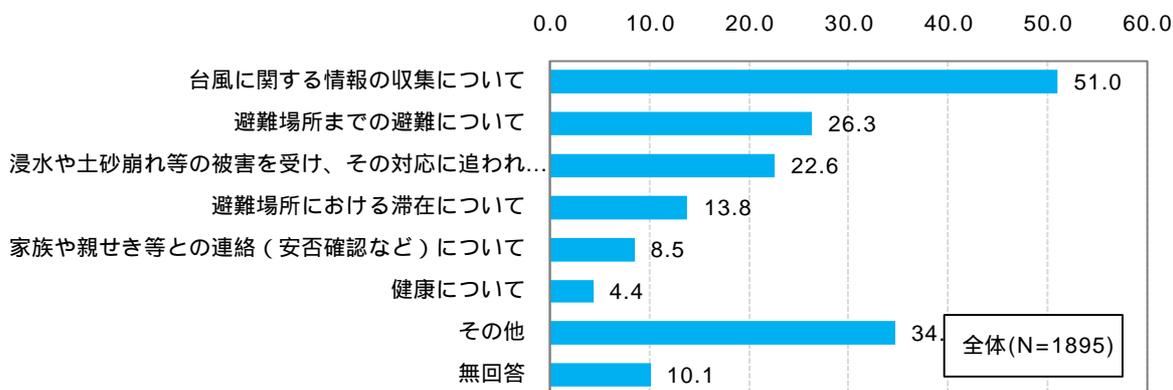
		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	10年未満	172	8	12	39	31
	10～19年	182	8	13	45	43
	20～29年	228	1	33	55	30
	30～39年	320	1	49	75	42
	40～49年	264	12	28	49	37
	50年以上	671	42	71	85	88
	無回答	58	2	8	8	10
	全体	1,895	74	214	356	281
割合	10年未満	9.1	10.8	5.6	11.0	11.0
	10～19年	9.6	10.8	6.1	12.6	15.3
	20～29年	12.0	1.4	15.4	15.4	10.7
	30～39年	16.9	1.4	22.9	21.1	14.9
	40～49年	13.9	16.2	13.1	13.8	13.2
	50年以上	35.4	56.8	33.2	23.9	31.3
	無回答	3.1	2.7	3.7	2.2	3.6
	全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件 数	10年未満	5	21	24	5	5	22
	10～19年	5	15	19	9	6	19
	20～29年	5	25	20	10	6	43
	30～39年	14	49	41	8	5	36
	40～49年	8	41	39	14	17	19
	50年以上	26	62	81	67	51	98
	無回答	2	5	12	4	2	5
	全 体	65	218	236	117	92	242
割 合	10年未満	7.7	9.6	10.2	4.3	5.4	9.1
	10～19年	7.7	6.9	8.1	7.7	6.5	7.9
	20～29年	7.7	11.5	8.5	8.5	6.5	17.8
	30～39年	21.5	22.5	17.4	6.8	5.4	14.9
	40～49年	12.3	18.8	16.5	12.0	18.5	7.9
	50年以上	40.0	28.4	34.3	57.3	55.4	40.5
	無回答	3.1	2.3	5.1	3.4	2.2	2.1
	全 体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 災害時において困ったことや、今、困っていること

問5 台風の接近から災害発生後の3日程度の間、あなたが困ったこと

- 台風の災害発生後の3日程度の間、困ったことで、最も多い回答は「台風に関する情報収集について」、次いで「避難所までの避難について」であった。

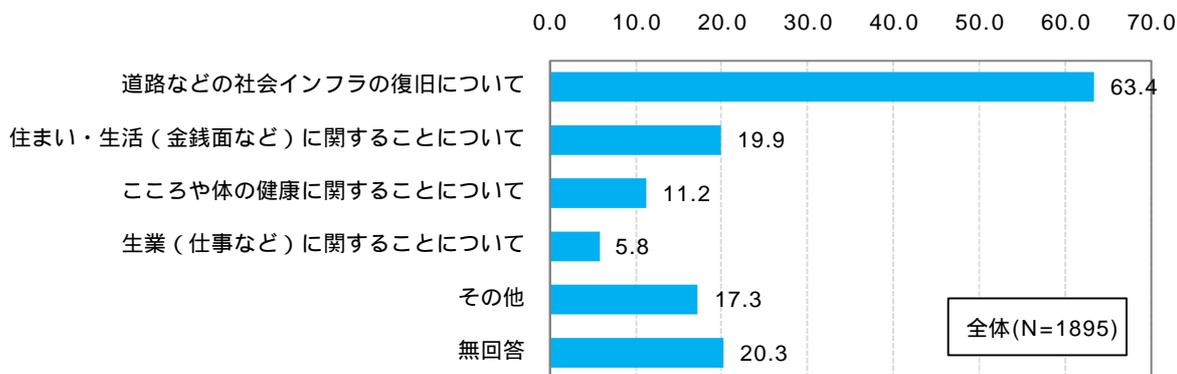


		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	台風に関する情報の収集について(ひばり放送が聞こえない、情報を得る方法がなかった等)	967	34	106	184	147
	家族や親せき等との連絡(安否確認など)について	162	8	15	19	47
	避難所までの避難について(遠いため行くことが難しかった等)	499	23	53	88	61
	避難場所における滞在について(狭い、必要なものがない等)	262	8	45	26	57
	健康について(受診ができない、薬がなくなった等)	83	5	9	8	14
	浸水や土砂崩れ等の被害を受け、その対応に追われていた	428	25	54	82	90
	その他	657	32	98	137	112
	無回答	191	5	14	35	15
	全 体	3,249	140	394	579	543
割合	台風に関する情報の収集について(ひばり放送が聞こえない、情報を得る方法がなかった等)	51.0	45.9	49.5	51.7	52.3
	家族や親せき等との連絡(安否確認など)について	8.5	10.8	7.0	5.3	16.7
	避難所までの避難について(遠いため行くことが難しかった等)	26.3	31.1	24.8	24.7	21.7
	避難場所における滞在について(狭い、必要なものがない等)	13.8	10.8	21.0	7.3	20.3
	健康について(受診ができない、薬がなくなった等)	4.4	6.8	4.2	2.2	5.0
	浸水や土砂崩れ等の被害を受け、その対応に追われていた	22.6	33.8	25.2	23.0	32.0
	その他	34.7	43.2	45.8	38.5	39.9
	無回答	10.1	6.8	6.5	9.8	5.3
	全 体	-	-	-	-	-

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	台風に関する情報の収集について（ひばり放送が聞こえない、情報を得る方法がなかった等）	29	102	106	69	53	137
	家族や親せき等との連絡（安否確認など）について	7	18	15	6	5	22
	避難場所までの避難について（遠いため行くことが難しかった等）	16	51	45	61	23	78
	避難場所における滞在について（狭い、必要なものがない等）	5	41	22	10	21	27
	健康について（受診ができない、薬がなくなった等）	4	12	12	2	4	13
	浸水や土砂崩れ等の被害を受け、その対応に追われていた	11	29	34	28	14	61
	その他	23	64	63	32	22	74
	無回答	7	26	48	6	10	25
	全 体	102	343	345	214	152	437
割合	台風に関する情報の収集について（ひばり放送が聞こえない、情報を得る方法がなかった等）	44.6	46.8	44.9	59.0	57.6	56.6
	家族や親せき等との連絡（安否確認など）について	10.8	8.3	6.4	5.1	5.4	9.1
	避難場所までの避難について（遠いため行くことが難しかった等）	24.6	23.4	19.1	52.1	25.0	32.2
	避難場所における滞在について（狭い、必要なものがない等）	7.7	18.8	9.3	8.5	22.8	11.2
	健康について（受診ができない、薬がなくなった等）	6.2	5.5	5.1	1.7	4.3	5.4
	浸水や土砂崩れ等の被害を受け、その対応に追われていた	16.9	13.3	14.4	23.9	15.2	25.2
	その他	35.4	29.4	26.7	27.4	23.9	30.6
	無回答	10.8	11.9	20.3	5.1	10.9	10.3
	全 体	-	-	-	-	-	-

問6 現在、困っていることや今後の不安なこと

- 現在困っていることとして、最も意見が多いのは「道路などの社会インフラの復興について」であり、次いで「住まい・生活(金銭面など)に関することについて」となっている。



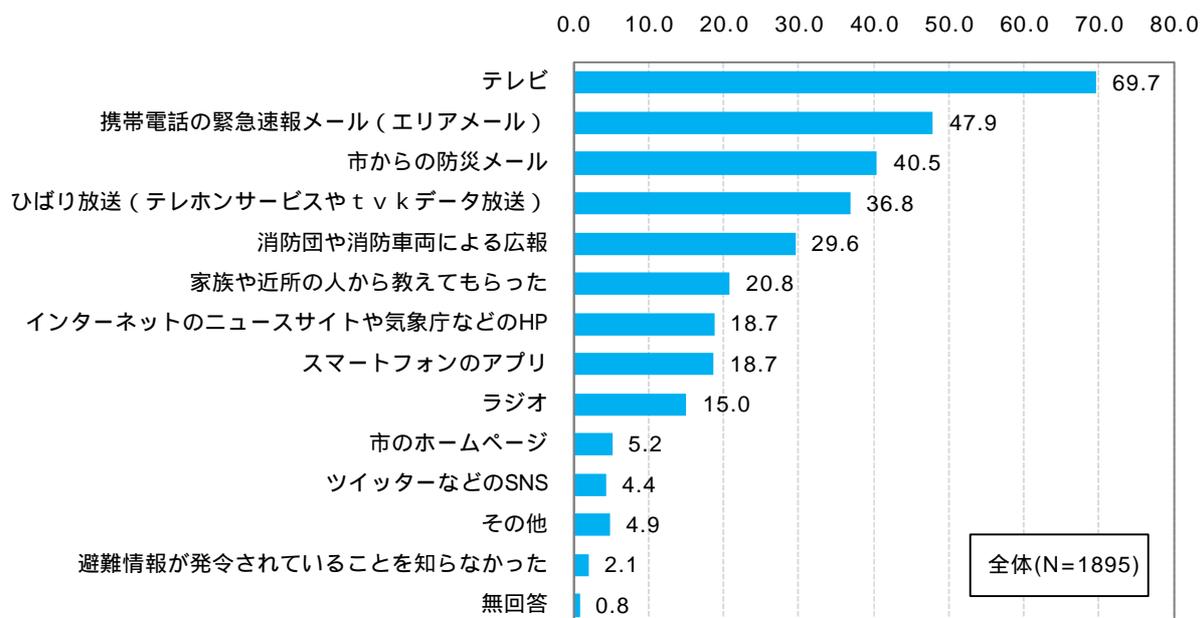
		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	住まい・生活(金銭面など)に関することについて	378	10	42	72	62
	道路などの社会インフラの復旧について (道路が通行止めで不便。住んでいる場所で土砂災害の恐れがないか心配など)	1,201	63	143	193	199
	生業(仕事など)に関することについて (災害により仕事ができなくなった。収入が減ったなど)	110	11	15	15	14
	ところや体の健康に関することについて (夜眠れない、食欲がない、体調がすぐれない、持病が悪化したなど)	213	7	23	43	36
	その他	327	21	36	58	51
	無回答	384	4	38	94	38
	全 体	2,613	116	297	475	400
割合	住まい・生活(金銭面など)に関することについて	19.9	13.5	19.6	20.2	22.1
	道路などの社会インフラの復旧について (道路が通行止めで不便。住んでいる場所で土砂災害の恐れがないか心配など)	63.4	85.1	66.8	54.2	70.8
	生業(仕事など)に関することについて (災害により仕事ができなくなった。収入が減ったなど)	5.8	14.9	7.0	4.2	5.0
	ところや体の健康に関することについて (夜眠れない、食欲がない、体調がすぐれない、持病が悪化したなど)	11.2	9.5	10.7	12.1	12.8
	その他	17.3	28.4	16.8	16.3	18.1
	無回答	20.3	5.4	17.8	26.4	13.5
	全 体	-	-	-	-	-

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	住まい・生活（金銭面など）に関することについて	12	40	51	22	21	46
	道路などの社会インフラの復旧について （道路が通行止めで不便。住んでいる場所で土砂災害の恐れがないか心配など）	41	141	128	73	56	164
	生業（仕事など）に関することについて （災害により仕事ができなくなった。収入が減ったなど）	2	11	14	5	4	19
	こころや体の健康に関することについて （夜眠れない、食欲がない、体調がすぐれない、持病が悪化したなど）	11	28	21	13	6	25
	その他	16	28	37	22	19	39
	無回答	11	49	60	22	18	50
	全 体	93	297	311	157	124	343
割合	住まい・生活（金銭面など）に関することについて	18.5	18.3	21.6	18.8	22.8	19.0
	道路などの社会インフラの復旧について （道路が通行止めで不便。住んでいる場所で土砂災害の恐れがないか心配など）	63.1	64.7	54.2	62.4	60.9	67.8
	生業（仕事など）に関することについて （災害により仕事ができなくなった。収入が減ったなど）	3.1	5.0	5.9	4.3	4.3	7.9
	こころや体の健康に関することについて （夜眠れない、食欲がない、体調がすぐれない、持病が悪化したなど）	16.9	12.8	8.9	11.1	6.5	10.3
	その他	24.6	12.8	15.7	18.8	20.7	16.1
	無回答	16.9	22.5	25.4	18.8	19.6	20.7
	全 体	-	-	-	-	-	-

(4) 災害時の情報について

問7 今回の台風の避難情報（避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示）を得た方法

- 台風の避難情報の入手方法で最も多かったのは「テレビ」であり、次いで、「携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）」となっている。



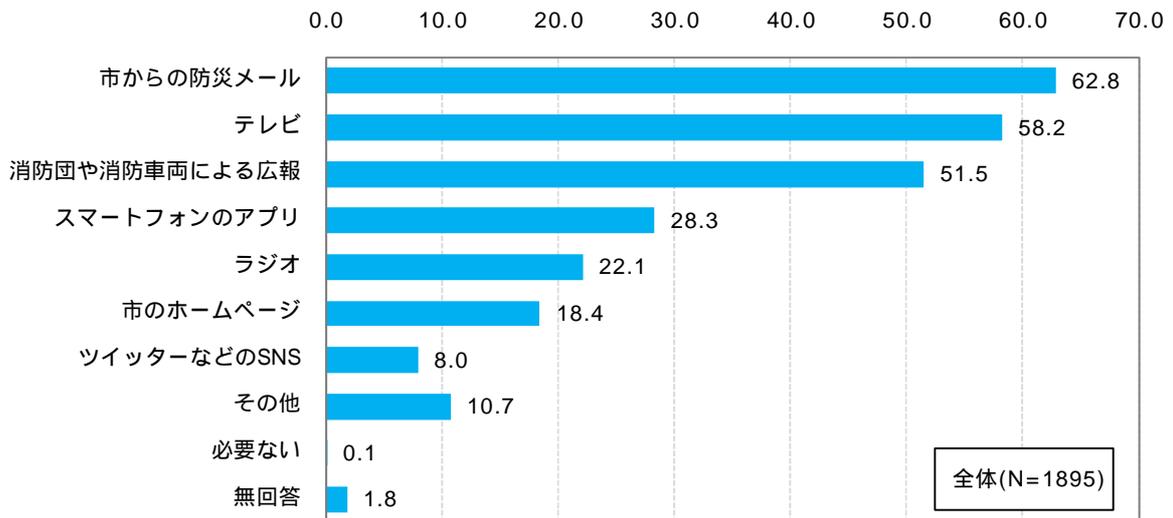
		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	テレビ	1,320	50	146	252	178
	ラジオ	285	18	39	45	41
	インターネットのニュースサイトや気象庁などのホームページ	355	11	22	70	48
	市のホームページ	99	1	14	19	17
	スマートフォンのアプリ	354	15	40	74	47
	ツイッターなどのSNS	83	2	6	13	10
	市からの防災メール	767	28	91	142	134
	携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）	908	40	103	171	139
	ひばり放送（テレホンサービスやtvkデータ放送含む）	698	22	73	157	90
	消防団や消防車両による広報	560	17	47	99	118
	家族や近所の人から教えてもらった	395	17	39	78	68
	その他	93	5	10	17	17
	避難情報が発令されていることを知らなかった	39	2	3	5	4
	無回答	16	1	3	1	3
	全 体		5,972	229	636	1,143

		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
割合	テレビ	69.7	67.6	68.2	70.8	63.3
	ラジオ	15.0	24.3	18.2	12.6	14.6
	インターネットのニュースサイトや気象庁などのホームページ	18.7	14.9	10.3	19.7	17.1
	市のホームページ	5.2	1.4	6.5	5.3	6.0
	スマートフォンのアプリ	18.7	20.3	18.7	20.8	16.7
	ツイッターなどのSNS	4.4	2.7	2.8	3.7	3.6
	市からの防災メール	40.5	37.8	42.5	39.9	47.7
	携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）	47.9	54.1	48.1	48.0	49.5
	ひばり放送（テレホンサービスやtvkデータ放送含む）	36.8	29.7	34.1	44.1	32.0
	消防団や消防車両による広報	29.6	23.0	22.0	27.8	42.0
	家族や近所の人から教えてもらった	20.8	23.0	18.2	21.9	24.2
	その他	4.9	6.8	4.7	4.8	6.0
	避難情報が発令されていることを知らなかった	2.1	2.7	1.4	1.4	1.4
	無回答	0.8	1.4	1.4	0.3	1.1
	全 体	-	-	-	-	-

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	テレビ	53	167	175	84	72	143
	ラジオ	13	25	42	16	17	29
	インターネットのニュースサイトや気象庁などのホームページ	13	49	49	21	14	58
	市のホームページ	2	10	13	4	3	16
	スマートフォンのアプリ	12	41	46	17	17	45
	ツイッターなどのSNS	3	13	12	4	1	19
	市からの防災メール	27	81	94	43	33	94
	携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）	31	103	99	57	50	115
	ひばり放送（テレホンサービスやtvkデータ放送含む）	28	85	93	39	39	72
	消防団や消防車両による広報	26	60	72	30	21	70
	家族や近所の人から教えてもらった	9	41	52	22	17	52
	その他	1	9	5	7	4	18
	避難情報が発令されていることを知らなかった	1	5	8	1	2	8
	無回答	1	1	3	1	1	1
	全 体	220	690	763	346	291	740
割合	テレビ	81.5	76.6	74.2	71.8	78.3	59.1
	ラジオ	20.0	11.5	17.8	13.7	18.5	12.0
	インターネットのニュースサイトや気象庁などのホームページ	20.0	22.5	20.8	17.9	15.2	24.0
	市のホームページ	3.1	4.6	5.5	3.4	3.3	6.6
	スマートフォンのアプリ	18.5	18.8	19.5	14.5	18.5	18.6
	ツイッターなどのSNS	4.6	6.0	5.1	3.4	1.1	7.9
	市からの防災メール	41.5	37.2	39.8	36.8	35.9	38.8
	携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）	47.7	47.2	41.9	48.7	54.3	47.5
	ひばり放送（テレホンサービスやtvkデータ放送含む）	43.1	39.0	39.4	33.3	42.4	29.8
	消防団や消防車両による広報	40.0	27.5	30.5	25.6	22.8	28.9
	家族や近所の人から教えてもらった	13.8	18.8	22.0	18.8	18.5	21.5
	その他	1.5	4.1	2.1	6.0	4.3	7.4
	避難情報が発令されていることを知らなかった	1.5	2.3	3.4	0.9	2.2	3.3
	無回答	1.5	0.5	1.3	0.9	1.1	0.4
	全 体	-	-	-	-	-	-

問 8 身近な地域の災害情報（土砂崩れ、家屋の浸水、道路の通行止めや解除）を得るための方法

- 災害情報を得たい方法としては、最も多いのは「市からの防災メール」であり、次いで、「テレビ」となっている。



		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	テレビ	1,103	43	111	228	137
	ラジオ	419	18	43	75	68
	市のホームページ	349	15	39	65	55
	スマートフォンのアプリ	536	20	60	100	82
	ツイッターなどのSNS	151	5	13	19	24
	市からの防災メール	1,191	47	139	221	186
	消防団や消防車両による広報	976	42	106	187	181
	その他	203	16	21	24	25
	必要ない	2	0	1	0	0
	無回答	35	1	8	5	5
		全 体	4,965	207	541	924
割合	テレビ	58.2	58.1	51.9	64.0	48.8
	ラジオ	22.1	24.3	20.1	21.1	24.2
	市のホームページ	18.4	20.3	18.2	18.3	19.6
	スマートフォンのアプリ	28.3	27.0	28.0	28.1	29.2
	ツイッターなどのSNS	8.0	6.8	6.1	5.3	8.5
	市からの防災メール	62.8	63.5	65.0	62.1	66.2
	消防団や消防車両による広報	51.5	56.8	49.5	52.5	64.4
	その他	10.7	21.6	9.8	6.7	8.9
	必要ない	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0
	無回答	1.8	1.4	3.7	1.4	1.8
		全 体	-	-	-	-

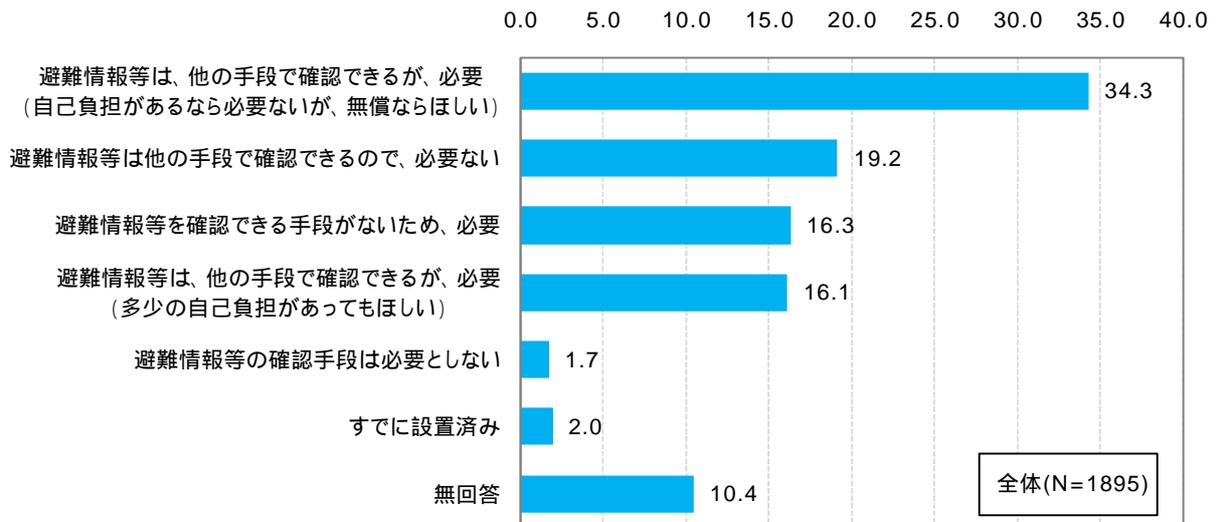
		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件 数	テレビ	39	132	146	82	59	126
	ラジオ	14	34	59	26	26	56
	市のホームページ	9	32	55	12	10	57
	スマートフォンのアプリ	18	60	69	34	26	67
	ツイッターなどの SNS	4	18	23	7	5	33
	市からの防災メール	39	133	139	71	55	161
	消防団や消防車両による広報	32	115	121	48	36	108
	その他	11	26	24	12	10	34
	必要ない	0	1	0	0	0	0
	無回答	1	1	5	2	1	6
	全 体	167	552	641	294	228	648
割 合	テレビ	60.0	60.6	61.9	70.1	64.1	52.1
	ラジオ	21.5	15.6	25.0	22.2	28.3	23.1
	市のホームページ	13.8	14.7	23.3	10.3	10.9	23.6
	スマートフォンのアプリ	27.7	27.5	29.2	29.1	28.3	27.7
	ツイッターなどの SNS	6.2	8.3	9.7	6.0	5.4	13.6
	市からの防災メール	60.0	61.0	58.9	60.7	59.8	66.5
	消防団や消防車両による広報	49.2	52.8	51.3	41.0	39.1	44.6
	その他	16.9	11.9	10.2	10.3	10.9	14.0
	必要ない	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1.5	0.5	2.1	1.7	1.1	2.5
	全 体	-	-	-	-	-	-

問 9

ひばり放送（防災無線）を聞くことができる戸別受信機の必要性

戸別受信機：屋外アンテナとセットで設置することで、屋内でもひばり放送の音声は自動で流れ、聞くことができる装置。

- 防災無念の必要性については、最も多いのは「避難情報等は、他の手段で確認できるが、必要（自己負担があるなら必要ないが、無償ならほしい）」であり、次いで、「避難情報等は他の手段で確認できるので、必要ない」となっている。



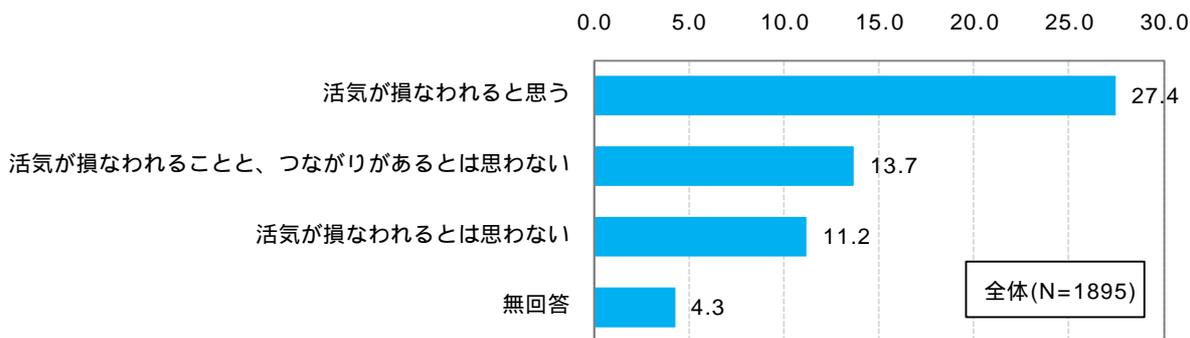
		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	避難情報等を確認できる手段がないため、必要	309	12	31	54	36
	避難情報等は、他の手段で確認できるが、必要（多少の自己負担があってもほしい）	305	16	28	43	46
	避難情報等は、他の手段で確認できるが、必要（自己負担があるなら必要ないが、無償ならほしい）	650	24	79	146	104
	避難情報等は他の手段で確認できるので、必要ない	363	10	42	73	56
	避難情報等の確認手段は必要としない	33	0	6	4	6
	すでに設置済み	37	0	0	0	3
	無回答	198	12	28	36	30
	全 体	1,895	74	214	356	281
割合	避難情報等を確認できる手段がないため、必要	16.3	16.2	14.5	15.2	12.8
	避難情報等は、他の手段で確認できるが、必要（多少の自己負担があってもほしい）	16.1	21.6	13.1	12.1	16.4
	避難情報等は、他の手段で確認できるが、必要（自己負担があるなら必要ないが、無償ならほしい）	34.3	32.4	36.9	41.0	37.0
	避難情報等は他の手段で確認できるので、必要ない	19.2	13.5	19.6	20.5	19.9
	避難情報等の確認手段は必要としない	1.7	0.0	2.8	1.1	2.1
	すでに設置済み	2.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	無回答	10.4	16.2	13.1	10.1	10.7
	全 体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	避難情報等を確認できる手段がないため、必要	4	35	34	29	19	55
	避難情報等は、他の手段で確認できるが、必要 (多少の自己負担があってもほしい)	9	30	43	26	18	46
	避難情報等は、他の手段で確認できるが、必要 (自己負担があるなら必要ないが、無償ならほしい)	19	86	61	29	30	72
	避難情報等は他の手段で確認できるので、必要ない	24	34	59	17	9	39
	避難情報等の確認手段は必要としない	2	4	7	0	1	3
	すでに設置済み	4	10	1	3	7	9
	無回答	3	19	31	13	8	18
	全 体	65	218	236	117	92	242
割合	避難情報等を確認できる手段がないため、必要	6.2	16.1	14.4	24.8	20.7	22.7
	避難情報等は、他の手段で確認できるが、必要 (多少の自己負担があってもほしい)	13.8	13.8	18.2	22.2	19.6	19.0
	避難情報等は、他の手段で確認できるが、必要 (自己負担があるなら必要ないが、無償ならほしい)	29.2	39.4	25.8	24.8	32.6	29.8
	避難情報等は他の手段で確認できるので、必要ない	36.9	15.6	25.0	14.5	9.8	16.1
	避難情報等の確認手段は必要としない	3.1	1.8	3.0	0.0	1.1	1.2
	すでに設置済み	6.2	4.6	0.4	2.6	7.6	3.7
	無回答	4.6	8.7	13.1	11.1	8.7	7.4
	全 体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 災害後の津久井地域(城山、津久井、相模湖、藤野)について

問10 台風による被害があったことにより、将来、津久井地域(城山、津久井、相模湖、藤野)の活気が損なわれるか

- 台風被害による津久井地域の活気について、最も多いのは「活気が損なわれることと、つながりがあると思う」であり、次いで「活気が損なわれると思う」となっている。



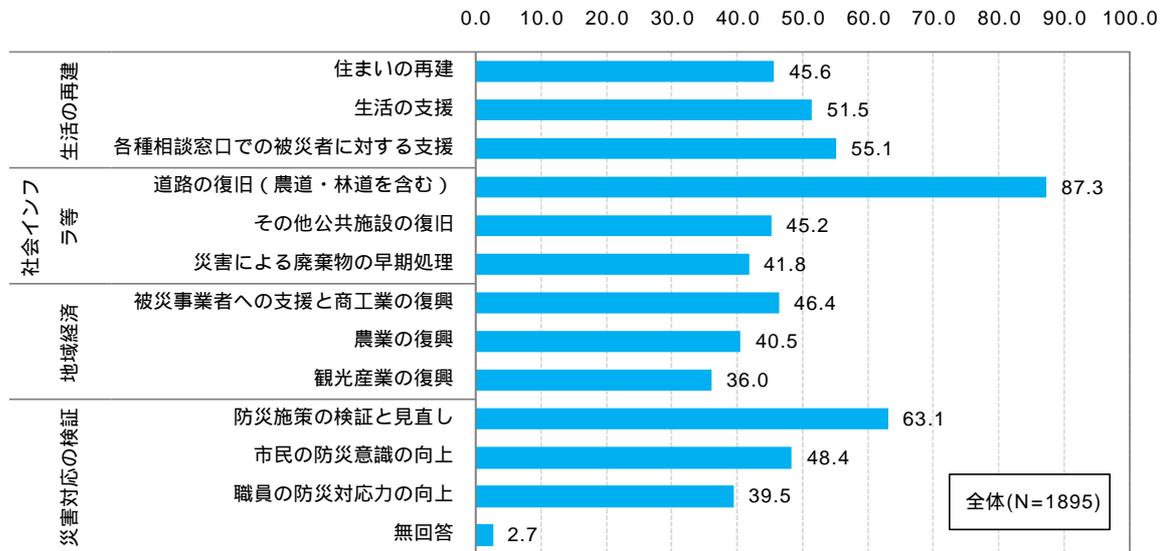
		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	活気が損なわれると思う	520	37	82	83	74
	活気が損なわれることと、つながりがあると思う	823	27	88	155	118
	活気が損なわれることと、つながりがあるとは思わない	259	4	22	55	43
	活気が損なわれるとは思わない	212	4	15	53	28
	無回答	81	2	7	10	18
全 体		1,895	74	214	356	281
割合	活気が損なわれると思う	27.4	50.0	38.3	23.3	26.3
	活気が損なわれることと、つながりがあると思う	43.4	36.5	41.1	43.5	42.0
	活気が損なわれることと、つながりがあるとは思わない	13.7	5.4	10.3	15.4	15.3
	活気が損なわれるとは思わない	11.2	5.4	7.0	14.9	10.0
	無回答	4.3	2.7	3.3	2.8	6.4
全 体		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	活気が損なわれると思う	15	47	50	41	23	68
	活気が損なわれることと、つながりがあると思う	30	106	101	50	34	114
	活気が損なわれることと、つながりがあるとは思わない	10	39	36	13	13	24
	活気が損なわれるとは思わない	7	16	36	10	16	27
	無回答	3	10	13	3	6	9
全 体		65	218	236	117	92	242
割合	活気が損なわれると思う	23.1	21.6	21.2	35.0	25.0	28.1
	活気が損なわれることと、つながりがあると思う	46.2	48.6	42.8	42.7	37.0	47.1
	活気が損なわれることと、つながりがあるとは思わない	15.4	17.9	15.3	11.1	14.1	9.9
	活気が損なわれるとは思わない	10.8	7.3	15.3	8.5	17.4	11.2
	無回答	4.6	4.6	5.5	2.6	6.5	3.7
全 体		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(6) 復旧・復興に向けた取組について

問 11 市の取組として、重要だと思うもの

- 復興・復旧に向けて市の取組で重要なものとして、最も多いのは「道路の復旧」であり、次いで「防災施策の検証と見直し」となっている。

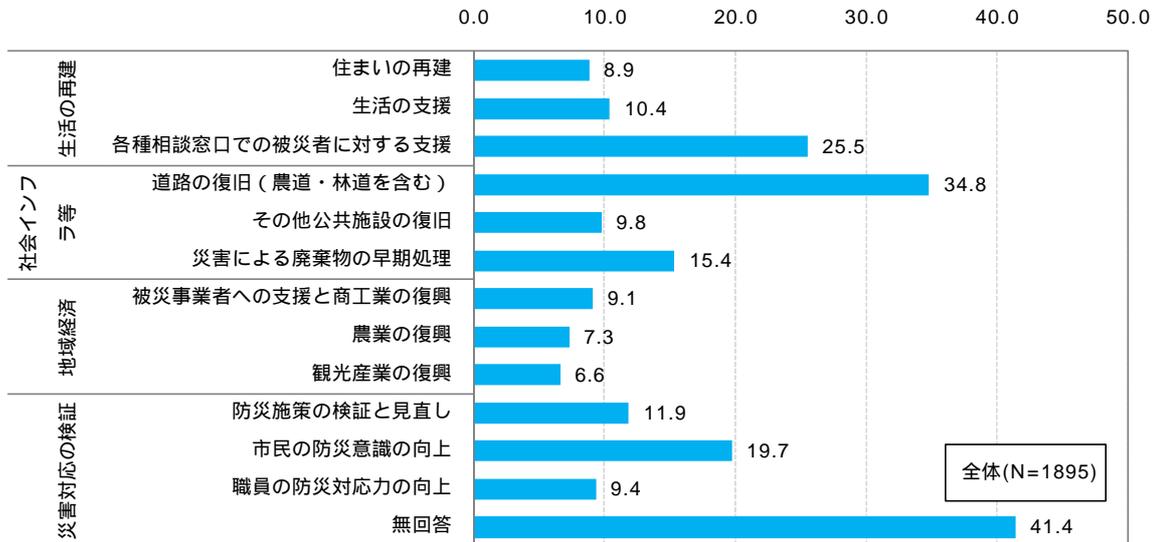


			全体 N=1,895
件数	生活の再建	住まいの再建・・・住宅の提供など	865
		生活の支援・・・義援金や生活資金に関する支援	975
		各種相談窓口での被災者に対する支援	1,045
社会インフラ等		道路の復旧(農道・林道を含む)・・・国道や市道など	1,654
		その他公共施設の復旧・・・河川や緑地など	857
		災害による廃棄物の早期処理・・・仮置き場の早期復旧など	792
地域経済		被災事業者への支援と商工業の復興・・・中小企業への融資制度	879
		農業の復興・・・農地・農業用施設の復旧支援など	768
		観光産業の復興・・・キャンプ場の復旧支援など	683
災害対応の検証		防災施策の検証と見直し・・・避難場所の運営方法の見直しなど	1,195
		市民の防災意識の向上・・・ハザードマップの配布など	917
		職員の防災対応力の向上・・・職員に対する訓練など	748
	無回答		51
全 体			11,431

			全体 N=1,895
割合	生活の再建	住まいの再建・・・住宅の提供など	45.6
		生活の支援・・・義援金や生活資金に関する支援	51.5
		各種相談窓口での被災者に対する支援	55.1
	社会インフラ等	道路の復旧（農道・林道を含む）・・・国道や市道など	87.3
		その他公共施設の復旧・・・河川や緑地など	45.2
		災害による廃棄物の早期処理・・・仮置き場の早期復旧など	41.8
	地域経済	被災事業者への支援と商工業の復興・・・中小企業への融資制度	46.4
		農業の復興・・・農地・農業用施設の復旧支援など	40.5
		観光産業の復興・・・キャンプ場の復旧支援など	36.0
	災害対応の検証	防災施策の検証と見直し・・・避難場所の運営方法の見直しなど	63.1
		市民の防災意識の向上・・・ハザードマップの配布など	48.4
		職員の防災対応力の向上・・・職員に対する訓練など	39.5
	無回答		2.7
全 体			-

問 12 復旧・復興に関する取組で、十分に行われていると思うもの

- 復旧・復興に関する取組で十分に行われているものとして、最も多いのは「無回答」であり、次いで「道路の復旧」となっている。



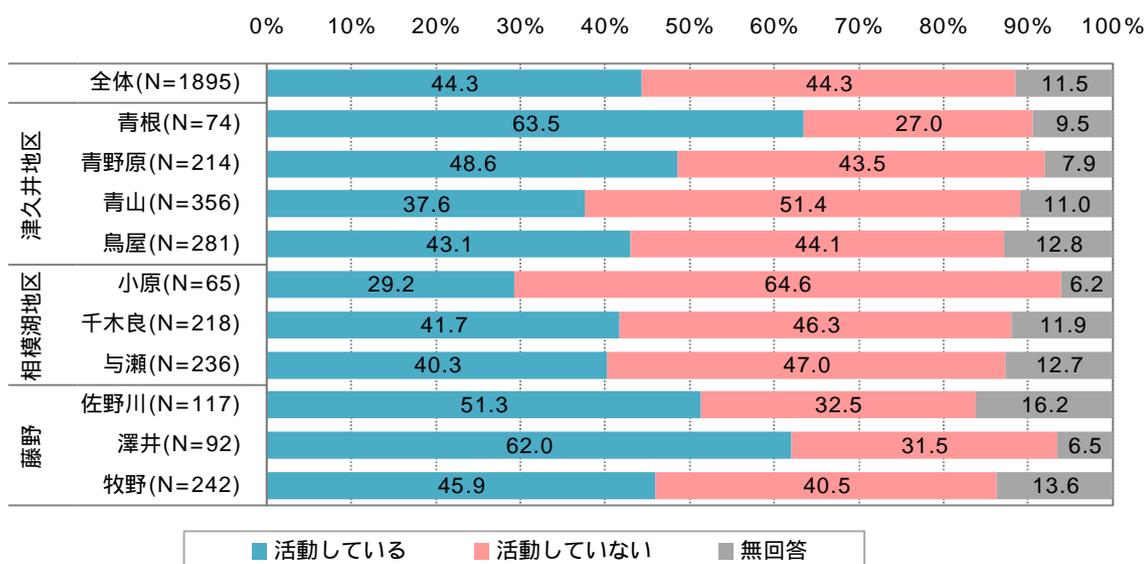
			全体 N=1,895
件数	生活の再建	住まいの再建・・・住宅の提供など	168
		生活の支援・・・義援金や生活資金に関する支援	197
		各種相談窓口での被災者に対する支援	484
社会インフラ等	道路の復旧（農道・林道を含む）・・・国道や市道など	道路の復旧（農道・林道を含む）・・・国道や市道など	660
		その他公共施設の復旧・・・河川や緑地など	186
		災害による廃棄物の早期処理・・・仮置き場の早期復旧など	291
地域経済	被災事業者への支援と商工業の復興・・・中小企業への融資制度	被災事業者への支援と商工業の復興・・・中小企業への融資制度	173
		農業の復興・・・農地・農業用施設の復旧支援など	139
		観光産業の復興・・・キャンプ場の復旧支援など	126
災害対応の検証	防災施策の検証と見直し・・・避難場所の運営方法の見直しなど	防災施策の検証と見直し・・・避難場所の運営方法の見直しなど	225
		市民の防災意識の向上・・・ハザードマップの配布など	374
		職員の防災対応力の向上・・・職員に対する訓練など	178
	無回答		785
全 体			3,980

		全体 N=1,895	
割合	生活の再建	住まいの再建・・・住宅の提供など	8.9
		生活の支援・・・義援金や生活資金に関する支援	10.4
		各種相談窓口での被災者に対する支援	25.5
	社会インフラ等	道路の復旧（農道・林道を含む）・・・国道や市道など	34.8
		その他公共施設の復旧・・・河川や緑地など	9.8
		災害による廃棄物の早期処理・・・仮置き場の早期復旧など	15.4
	地域経済	被災事業者への支援と商工業の復興・・・中小企業への融資制度	9.1
		農業の復興・・・農地・農業用施設の復旧支援など	7.3
		観光産業の復興・・・キャンプ場の復旧支援など	6.6
	災害対応の検証	防災施策の検証と見直し・・・避難場所の運営方法の見直しなど	11.9
		市民の防災意識の向上・・・ハザードマップの配布など	19.7
		職員の防災対応力の向上・・・職員に対する訓練など	9.4
	無回答		41.4
全 体		-	

(7) 地域活動について

問 14 現在、お住いの地区・集落内での地域活動への参加状況

- 居住地区や集落内での地域活動への参加状況は、活動している、活動していないは概ね半々となっている。
- 「活動している」を選んだ方の具体的な活動内容としては、全地区において「自治会活動」が最も多くなっており、鳥屋や牧野では「祭り」に関する活動も多い。その他、防災訓練や消防団、老人会といった回答が挙がっている。

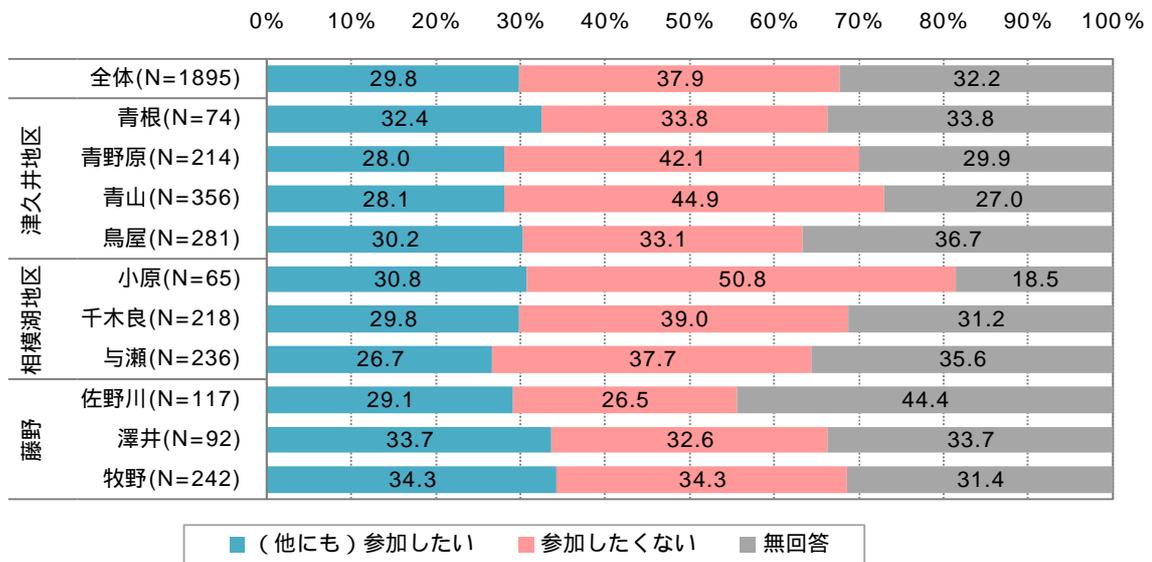


		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	活動している	839	47	104	134	121
	活動していない	839	20	93	183	124
	無回答	217	7	17	39	36
	全体	1,895	74	214	356	281
割合	活動している	44.3	63.5	48.6	37.6	43.1
	活動していない	44.3	27.0	43.5	51.4	44.1
	無回答	11.5	9.5	7.9	11.0	12.8
	全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	活動している	19	91	95	60	57	111
	活動していない	42	101	111	38	29	98
	無回答	4	26	30	19	6	33
	全体	65	218	236	117	92	242
割合	活動している	29.2	41.7	40.3	51.3	62.0	45.9
	活動していない	64.6	46.3	47.0	32.5	31.5	40.5
	無回答	6.2	11.9	12.7	16.2	6.5	13.6
	全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問 15 今後、お住いの地区・集落内での地域活動への参加意向

- 今後の地域活動への参加意向について、参加したい、参加したくない、無回答が、概ね同等の回答数となっている。
- 「参加したい」を選んだ方の具体的な活動内容としては、全地区において「自治会活動」が多くなっている。その他、祭りや清掃活動、防災訓練、ボランティア活動が多く挙げられているが、「要請があれば何でも」「できることなら何でも」といった回答も出ている。



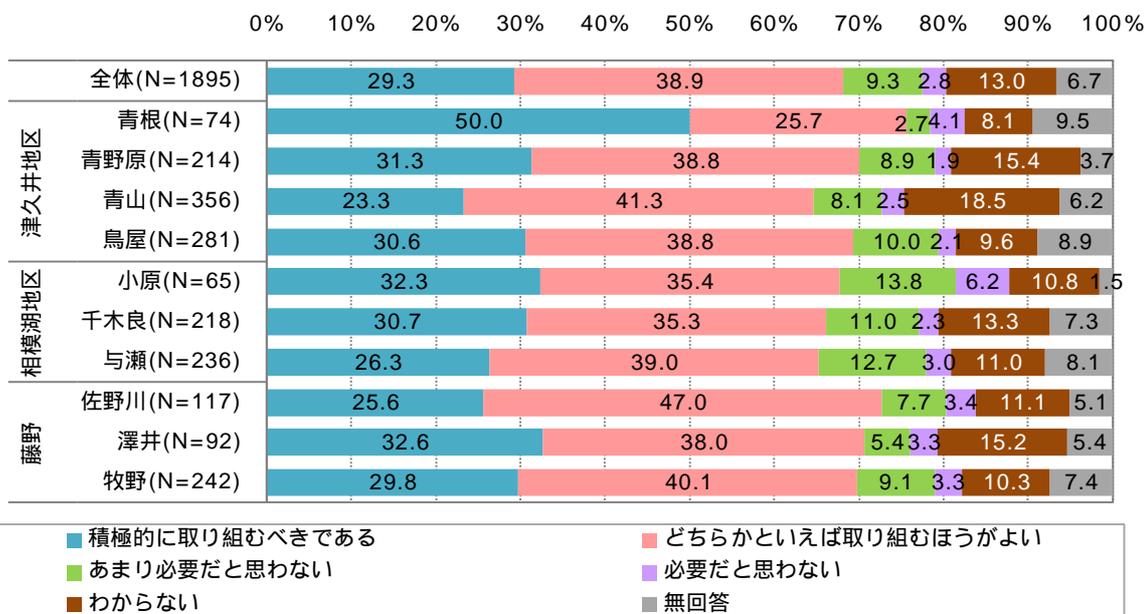
		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	(他にも)参加したい	565	24	60	100	85
	参加したくない	719	25	90	160	93
	無回答	611	25	64	96	103
	全 体	1,895	74	214	356	281
割合	(他にも)参加したい	29.8	32.4	28.0	28.1	30.2
	参加したくない	37.9	33.8	42.1	44.9	33.1
	無回答	32.2	33.8	29.9	27.0	36.7
	全 体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	(他にも)参加したい	20	65	63	34	31	83
	参加したくない	33	85	89	31	30	83
	無回答	12	68	84	52	31	76
	全 体	65	218	236	117	92	242
割合	(他にも)参加したい	30.8	29.8	26.7	29.1	33.7	34.3
	参加したくない	50.8	39.0	37.7	26.5	32.6	34.3
	無回答	18.5	31.2	35.6	44.4	33.7	31.4
	全 体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(8) 地域外と交流することについて

問 16 地域の活性化に向け、地域外の人たちとの交流

- 地域外の人たちの交流について、「積極的に取り組むべきである」と「どちらかといえば取り組む方がよい」の回答を合わせて、約7割となっている。



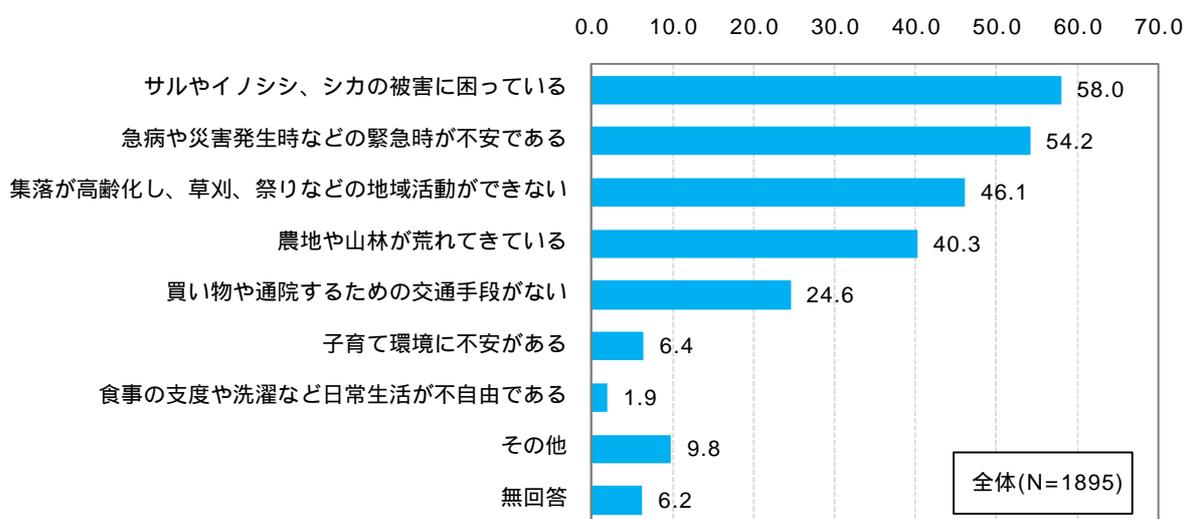
		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	積極的に取り組むべきである	555	37	67	83	86
	どちらかといえば取り組むほうがよい	737	19	83	147	109
	あまり必要だと思わない	177	2	19	29	28
	必要だと思わない	53	3	4	9	6
	わからない	246	6	33	66	27
	無回答	127	7	8	22	25
	全体	1,895	74	214	356	281
割合	積極的に取り組むべきである	29.3	50.0	31.3	23.3	30.6
	どちらかといえば取り組むほうがよい	38.9	25.7	38.8	41.3	38.8
	あまり必要だと思わない	9.3	2.7	8.9	8.1	10.0
	必要だと思わない	2.8	4.1	1.9	2.5	2.1
	わからない	13.0	8.1	15.4	18.5	9.6
	無回答	6.7	9.5	3.7	6.2	8.9
	全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件 数	積極的に取り組むべきである	21	67	62	30	30	72
	どちらかといえば取り組むほうがよい	23	77	92	55	35	97
	あまり必要だと思わない	9	24	30	9	5	22
	必要だと思わない	4	5	7	4	3	8
	わからない	7	29	26	13	14	25
	無回答	1	16	19	6	5	18
	全 体	65	218	236	117	92	242
割 合	積極的に取り組むべきである	32.3	30.7	26.3	25.6	32.6	29.8
	どちらかといえば取り組むほうがよい	35.4	35.3	39.0	47.0	38.0	40.1
	あまり必要だと思わない	13.8	11.0	12.7	7.7	5.4	9.1
	必要だと思わない	6.2	2.3	3.0	3.4	3.3	3.3
	わからない	10.8	13.3	11.0	11.1	15.2	10.3
	無回答	1.5	7.3	8.1	5.1	5.4	7.4
	全 体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(9) 困っていることや不安に思っていることについて

問 17 現在の生活で困っていることや不安

- 現在の生活で困っていることについて、最も多いのは「サルやイノシシ、シカの被害に困っている」であり、次いで、「急病や災害発生時などの緊急時が不安である」となっている。
- 「その他」の回答としては、「今後高齢になり、車の運転ができなくなったときの移動手段の確保」に対する不安やそれと連動して「バスの運行本数が少ない」ことに対する意見が全地区において多い。また、「台風被害による道路整備の遅れ」や、青山では「空き家が増えている」ことに対する意見も多く挙がっている。



その他の回答（回答選択肢の補足意見が多く記述されていたが、それを除く意見を*に示す）

【津久井地区（意見数 98 件）】

- ・「交通・移動手段」に関する記述が 53 件
- ・「イノシシやサルなどの鳥獣被害」に関する記述が 7 件
- ・「台風・災害」に関する記述が 5 件
- * 20 年後には青根の実質人口が 200 人を割る。小学校を手放した今、若い家族が移住してくることはない。残るは関係人口（交流人口）を増やしていくしかない。（青根）
- * コロナウイルスについての市からの情報が少なく、噂だけが出ている。正確な情報を定期的に発信してください。（青山）
- * 親族の不動産を相続した場合、相続税、固定資産税が発生するが、売却ができなかった場合、税の負担が重く払えない。山林、畑、空き家をどのようにすればよいかわからないので不安。（青山）
- * バイク等の騒音。（鳥屋）
- * リニア車両基地の用地買収ラインが公表されておらず、なし崩し的に用地交渉が行われること。（鳥屋）

* 緑区役所の各課において、合併時以前よりも津久井地区について詳しい方が少なくなり、地域のことについて理解をしてくれる方が少なくなりました。(青野原)

* 一人暮らしの人をどこまで踏み込んで見守るのか。何かあった時の対応。(鳥屋)

【相模湖地区（意見数 50 件）】

・「交通・移動手段」に関する記述が 19 件

・「イノシシやサルなどの鳥獣被害」に関する記述が 4 件

* 地域全体が少子高齢化で、空き家が増加するなど生活環境悪化が心配。(小原)

* 道路崩落により救急車も走行できず。(千木良)

* 商店街閉店などでシャッター通り化して荒れてきている。(与瀬)

* 相模湖ダム建設に伴い、旧勝瀬地区からの移住者の多くが与瀬に住んでいる。その人達の多くが広い土地を所有するため、新しく家を建てられる人は限られ人口減の要因になっている。(与瀬)

【藤野地区（意見数 36 件）】

・「交通・移動手段」に関する記述が 14 件

・「イノシシやサルなどの鳥獣被害」に関する記述が 6 件

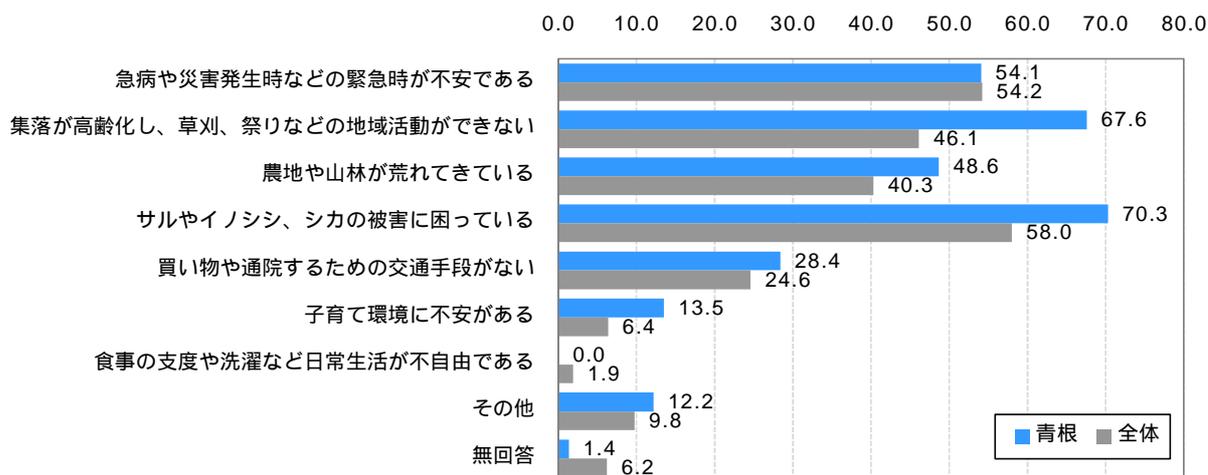
* 自動車の運転免許を返納すると出かけるための足がなくなってしまう。(澤井)

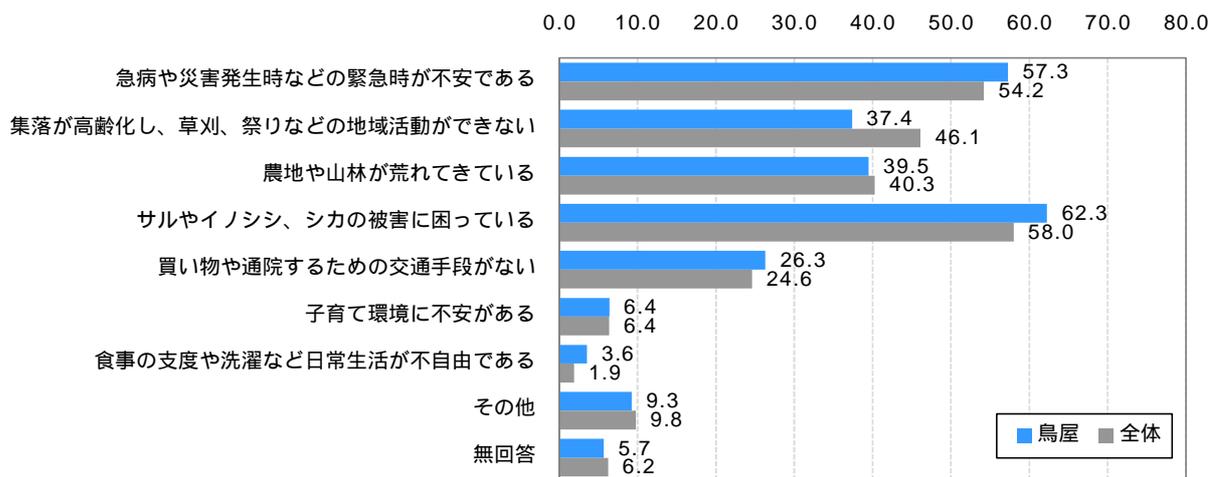
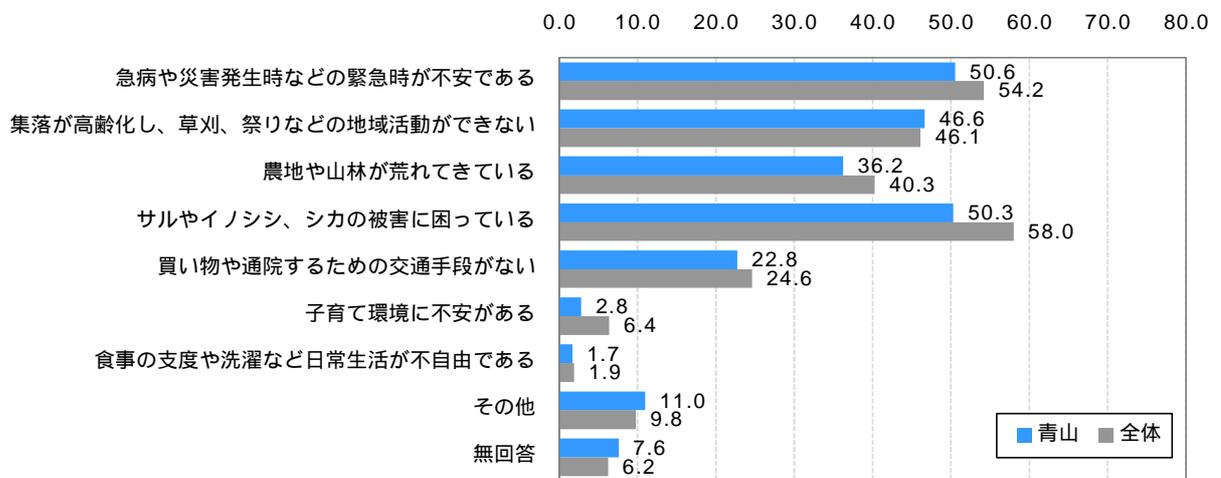
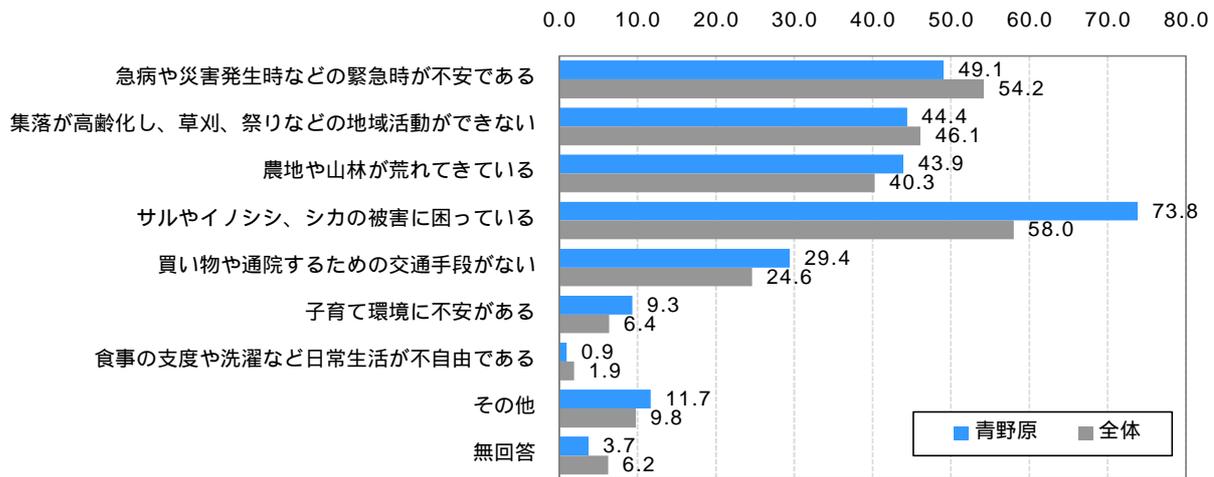
* 乗合バスをせめて藤野（公民館）まで直通してくれたら、もっと使いやすいと思う。(牧野)

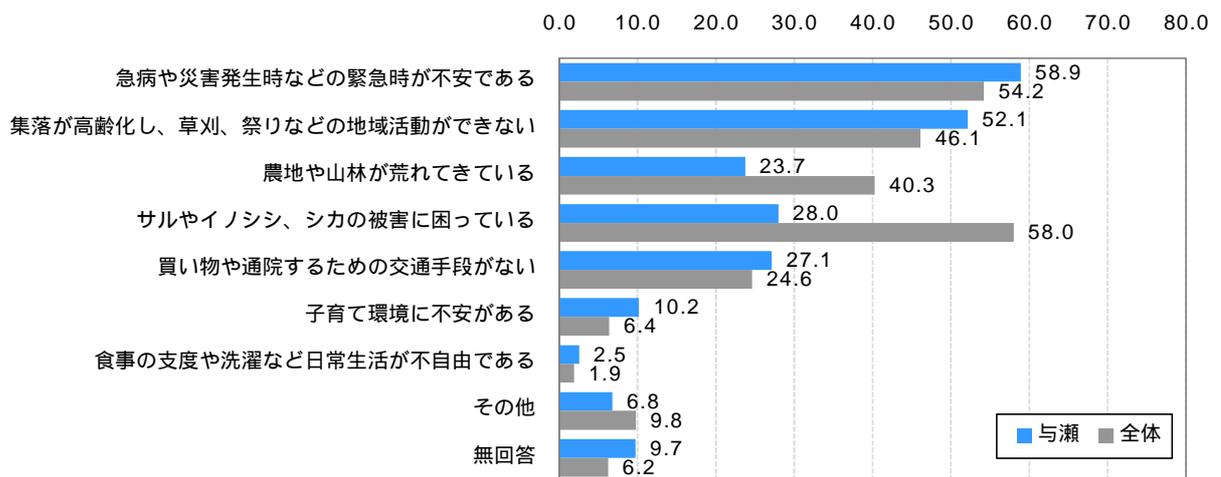
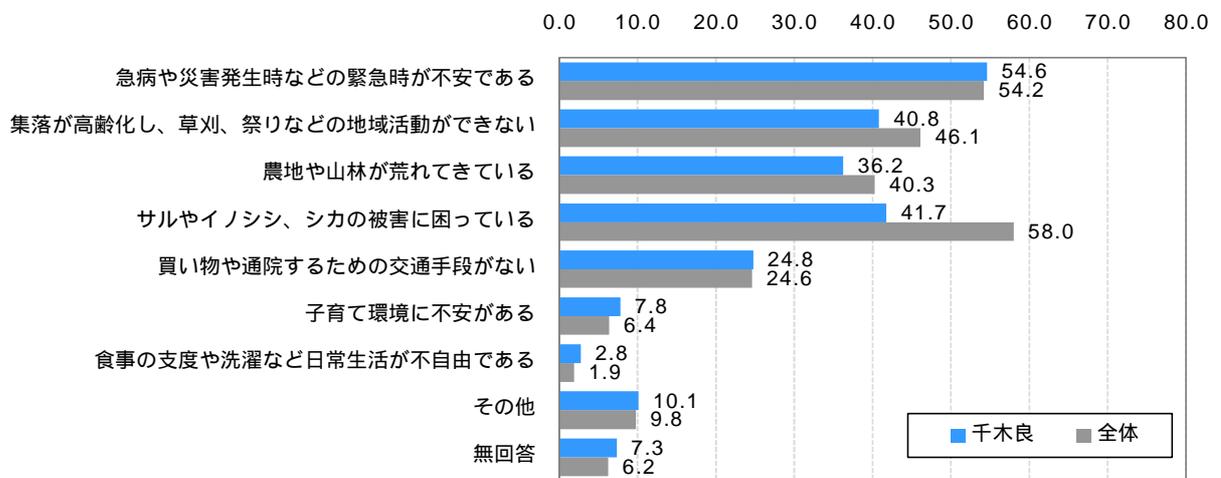
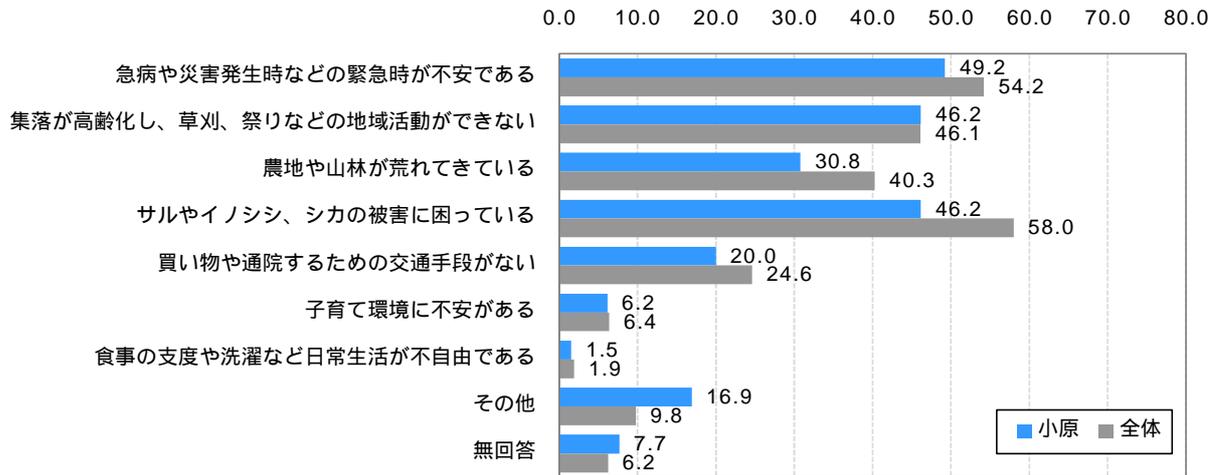
* 空き家があり、引っ越してきたい希望者もいるが、借りることも買うこともできない。空き家再生のシステムがもっと充実すれば良いと思う。(牧野)

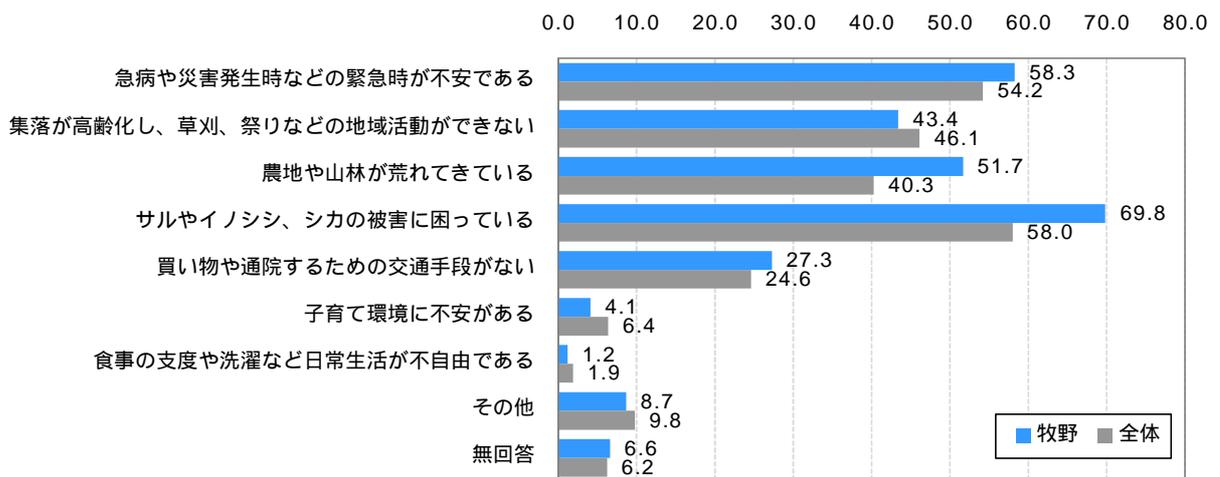
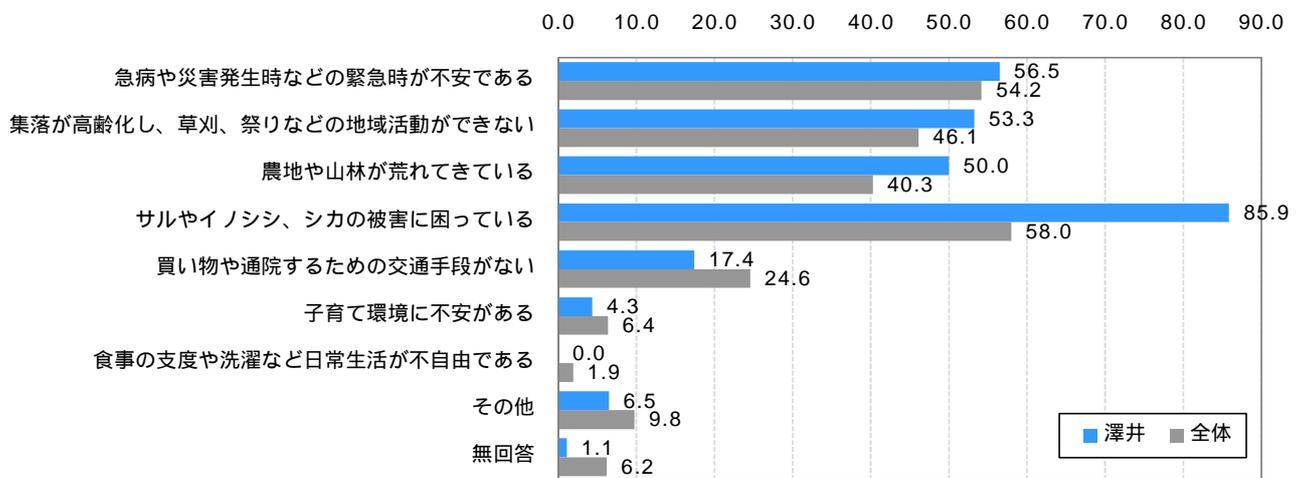
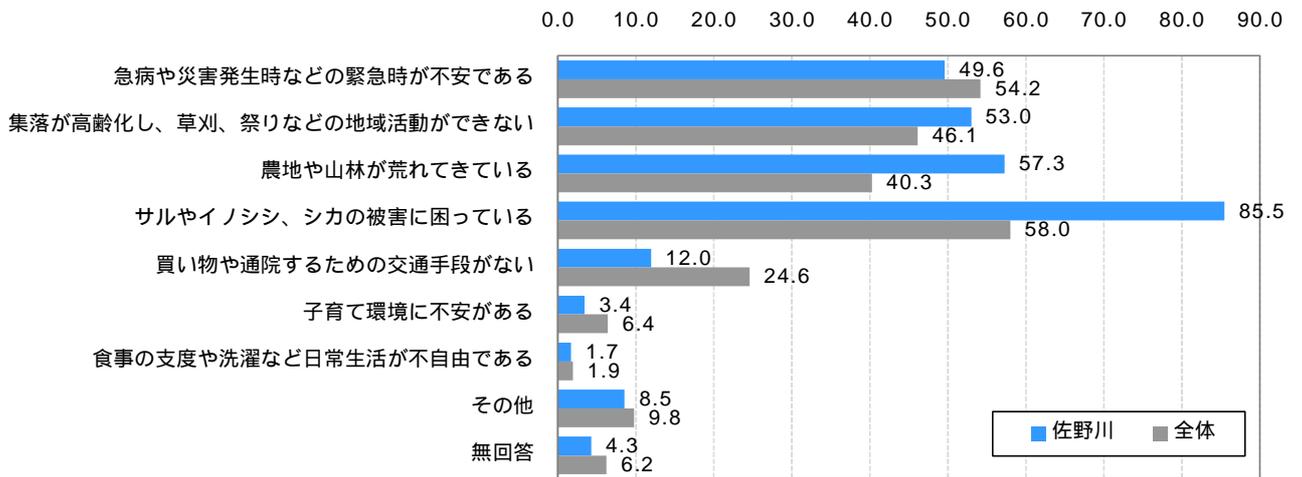
* やがてポツンと一軒家になることを恐れている。(牧野)

【大字別】









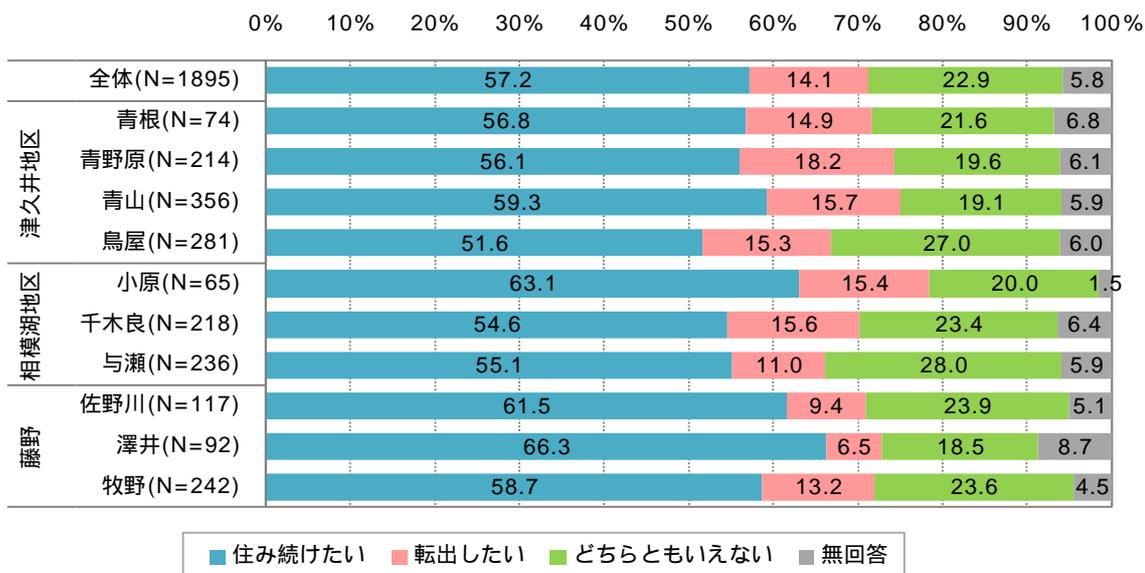
		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	急病や災害発生時などの緊急時が不安である	1,027	40	105	180	161
	集落全体が高齢化し、道路の清掃や草刈、祭りなどの地域活動ができない	874	50	95	166	105
	農地や山林が荒れてきている	763	36	94	129	111
	サルやイノシシ、シカの被害に困っている	1,099	52	158	179	175
	買い物や通院するための交通手段がない	466	21	63	81	74
	子育て環境に不安がある	121	10	20	10	18
	食事の支度や洗濯など日常生活が不自由である	36	0	2	6	10
	その他	185	9	25	39	26
	無回答	118	1	8	27	16
	全 体	4,689	219	570	817	696
割合	急病や災害発生時などの緊急時が不安である	54.2	54.1	49.1	50.6	57.3
	集落全体が高齢化し、道路の清掃や草刈、祭りなどの地域活動ができない	46.1	67.6	44.4	46.6	37.4
	農地や山林が荒れてきている	40.3	48.6	43.9	36.2	39.5
	サルやイノシシ、シカの被害に困っている	58.0	70.3	73.8	50.3	62.3
	買い物や通院するための交通手段がない	24.6	28.4	29.4	22.8	26.3
	子育て環境に不安がある	6.4	13.5	9.3	2.8	6.4
	食事の支度や洗濯など日常生活が不自由である	1.9	0.0	0.9	1.7	3.6
	その他	9.8	12.2	11.7	11.0	9.3
	無回答	6.2	1.4	3.7	7.6	5.7
	全 体	-	-	-	-	-

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	急病や災害発生時などの緊急時が不安である	32	119	139	58	52	141
	集落全体が高齢化し、道路の清掃や草刈、祭りなどの地域活動ができない	30	89	123	62	49	105
	農地や山林が荒れてきている	20	79	56	67	46	125
	サルやイノシシ、シカの被害に困っている	30	91	66	100	79	169
	買い物や通院するための交通手段がない	13	54	64	14	16	66
	子育て環境に不安がある	4	17	24	4	4	10
	食事の支度や洗濯など日常生活が不自由である	1	6	6	2	0	3
	その他	11	22	16	10	6	21
	無回答	5	16	23	5	1	16
	全 体	146	493	517	322	253	656
割合	急病や災害発生時などの緊急時が不安である	49.2	54.6	58.9	49.6	56.5	58.3
	集落全体が高齢化し、道路の清掃や草刈、祭りなどの地域活動ができない	46.2	40.8	52.1	53.0	53.3	43.4
	農地や山林が荒れてきている	30.8	36.2	23.7	57.3	50.0	51.7
	サルやイノシシ、シカの被害に困っている	46.2	41.7	28.0	85.5	85.9	69.8
	買い物や通院するための交通手段がない	20.0	24.8	27.1	12.0	17.4	27.3
	子育て環境に不安がある	6.2	7.8	10.2	3.4	4.3	4.1
	食事の支度や洗濯など日常生活が不自由である	1.5	2.8	2.5	1.7	0.0	1.2
	その他	16.9	10.1	6.8	8.5	6.5	8.7
	無回答	7.7	7.3	9.7	4.3	1.1	6.6
	全 体	-	-	-	-	-	-

(10) 今の地域への居留意向について

問 18 あなたの今の地域への居留意向

- 居留意向については、約6割が「住み続けたい」と回答しており、「どちらともいえない」との回答を含めると、約8割が転出するつもりはない。
- 「住み続けたい」理由としては、「自然豊か」「水や空気がきれい」「静かで環境がよい」といった自然環境に関する意見が全地区で多く出ているほか、「人とのつながりがある」「生まれ育った地だから」といった地域への愛着に関する意見も多い。
- 「転出したい」理由としては、「交通が不便」「子どもの通学に不便」などの生活の便に関する意見や、「高齢になってからの移動が不安」「災害が不安」といった今後の生活に対する不安を抱く意見が全地区において多く出ている。
- 「どちらともいえない」理由としては、「住み続けたいが が不便・不安」といった意見が多く、災害や子ども・老後の生活を心配する意見が挙がっている。中でも、「高齢化に伴い、徒歩での生活ができる平地に住むことも考えている」など、高齢になってからの生活を心配している意見が多い。



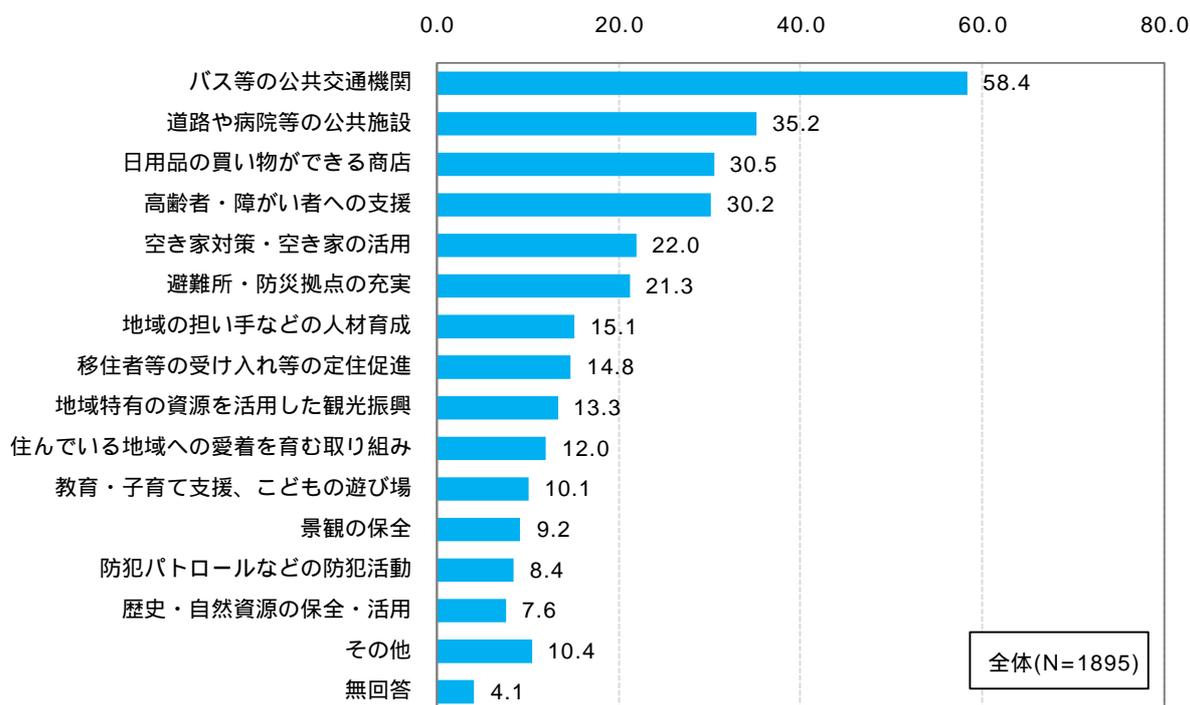
		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	住み続けたい	1,083	42	120	211	145
	転出したい	268	11	39	56	43
	どちらともいえない	434	16	42	68	76
	無回答	110	5	13	21	17
	全体	1,895	74	214	356	281
割合	住み続けたい	57.2	56.8	56.1	59.3	51.6
	転出したい	14.1	14.9	18.2	15.7	15.3
	どちらともいえない	22.9	21.6	19.6	19.1	27.0
	無回答	5.8	6.8	6.1	5.9	6.0
	全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件 数	住み続けたい	41	119	130	72	61	142
	転出したい	10	34	26	11	6	32
	どちらともいえない	13	51	66	28	17	57
	無回答	1	14	14	6	8	11
	全 体	65	218	236	117	92	242
割 合	住み続けたい	63.1	54.6	55.1	61.5	66.3	58.7
	転出したい	15.4	15.6	11.0	9.4	6.5	13.2
	どちらともいえない	20.0	23.4	28.0	23.9	18.5	23.6
	無回答	1.5	6.4	5.9	5.1	8.7	4.5
	全 体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(11) 今後、充実させてほしいことについて

問 19 今後、地域の活性化に向けて、充実させてほしいこと。

- 地域活性化に向けて充実してほしいことについて、最も多いのは「バス等の公共交通機関」であり、次いで「道路や病院等の公共施設」となっている。
- 「その他」の回答としては、鳥屋において「リニア」に関する意見が多く、回送線の利用による人口定着・観光客増加などを求める意見が挙がっている。牧野・青山においては「有害鳥獣対策」「獣害対策」に関する意見が多い。また、青根・青山では「観光」の充実はあまりしないでほしい、といった意見も出ている。



その他の回答

【津久井地区（意見数 97 件）】

- ・「リニア」に関する記述が 15 件
- ・「観光」に関する記述が約 10 件（うち、「観光開発しないでほしい」といった意見（2件）含む）
- ・商業施設・公共交通などの「充実」に関する記述が約 10 件
- * 空き家はたくさんあるが、借りたい人がいても貸してくれる人はいない。借りたい人と空き家の持ち主の間に市が入ってくると、貸す方に安心感が出て、貸してくれるのではないかと思う。（青根）
- * 青野原地区にはかつて立派な公民館があったが、いつの間にか消滅し、地域の人々が気軽に集い、学び、楽しめる場がなくなってしまった。歩いて行ける身近な所に、そうした拠点となる場の必要性は今後ますます高くなると思う。（青野原）
- * 地域資源は手を加えることなく、そのまま維持するのがよい。無理に活用しては逆に今の資源を壊すことになる。（青山）

- * 自分達の子どもや若者が地域に留まって仕事ができる、退職してもその後健康でやる気があれば地域で働ける、そんな場所があれば色々なことが変わってくると思います。(鳥屋)
- * 都内通勤と里山環境は地域活性化の一つの方策であると思う。(鳥屋)
- * 若い人達が住みたくなる様な地域づくりを考えていくのと同時に中高年も楽しめる町づくりを市と共に考えてゆきたい。(青山)
- * 空き農地の再生、活用について 周辺には空き農地が多くみられる。世代が変わり農業を継承しなくなった。このまま、放置しているのはもったいない話である。(青山)
- * 地域の方が気軽に集まり、お茶、サークル活動、運動などできる地域センターがほしいです。(自治会館では多少狭いし、他の自治会の方は入りにくいので)
- * 学校も広いスペースがあるものの授業等の関係で地域の方が頻繁に使用することはできないです。青野原には広い場所がまだまだあるので、観光振興と併設した地域センターであればさらに活性化につながると思います。(青野原)

【相模湖地区(意見数 60 件)】

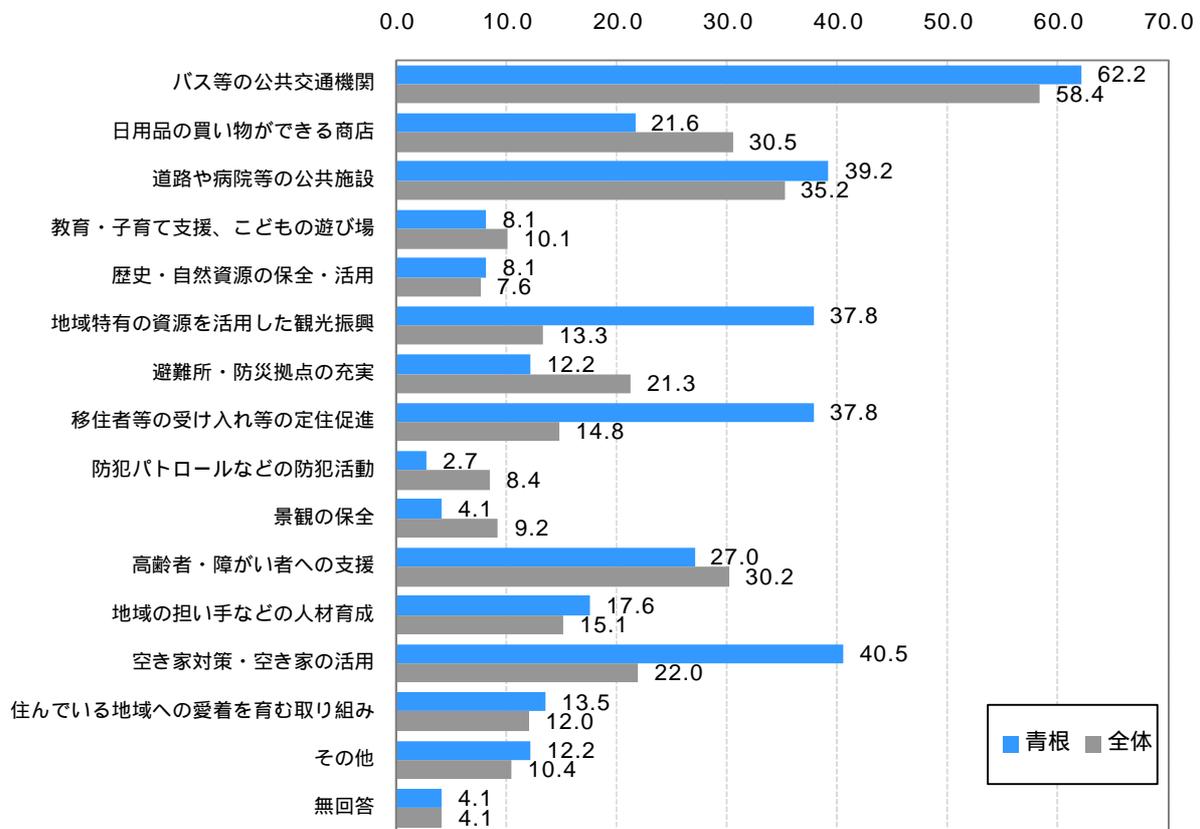
- ・災害などの「対策」に感ずる記述が 5 件
- ・「空き家」の活用などに関する記述が 5 件
- * 職場の誘致が最も大事だと思います。職住接近を実現すれば、子育てや介護についても家族内でできることが増えるため、行政の負担を軽減できると思います。(千木良)
- * 千木良の街中(西~岡本地区)に魅力的な公園(例:アスレチックとか、与瀬のふれあいパークのように「水」を取り入れた公園...千木良は水気がないので乾燥し、日当たりは良いが夏すごく暑いので。)があるとよい。(千木良)
- * 藤野地区での芸術家等の方々の居住を推し進めたらどうでしょうか。特に空き家の活用はどうでしょうか。(与瀬)
- * 誰でもいつでも自由に集まれる場所が必要と考えます。(与瀬)
- * 東京から 1 時間で中央区までも 1 時間と利便性が良いのに、中央区との関わりが薄いです。相模湖駅前湖畔の空き店舗の新規出店者が入りやすい仕組みや、中央区南区の人が来やすいようにして市民割引みたいなものがほしいです。(与瀬)

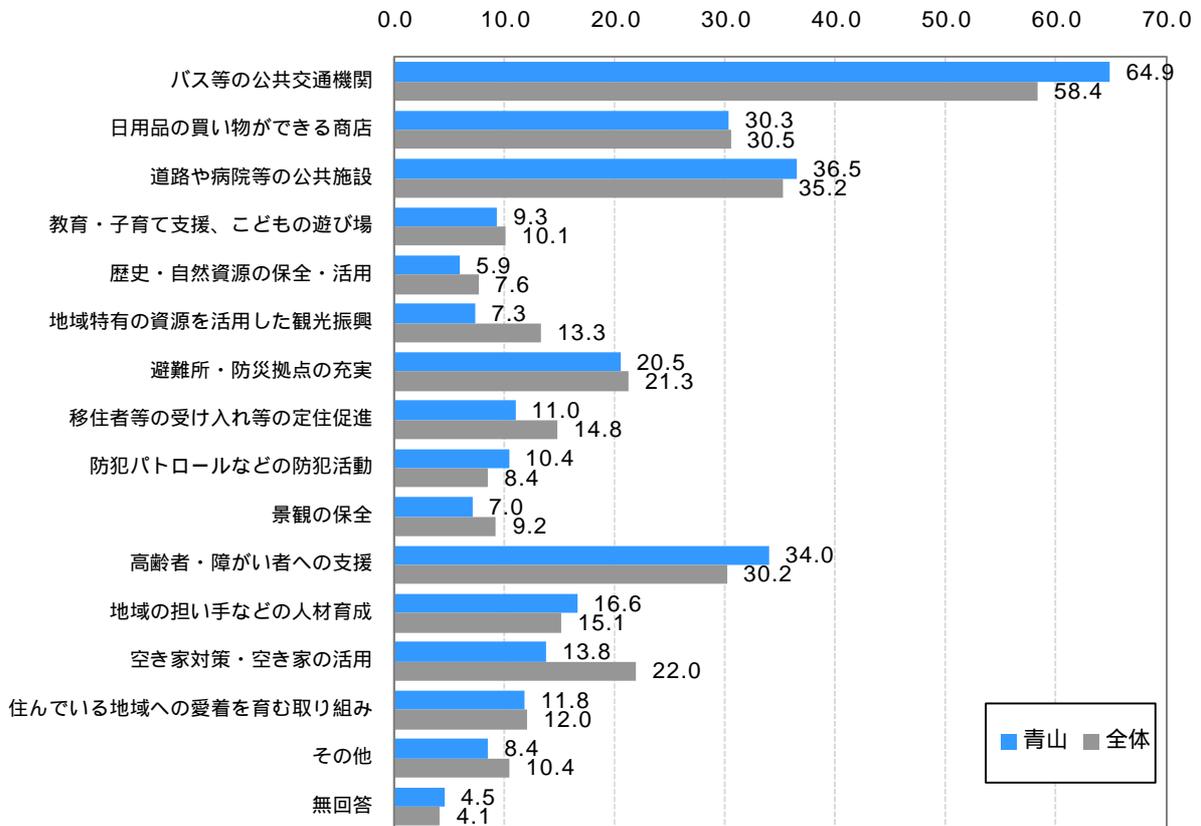
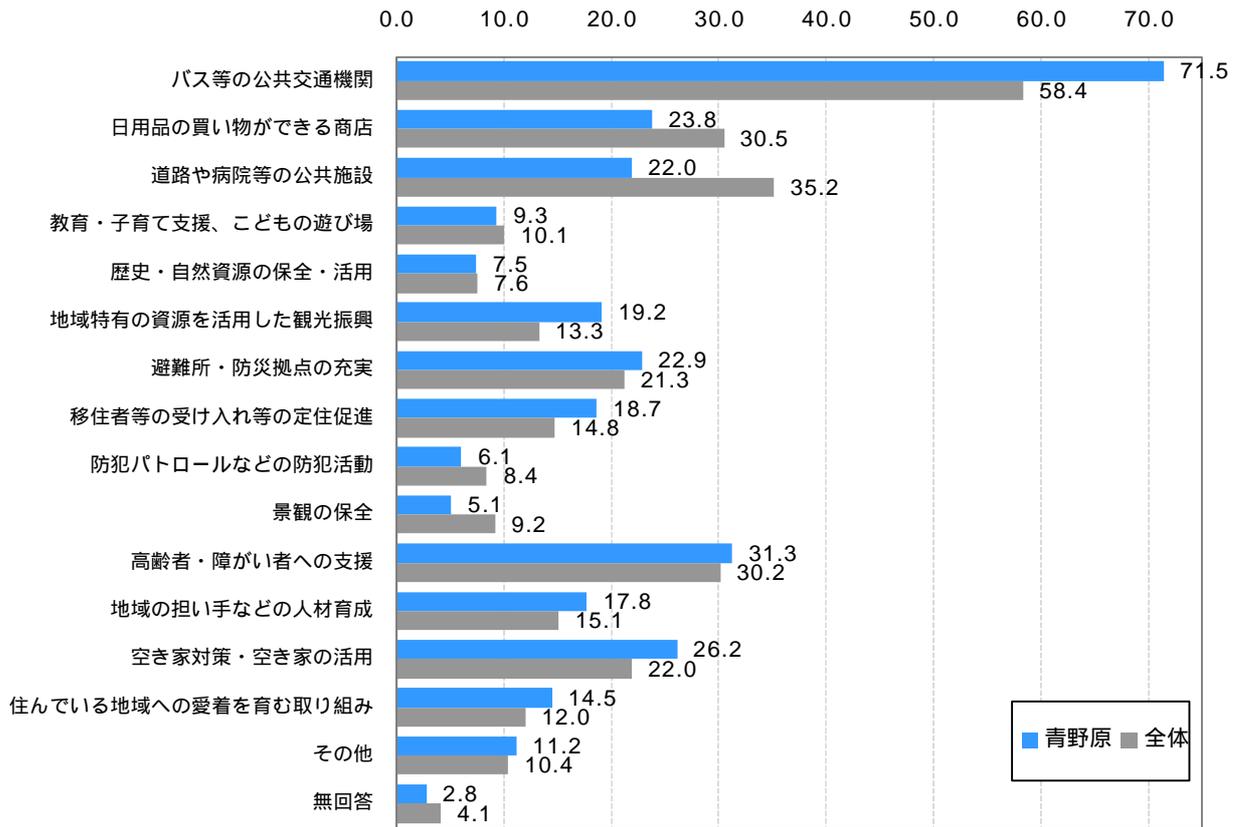
【藤野地区(意見数 45 件)】

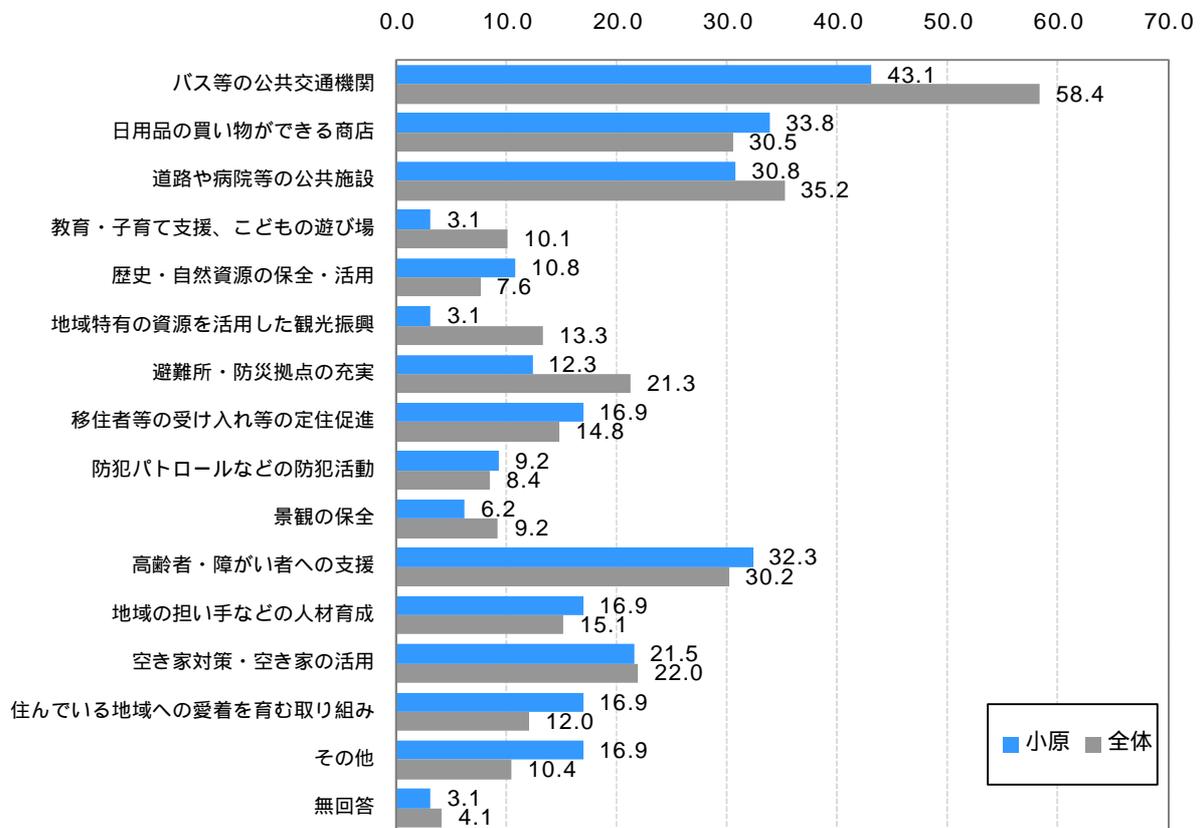
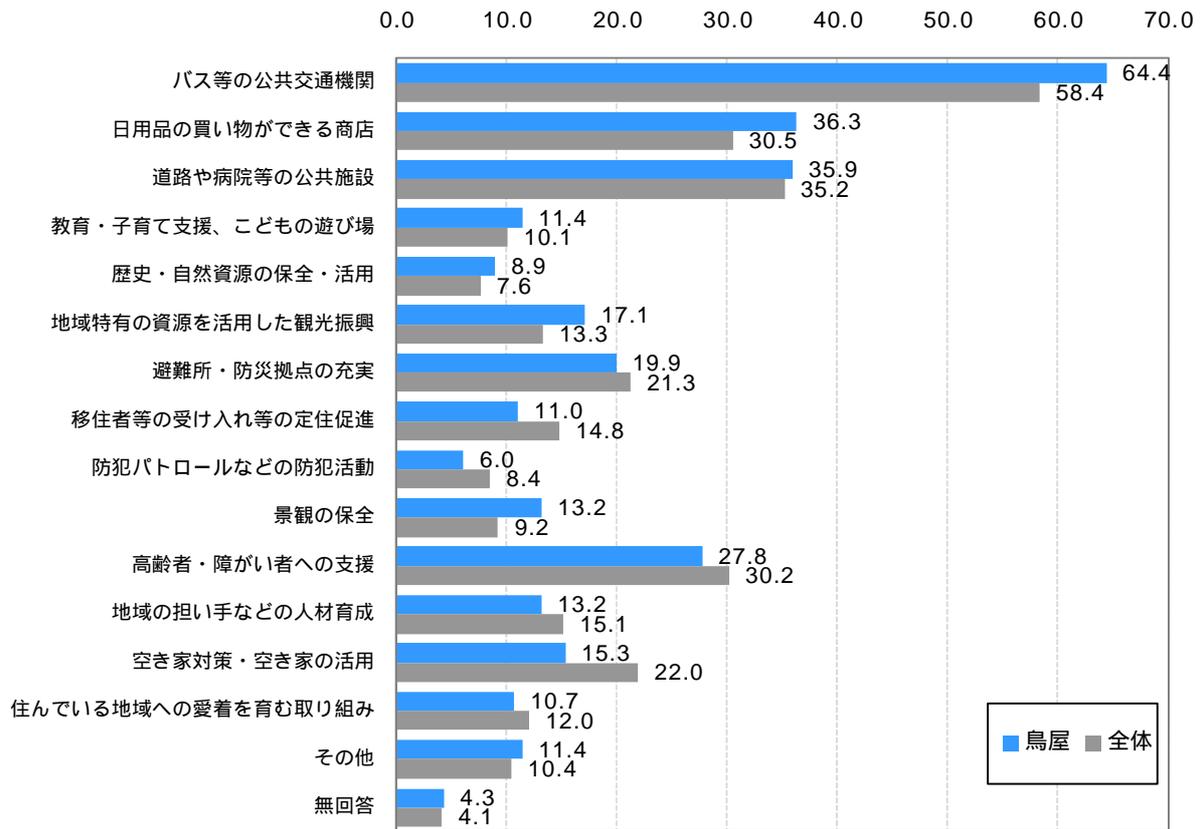
- ・災害・鳥獣被害などの「対策」に関する記述が 5 件
- ・公共交通・高齢者や農林業従事者に対する制度などの「充実」に関する記述が 5 件
- * 青地が多すぎて、次世代が新居を構えにくかったり、移住者が受け入れにくい。事業を始めて活性化したいとしても、青地ばかりで建物が建てられない。青地を白地にする要件を緩和してほしい。(佐野川)
- * 牧野地区には子どもが少なく、将来につなげるのは難しくなると思います。人口を増加させるのが一番大切だと思います。(牧野)
- * 陣馬山ハイキング者のための駐車場の整備など。(澤井)

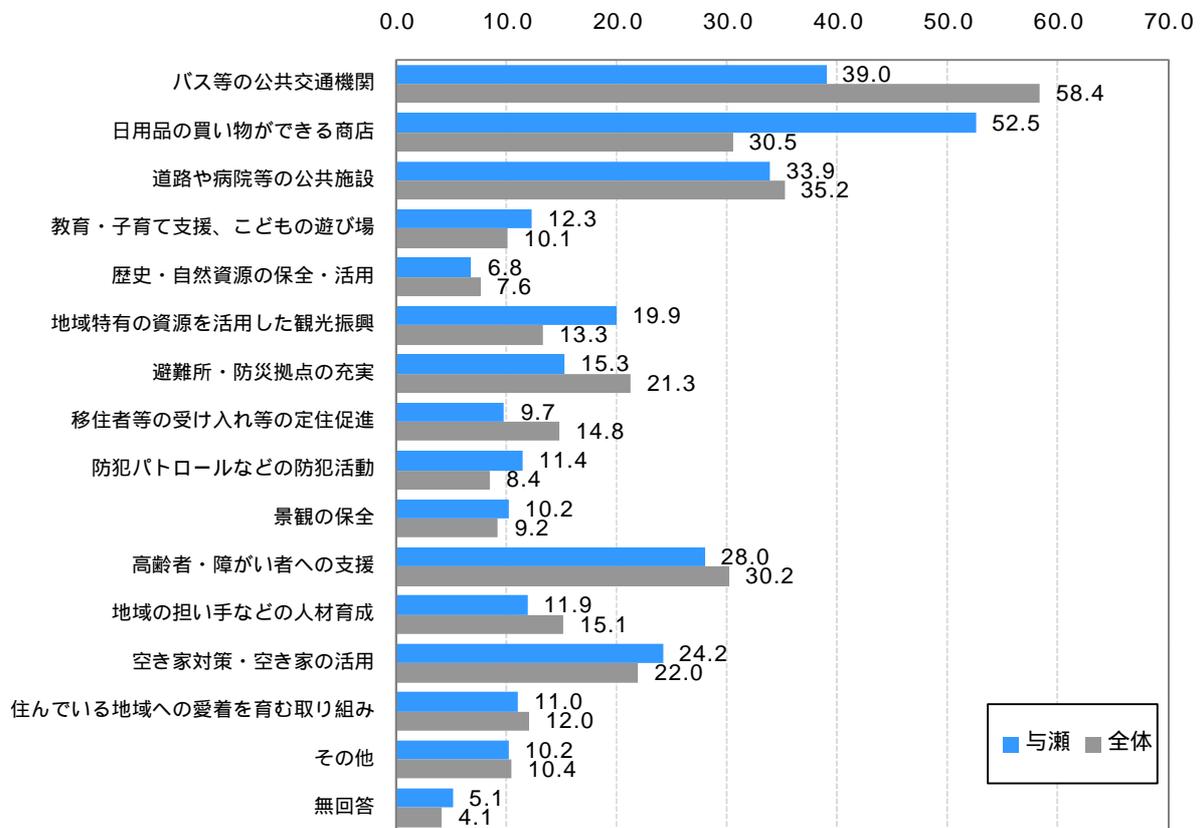
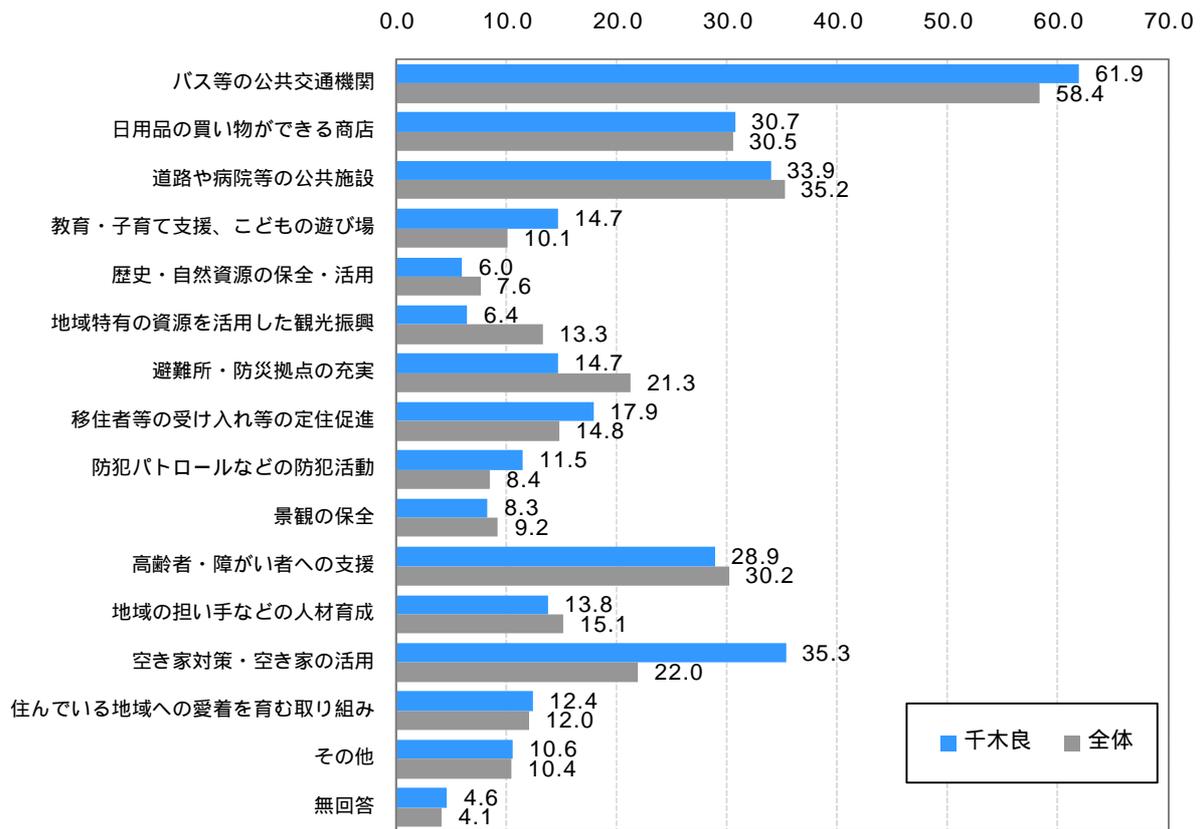
* 空き家持っているが、荷物置場化してしまっている家も多いように見受けられます。
 荷物整理の仮置き場や片づけを安く手伝ってもらえるような仕組みがあれば空き家対策にならないでしょうか。(牧野)

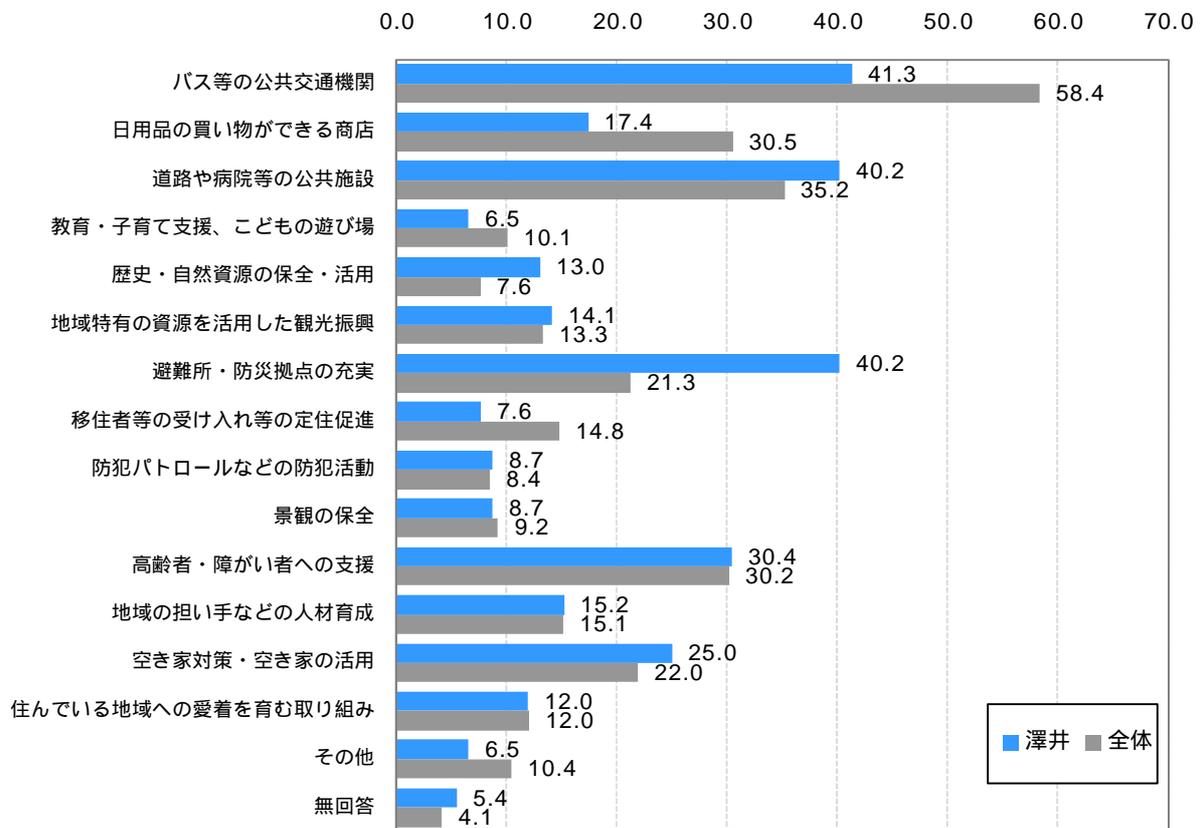
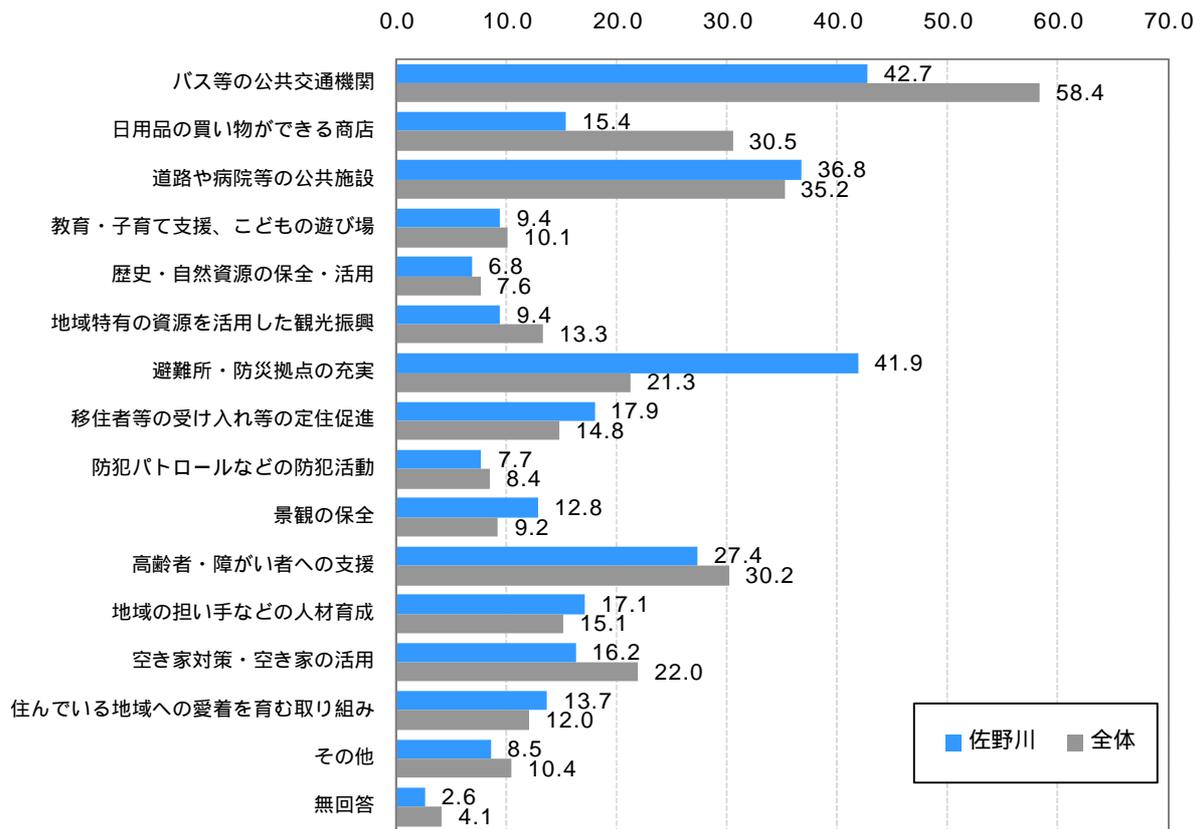
【大字別】

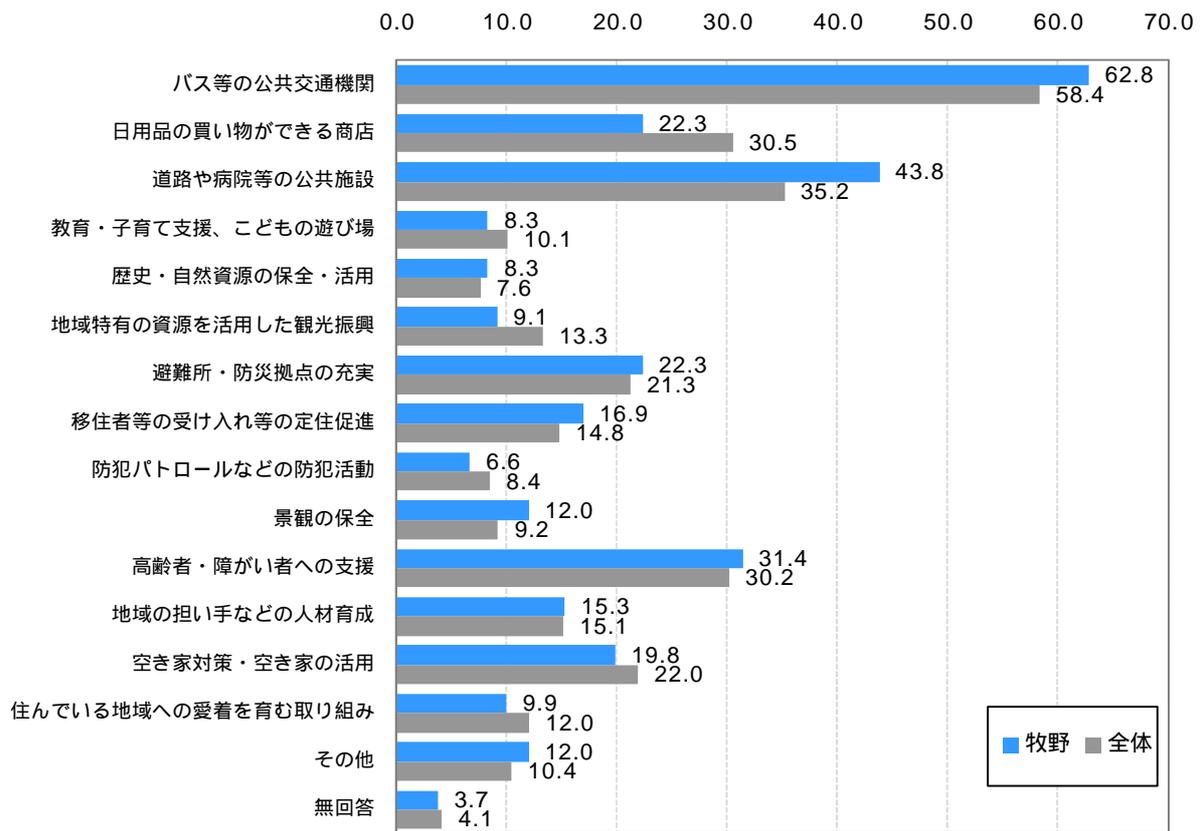












		全体 N=1,895	青根 N=74	青野原 N=214	青山 N=356	鳥屋 N=281
件数	バス等の公共交通機関	1,106	46	153	231	181
	日用品の買い物ができる商店	578	16	51	108	102
	道路や病院等の公共施設	667	29	47	130	101
	教育・子育て支援、こどもの遊び場	191	6	20	33	32
	歴史・自然資源の保全・活用	144	6	16	21	25
	地域特有の資源を活用した観光振興	252	28	41	26	48
	避難所・防災拠点の充実	403	9	49	73	56
	移住者等の受け入れ等の定住促進	280	28	40	39	31
	防犯パトロールなどの防犯活動	160	2	13	37	17
	景観の保全	174	3	11	25	37
	高齢者・障がい者への支援	572	20	67	121	78
	地域の担い手などの人材育成	287	13	38	59	37
	空き家対策・空き家の活用	416	30	56	49	43
	住んでいる地域への愛着を育む取り組み	228	10	31	42	30
	その他	198	9	24	30	32
	無回答	78	3	6	16	12
		全 体	5,734	258	663	1,040
割合	バス等の公共交通機関	58.4	62.2	71.5	64.9	64.4
	日用品の買い物ができる商店	30.5	21.6	23.8	30.3	36.3
	道路や病院等の公共施設	35.2	39.2	22.0	36.5	35.9
	教育・子育て支援、こどもの遊び場	10.1	8.1	9.3	9.3	11.4
	歴史・自然資源の保全・活用	7.6	8.1	7.5	5.9	8.9
	地域特有の資源を活用した観光振興	13.3	37.8	19.2	7.3	17.1
	避難所・防災拠点の充実	21.3	12.2	22.9	20.5	19.9
	移住者等の受け入れ等の定住促進	14.8	37.8	18.7	11.0	11.0
	防犯パトロールなどの防犯活動	8.4	2.7	6.1	10.4	6.0
	景観の保全	9.2	4.1	5.1	7.0	13.2
	高齢者・障がい者への支援	30.2	27.0	31.3	34.0	27.8
	地域の担い手などの人材育成	15.1	17.6	17.8	16.6	13.2
	空き家対策・空き家の活用	22.0	40.5	26.2	13.8	15.3
	住んでいる地域への愛着を育む取り組み	12.0	13.5	14.5	11.8	10.7
	その他	10.4	12.2	11.2	8.4	11.4
	無回答	4.1	4.1	2.8	4.5	4.3
		全 体	-	-	-	-

		小原 N=65	千木良 N=218	与瀬 N=236	佐野川 N=117	澤井 N=92	牧野 N=242
件数	バス等の公共交通機関	28	135	92	50	38	152
	日用品の買い物ができる商店	22	67	124	18	16	54
	道路や病院等の公共施設	20	74	80	43	37	106
	教育・子育て支援、こどもの遊び場	2	32	29	11	6	20
	歴史・自然資源の保全・活用	7	13	16	8	12	20
	地域特有の資源を活用した観光振興	2	14	47	11	13	22
	避難所・防災拠点の充実	8	32	36	49	37	54
	移住者等の受け入れ等の定住促進	11	39	23	21	7	41
	防犯パトロールなどの防犯活動	6	25	27	9	8	16
	景観の保全	4	18	24	15	8	29
	高齢者・障がい者への支援	21	63	66	32	28	76
	地域の担い手などの人材育成	11	30	28	20	14	37
	空き家対策・空き家の活用	14	77	57	19	23	48
	住んでいる地域への愛着を育む取り組み	11	27	26	16	11	24
	その他	11	23	24	10	6	29
	無回答	2	10	12	3	5	9
		全 体	180	679	711	335	269
割合	バス等の公共交通機関	43.1	61.9	39.0	42.7	41.3	62.8
	日用品の買い物ができる商店	33.8	30.7	52.5	15.4	17.4	22.3
	道路や病院等の公共施設	30.8	33.9	33.9	36.8	40.2	43.8
	教育・子育て支援、こどもの遊び場	3.1	14.7	12.3	9.4	6.5	8.3
	歴史・自然資源の保全・活用	10.8	6.0	6.8	6.8	13.0	8.3
	地域特有の資源を活用した観光振興	3.1	6.4	19.9	9.4	14.1	9.1
	避難所・防災拠点の充実	12.3	14.7	15.3	41.9	40.2	22.3
	移住者等の受け入れ等の定住促進	16.9	17.9	9.7	17.9	7.6	16.9
	防犯パトロールなどの防犯活動	9.2	11.5	11.4	7.7	8.7	6.6
	景観の保全	6.2	8.3	10.2	12.8	8.7	12.0
	高齢者・障がい者への支援	32.3	28.9	28.0	27.4	30.4	31.4
	地域の担い手などの人材育成	16.9	13.8	11.9	17.1	15.2	15.3
	空き家対策・空き家の活用	21.5	35.3	24.2	16.2	25.0	19.8
	住んでいる地域への愛着を育む取り組み	16.9	12.4	11.0	13.7	12.0	9.9
	その他	16.9	10.6	10.2	8.5	6.5	12.0
	無回答	3.1	4.6	5.1	2.6	5.4	3.7
		全 体	-	-	-	-	-

(12) 地域資源

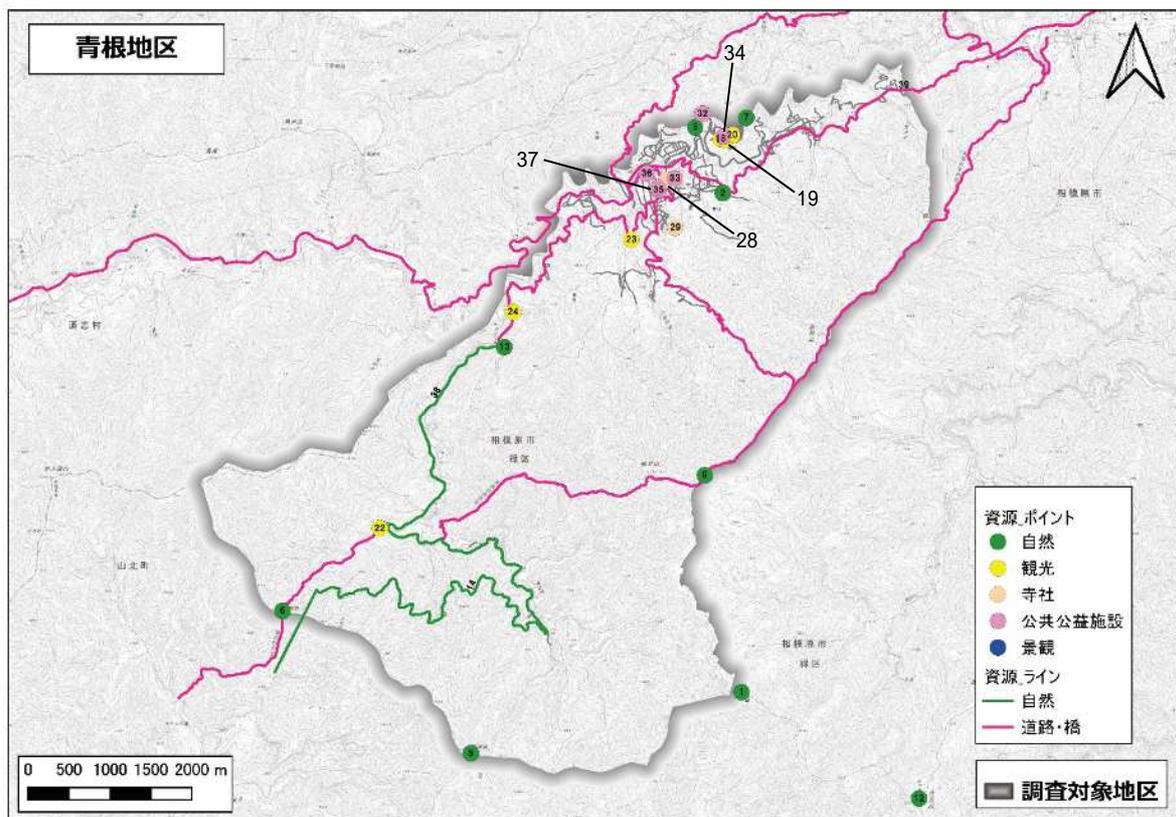
問 20 地域資源

- 地域資源として挙げられた回答は延べ 1,472 件である。
- 回答が多かった地域資源として、各地区の上位 3 件は以下のとおりである。

地区	第 1 位	第 2 位	第 3 位
青根地区 (N=74)	いやしの湯 (19)	青根緑の休暇村センター (11)	青根キャンプ場 (8) 津久井合唱館 (8)
青野原地区 (N=214)	青野原オートキャンプ場 (25)	青野原グラウンド (22)	グリーンファーム青野原ふれあい農園 (19)
青山地区 (N=356)	南山 (23)	串川グラウンド (21)	青山神社 (15)
鳥屋地区 (N=281)	鳥居原ふれあいの館 (58)	宮ヶ瀬湖、宮ヶ瀬ダム (29)	津久井馬術場 (29)
小原地区 (N=65)	小原の郷 (24)	小原宿本陣 (18)	相模湖公園 (7)
千木良地区 (N=218)	相模湖 (15)	城山 (14)	相模湖公園 (12)
与瀬地区 (N=236)	相模湖公園 (50)	相模湖 (49)	与瀬神社 (19)
佐野川地区 (N=117)	生藤山 (9)	茶畑・茶業 (7)	陣馬山 (7)
澤井地区 (N=92)	陣馬山 (12)	農地 (休耕田等を含む) (10)	大日野原 (10)
牧野地区 (N=242)	藤野芸術の家 (28)	藤野やまなみ温泉 (25)	篠原の里センター (21)

【青根地区 - 地域資源の特徴】

- ・ 自然的資源や観光的資源、公共公益施設が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「いやしの湯」である。
- ・ 青根地区の地域資源は道志川周辺に集中している。

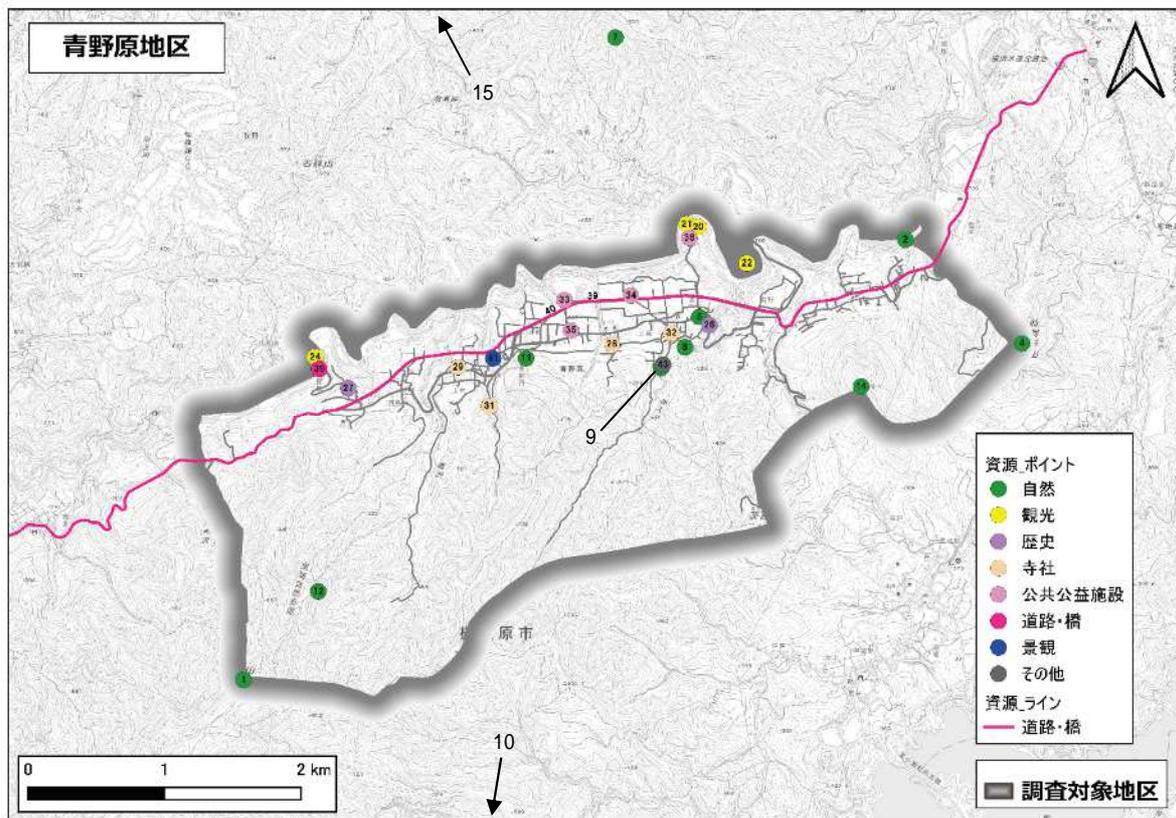


no.	地域資源	分類	回答数	備考
1	蛭ヶ岳	自然	5	位置あり
2	ヤッホー台	自然	4	位置あり
3	森林、山林	自然	4	-
4	水資源（水源、沢の水、清流）	自然	4	-
5	奥相模湖	自然	3	位置あり
6	犬越路	自然	2	位置あり
7	道志川	自然	2	位置あり
8	檜洞丸	自然	2	位置あり
9	姫次	自然	2	位置あり
10	丹沢山地	自然	2	-
11	農地（休耕田等を含む）	自然	2	-
12	丹沢山	自然	1	位置あり
13	エビラ沢の滝	自然	1	位置あり
14	山北～藤野線	自然	1	位置あり
15	野生動物（ジビエ）	自然	1	-
16	木材	自然	1	-
17	高原に近い気候	自然	1	-
18	いやしの湯	観光	19	位置あり
19	青根緑の休暇村センター	観光	11	位置あり
20	青根キャンプ場	観光	8	位置あり
21	キャンプ場	観光	5	-
22	神ノ川ヒュッテ	観光	2	位置あり
23	高野瀬キャンプ場	観光	1	位置あり

no.	地域資源	分類	回答数	備考
24	神之川キャンプ場	観光	1	位置あり
25	温泉	観光	1	-
26	照手姫伝説	歴史	1	-
27	史跡	歴史	1	-
28	諏訪神社（青根地区）	寺社	2	位置あり
29	金比羅・神武天皇社	寺社	1	位置あり
30	大山丹沢国定公園	公園	2	-
32	道志ダム	公共公益施設	3	位置あり
33	青根小学校跡地	公共公益施設	3	位置あり
34	津久井合唱館	公共公益施設	8	位置あり
35	青根中学校跡地	公共公益施設	7	位置あり
36	青根診療所	公共公益施設	5	位置あり
37	青根小・中学校	公共公益施設	1	位置あり
38	東海自然歩道	道路・橋	1	位置あり
39	国道 413 号	道路・橋	1	位置あり
40	登山道・山道	道路・橋	2	-
41	空き家	その他	1	-
42	すべて一体化	その他	1	-
43	各地域資源	その他	1	-
44	地区全体	その他	2	-

【青野原地区 - 地域資源の特徴】

- ・ 自然的資源や観光的資源、公共公益施設が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「青野原オートキャンプ場」である。
- ・ 青野原地区の地域資源は、道志川及び国道 413 号線周辺に集中している。

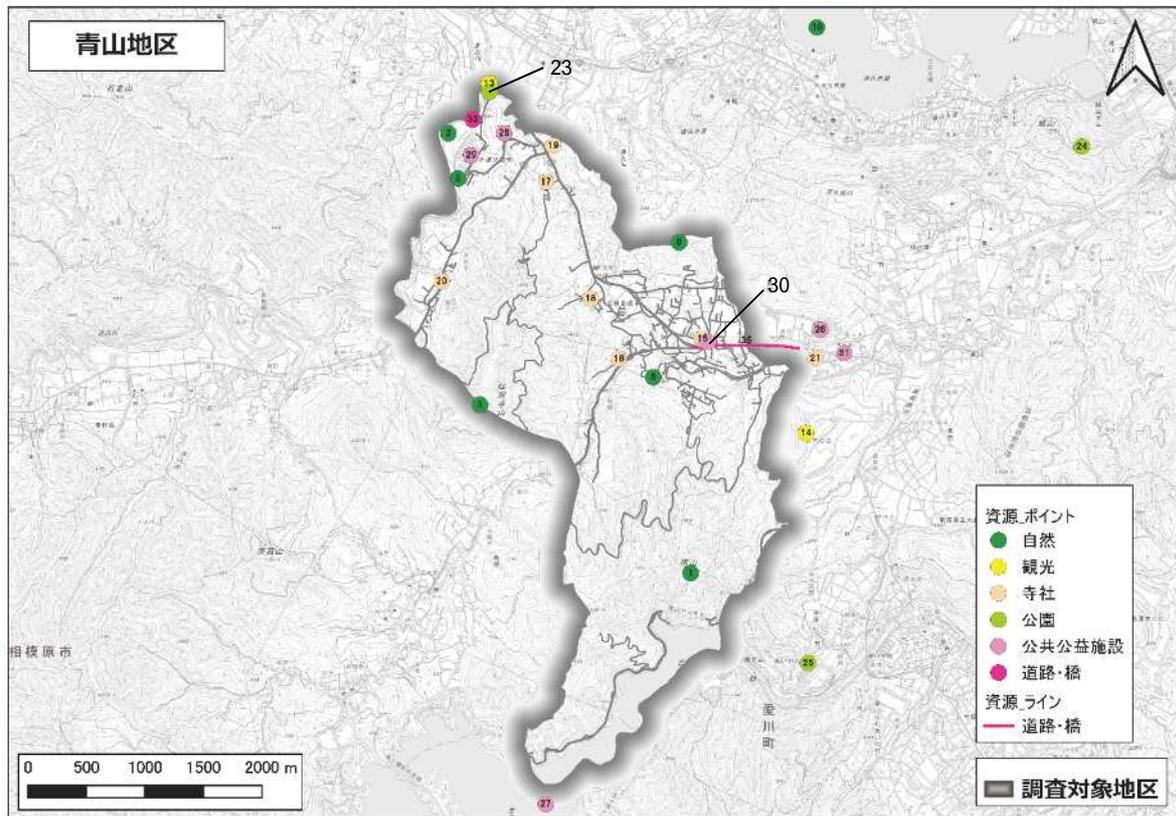


no.	地域資源	分類	回答数	備考
1	焼山	自然	10	位置あり
2	道志川	自然	6	位置あり
3	農地（休耕田等を含む）	自然	5	-
4	仙洞寺山	自然	2	位置あり
5	永井家のナシ（かながわの名木 100 選）	自然	2	位置あり
6	森林、山林	自然	2	-
7	石老山	自然	1	位置あり
8	寺入沢	自然	1	位置あり
9	寺入沢の蜚	自然	1	位置あり
10	道志川沿いの滝	自然	1	-
11	唐珍木の大木	自然	1	位置あり
12	焼山の大杉	自然	1	位置あり
13	表丹沢	自然	1	-
14	三角山	自然	1	位置あり
15	ぼたるの里	自然	1	位置あり
16	丹沢山地	自然	1	-
17	ハイキングコース	自然	1	-
18	水資源（水源、沢の水、清流）	自然	1	-
19	自然	自然	1	-
20	青野原オートキャンプ場	観光	25	位置あり
21	青野原野呂ロッジキャンプ場	観光	8	位置あり
22	新戸キャンプ場	観光	5	位置あり

no.	地域資源	分類	回答数	備考
23	キャンプ場	観光	5	-
24	バカンス村	観光	1	位置あり
25	農園レストラン	観光	1	-
26	青野原関所跡	歴史	8	位置あり
27	小山田八左衛門行村の墓	歴史	2	位置あり
28	八幡神社	寺社	7	位置あり
29	諏訪神社（青野原地区）	寺社	5	位置あり
30	寺院・神社	寺社	2	-
31	龍泉寺	寺社	1	位置あり
32	井原寺	寺社	1	位置あり
33	青野原グラウンド	公共公益施設	22	位置あり
34	グリーンファーム青野原ふれあい農園	公共公益施設	19	位置あり
35	市立青野原診療所	公共公益施設	13	位置あり
36	青野原道志川の家	公共公益施設	2	位置あり
37	道の駅	道路・橋	2	-
38	国道 413 号	道路・橋	1	位置あり
39	亀見橋	道路・橋	1	位置あり
40	R413 オリジナル自転車ロード	道路・橋	1	位置あり
41	旧道の石垣	景観	1	位置あり
42	農産物	産業	1	-
43	ほたるのお宿	その他	1	位置あり
44	空き家	その他	1	-
45	空き地	その他	1	-
46	潤水（商品名）	その他	1	-
47	地区全体	その他	2	-

【青山地区 - 地域資源の特徴】

- ・ 自然的資源や寺社、公共公益施設が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「南山」である。
- ・ 青山地区の地域資源は道志川及び国道 412 号線周辺に集中している。

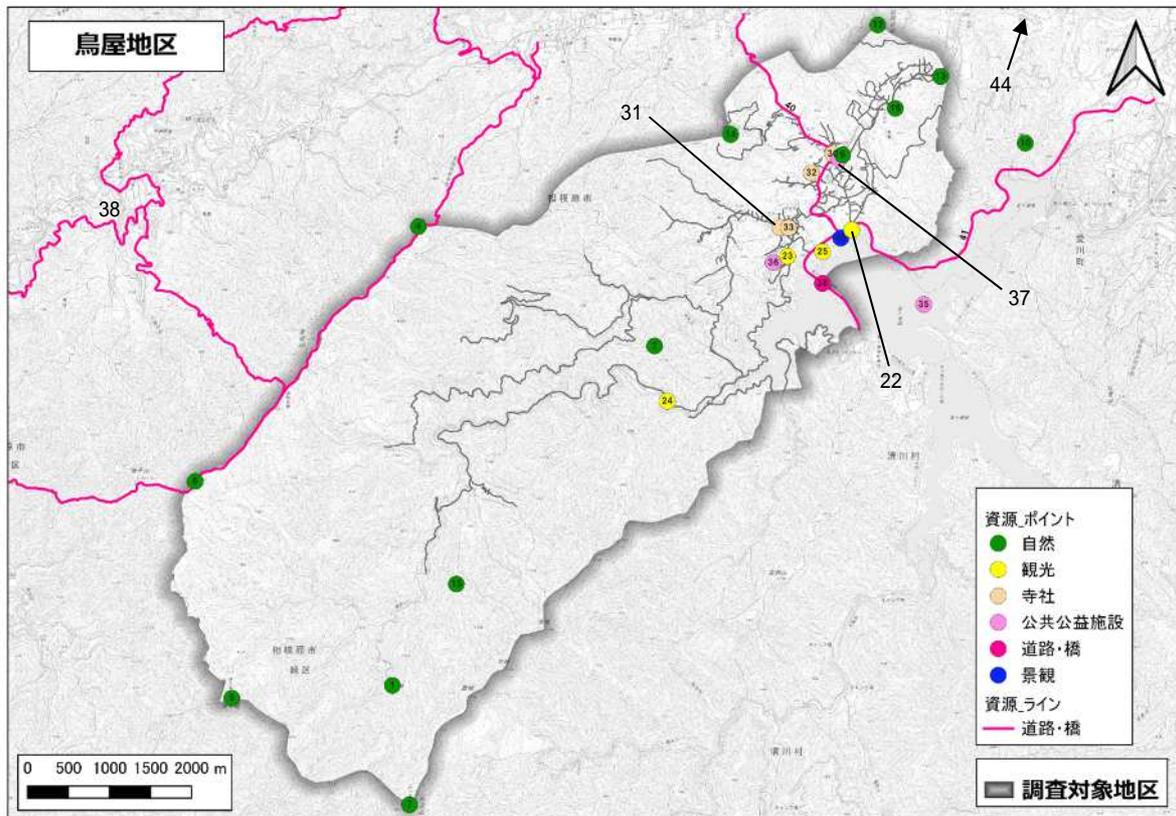


no.	地域資源	分類	回答数	備考
1	南山	自然	23	位置あり
2	道志川	自然	9	位置あり
3	仙洞寺山	自然	6	位置あり
4	森林、山林	自然	6	-
5	青山沈殿池	自然	5	位置あり
6	串川	自然	3	位置あり
7	農地（休耕田等を含む）	自然	3	-
8	平代山	自然	2	位置あり
9	水資源（水源、沢の水、清流）	自然	2	-
10	津久井湖	自然	1	位置あり
11	ハイキングコース	自然	1	-
12	野生動物（ジビエ）	自然	1	-
13	三太旅館	観光	2	位置あり
14	長竹カントリークラブ	観光	1	位置あり
15	青山神社	寺社	15	位置あり
16	光明寺	寺社	12	位置あり
17	八坂神社	寺社	5	位置あり
18	仙洞寺	寺社	4	位置あり
19	安養寺	寺社	3	位置あり
20	子神社	寺社	2	位置あり
21	来迎寺	寺社	1	位置あり
22	寺院・神社	寺社	1	-

no.	地域資源	分類	回答数	備考
23	青山親水公園	公園	8	位置あり
24	津久井湖城山公園	公園	1	位置あり
25	愛川公園	公園	1	位置あり
26	串川グラウンド	公共公益施設	21	位置あり
27	宮ヶ瀬湖、宮ヶ瀬ダム	公共公益施設	8	位置あり
28	西青山地域センター	公共公益施設	8	位置あり
29	横浜市水道局青山水源事務所	公共公益施設	4	位置あり
30	串川地域センター	公共公益施設	2	位置あり
31	串川体育館	公共公益施設	1	位置あり
32	火葬場	公共公益施設	1	-
33	弁天橋	道路・橋	4	位置あり
34	道路	道路・橋	2	-
35	関～長竹交差点	道路・橋	1	位置あり
36	農産物	産業	1	-
37	津久井在来大豆	産業	1	-
38	リニア関連	その他	4	-
39	地区全体	その他	2	-
40	広い土地	その他	1	-
41	電柱	その他	1	-

【鳥屋地区 - 地域資源の特徴】

- ・ 観光的資源や自然的資源、公共公益施設が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「鳥居原ふれあいの館」である。
- ・ 鳥屋地区の地域資源は県道 64 号線及び宮ヶ瀬湖周辺に集中している。

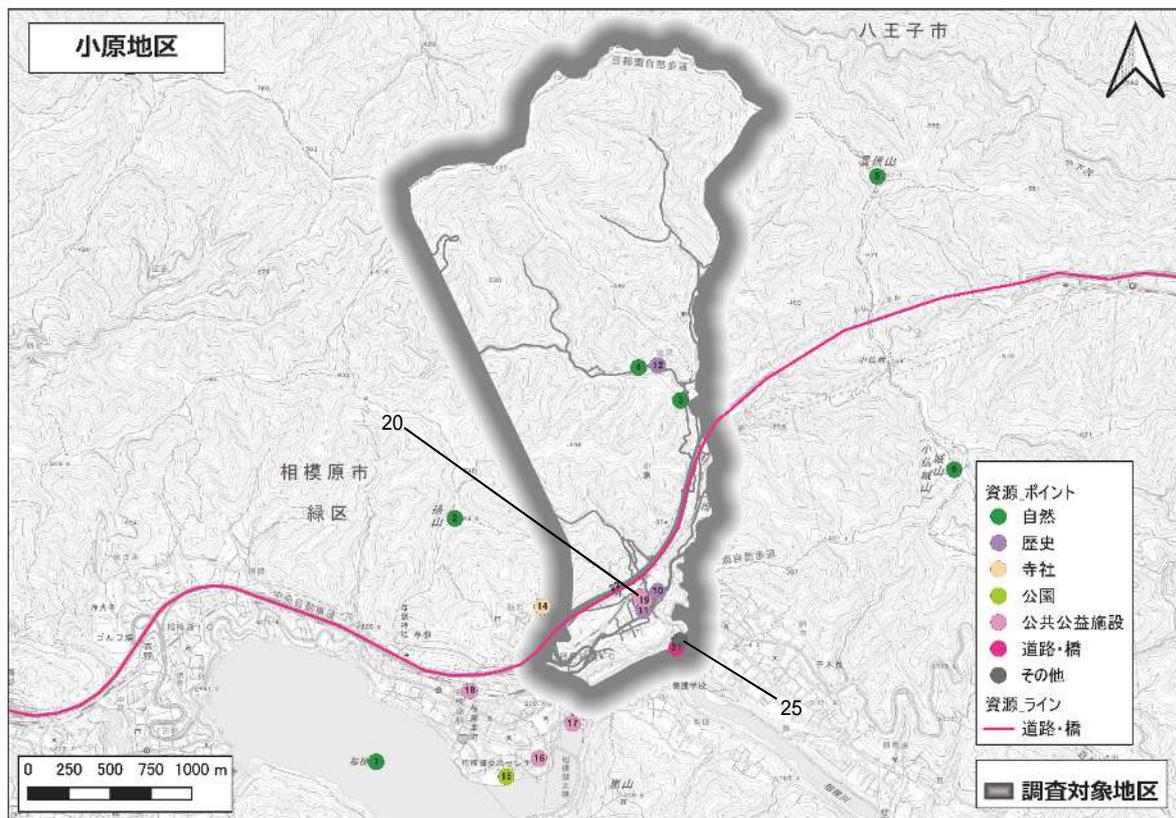


no.	地域資源	分類	回答数	備考
1	早戸大滝	自然	19	位置あり
2	松茸山	自然	11	位置あり
3	森林、山林	自然	8	-
4	焼山	自然	7	位置あり
5	蛭ヶ岳	自然	7	位置あり
6	姫次	自然	3	位置あり
7	丹沢山	自然	3	位置あり
8	水資源（水源、沢の水、清流）	自然	3	-
9	福寿草	自然	3	位置あり
10	南山	自然	2	位置あり
11	野生動物（ジビエ）	自然	2	-
12	仙洞寺山	自然	1	位置あり
13	串川	自然	1	位置あり
14	茨菰山	自然	1	位置あり
15	鬼ヶ岩の白馬	自然	1	位置あり
16	馬石の桜山	自然	1	位置あり
17	農地（休耕田等を含む）	自然	1	-
18	ハイキングコース	自然	1	-
19	丹沢山地	自然	1	-
20	白鳥	自然	1	-
21	猟区	自然	1	-
22	鳥居原ふれあいの館	観光	58	位置あり

no.	地域資源	分類	回答数	備考
23	津久井馬術場	観光	29	位置あり
24	早戸川国際マス釣場	観光	10	位置あり
25	森の展望台	観光	7	位置あり
26	奥の林道キャンプ場	観光	1	-
27	温泉	観光	1	-
28	民宿・民泊	観光	1	-
29	鳥居原リゾート地域	観光	1	-
30	諏訪神社（鳥屋地区）	寺社	9	位置あり
31	東陽寺	寺社	4	位置あり
32	清真寺	寺社	4	位置あり
33	神明神社	寺社	2	位置あり
34	寺院・神社	寺社	2	-
35	宮ヶ瀬湖、宮ヶ瀬ダム	公共公益施設	29	位置あり
36	鳥屋グラウンド	公共公益施設	23	位置あり
37	鳥屋地域センター	公共公益施設	2	位置あり
38	虹の大橋	道路・橋	6	位置あり
39	東海自然歩道	道路・橋	1	位置あり
40	県道 64 号線	道路・橋	1	位置あり
41	北岸道路	道路・橋	1	位置あり
42	鳥居原園地	景観	28	位置あり
43	祭	祭礼	1	-
44	JA 神奈川つくい	産業	1	位置あり
45	リニア関連	その他	13	-
46	地区全体	その他	3	-
47	クライン・ガルテン	その他	1	-
48	合宿	その他	1	-

【小原地区 - 地域資源の特徴】

- ・自然的資源や歴史的資源、公共公益施設が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「小原の郷」である。
- ・小原地区の地域資源は小原の郷及び相模湖周辺に集中している。

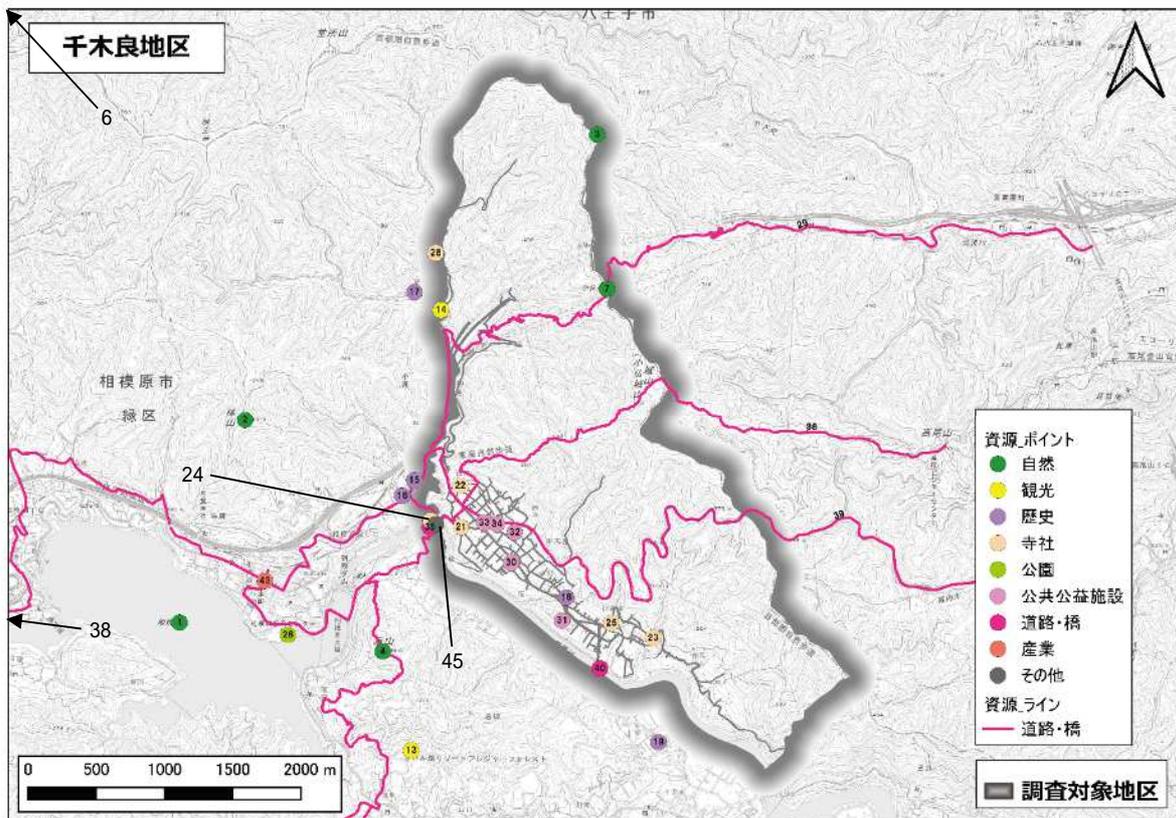


no.	地域資源	分類	回答数	備考
1	相模湖	自然	7	位置あり
2	孫山	自然	3	位置あり
3	美女谷	自然	2	位置あり
4	七ツ淵	自然	2	位置あり
5	景信山	自然	1	位置あり
6	小仏城山	自然	1	位置あり
7	森林、山林	自然	2	-
8	ハイキングコース	自然	1	-
9	水資源（水源、沢の水、清流）	自然	1	-
10	小原の郷	歴史	24	位置あり
11	小原宿本陣	歴史	18	位置あり
12	照手姫伝説	歴史	3	位置あり
13	古い街並み	歴史	1	-
14	長福寺	寺社	1	位置あり
15	相模湖公園	公園	7	位置あり
16	相模湖交流センター	公共公益施設	3	位置あり
17	相模ダム	公共公益施設	2	位置あり
18	相模湖駅	公共公益施設	2	位置あり
19	小原集会所	公共公益施設	1	位置あり
20	小原プール	公共公益施設	1	位置あり
21	弁天橋	道路・橋	5	位置あり
22	中央道・圏央道	道路・橋	1	位置あり

no.	地域資源	分類	回答数	備考
23	道路	道路・橋	1	-
24	あづまや	その他	1	-
25	弁天	その他	1	位置あり
26	地区全体	その他	1	-

【千木良地区 - 地域資源の特徴】

- ・ 自然的資源や歴史的資源、寺社が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「相模湖」である。
- ・ 千木良地区の地域資源は相模湖及び国道 20 号線周辺に集中している。

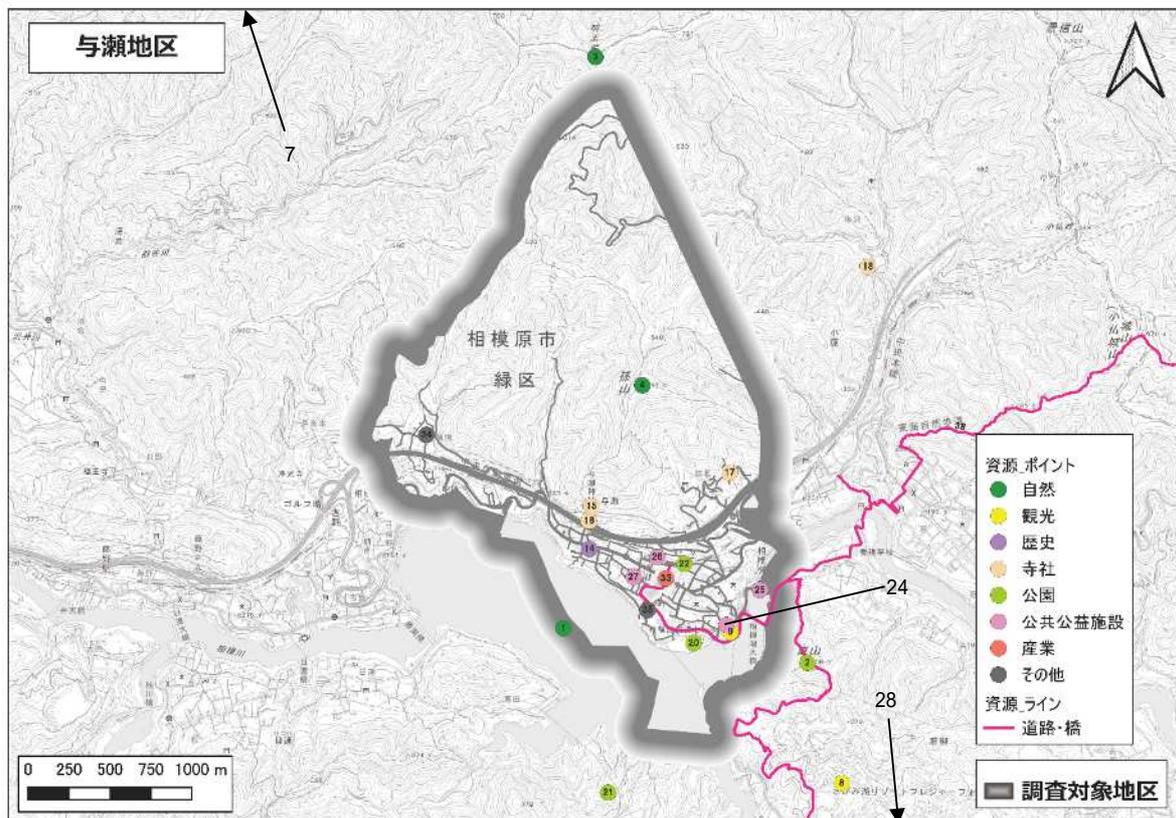


no.	地域資源	分類	回答数	備考
1	相模湖	自然	15	位置あり
2	城山	自然	14	位置あり
3	景信山	自然	5	位置あり
4	嵐山	自然	3	位置あり
5	農地（休耕田等を含む）	自然	2	-
6	陣馬山	自然	1	位置あり
7	小佛峠	自然	1	位置あり
8	森林、山林	自然	1	-
9	野生動物（ジビエ）	自然	1	-
10	自然	自然	1	-
11	ハイキングコース	自然	1	-
12	トレッキングルート	自然	1	-
13	さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト	観光	8	位置あり
14	美女谷温泉	観光	1	位置あり
15	小原の郷	歴史	10	位置あり
16	小原宿本陣	歴史	8	位置あり
17	照手姫伝説	歴史	1	位置あり
18	構口桂巖の遺構	歴史	1	位置あり
19	平井初の墓	歴史	1	位置あり
20	石仏	歴史	1	-
21	牛鞍神社	寺社	11	位置あり
22	善勝寺	寺社	8	位置あり

no.	地域資源	分類	回答数	備考
23	月読神社	寺社	3	位置あり
24	弁天社	寺社	3	位置あり
25	大通寺	寺社	3	位置あり
26	桂林寺	寺社	1	位置あり
27	寺院・神社	寺社	1	-
28	相模湖公園	公園	12	位置あり
29	近隣公園	公園	1	-
30	市立千木良診療所	公共公益施設	10	位置あり
31	津久井やまゆり園	公共公益施設	4	位置あり
32	市立千木良小学校	公共公益施設	3	位置あり
33	市立千木良保育園	公共公益施設	2	位置あり
34	市立千木良公民館	公共公益施設	2	位置あり
35	弁天橋	道路・橋	8	位置あり
36	東海自然歩道	道路・橋	4	位置あり
37	旧甲州街道	道路・橋	1	位置あり
38	小猿橋跡	道路・橋	1	位置あり
39	国道 20 号	道路・橋	1	位置あり
40	桂橋	道路・橋	1	位置あり
41	道路	道路・橋	1	-
42	津久井在来大豆	産業	2	-
43	相模湖駅前商店街	産業	1	位置あり
44	千木良地区用水路	産業	1	-
45	弁天島	その他	2	位置あり
46	空き家	その他	2	-

【与瀬地区 - 地域資源の特徴】

- ・自然的資源や公園、寺社が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「相模湖公園」である。
- ・与瀬地区の地域資源は相模湖及び国道 20 号線周辺に集中している。

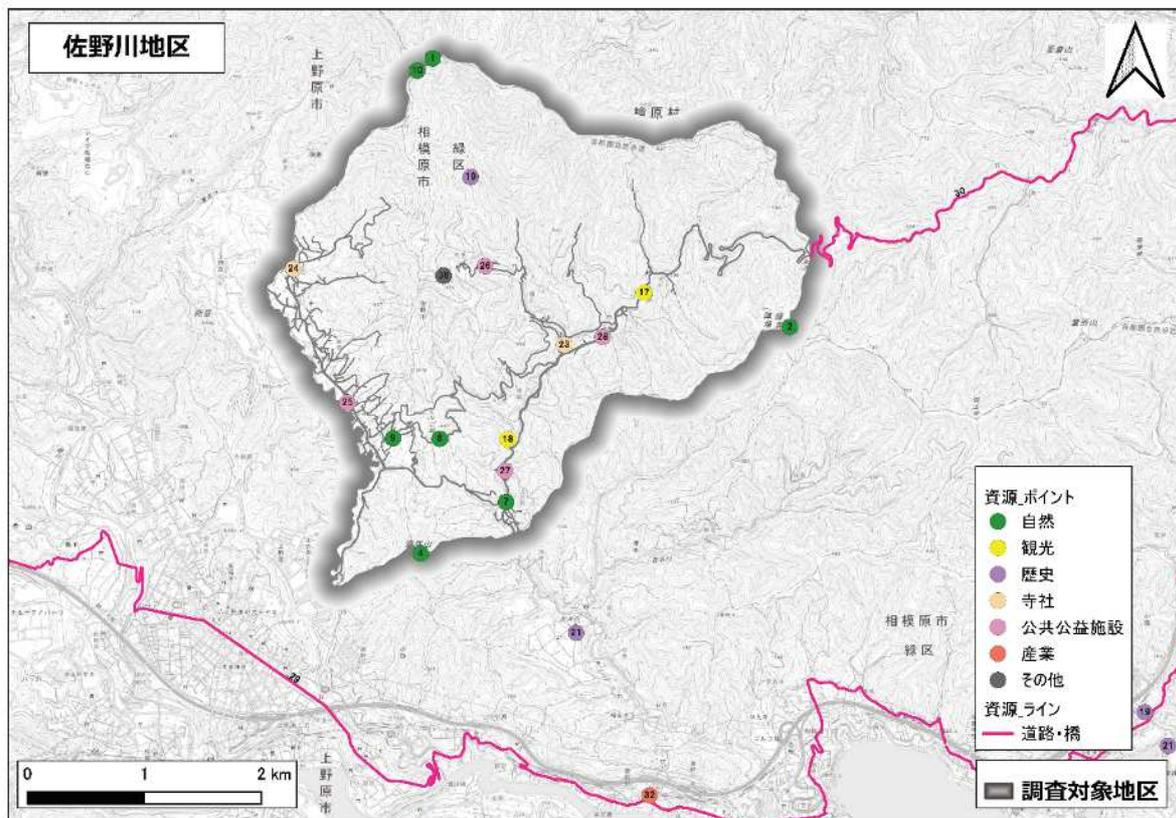


no.	地域資源	分類	回答数	備考
1	相模湖	自然	27	位置あり
2	嵐山	自然	6	位置あり
3	明王峠	自然	4	位置あり
4	孫山	自然	2	位置あり
5	森林、山林	自然	2	-
6	ハイキングコース	自然	2	-
7	陣馬山	自然	1	位置あり
8	さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト	観光	8	位置あり
9	相模湖記念館	観光	2	位置あり
10	水資源（水源、沢の水、清流）	自然	1	-
11	イカリ草	自然	1	-
12	観光	観光	1	-
13	一体的観光地化	観光	1	-
14	与瀬本陣跡	歴史	4	位置あり
15	与瀬神社	寺社	19	位置あり
16	慈眼寺	寺社	3	位置あり
17	長福寺	寺社	2	位置あり
18	秋葉神社	寺社	1	位置あり
19	寺院・神社	寺社	1	-
20	相模湖公園	公園	31	位置あり
21	相模湖自然公園ふるさとの森	公園	1	位置あり
22	相模湖駅前駐車場上の公園	公園	1	位置あり

no.	地域資源	分類	回答数	備考
23	児童公園	公園	1	-
24	相模湖交流センター	公共公益施設	9	位置あり
25	相模ダム	公共公益施設	6	位置あり
26	相模湖駅	公共公益施設	4	位置あり
27	旧与瀬保育園跡地	公共公益施設	2	位置あり
28	鳥屋グラウンド	公共公益施設	1	位置あり
29	JR 中央線	公共公益施設	1	-
30	東海自然歩道	道路・橋	1	位置あり
31	道路	道路・橋	1	-
32	秋葉神社火まつり	祭礼	1	-
33	相模湖駅前商店街	産業	2	位置あり
34	横橋	その他	1	位置あり
35	ボウリング場跡	その他	1	位置あり
36	空き地	その他	1	-

【佐野川地区 - 地域資源の特徴】

- ・自然的資源や産業的資源が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「生藤山」である。
- ・佐野川地区の地域資源は沢井川及び県道 521 号線周辺に集中している。

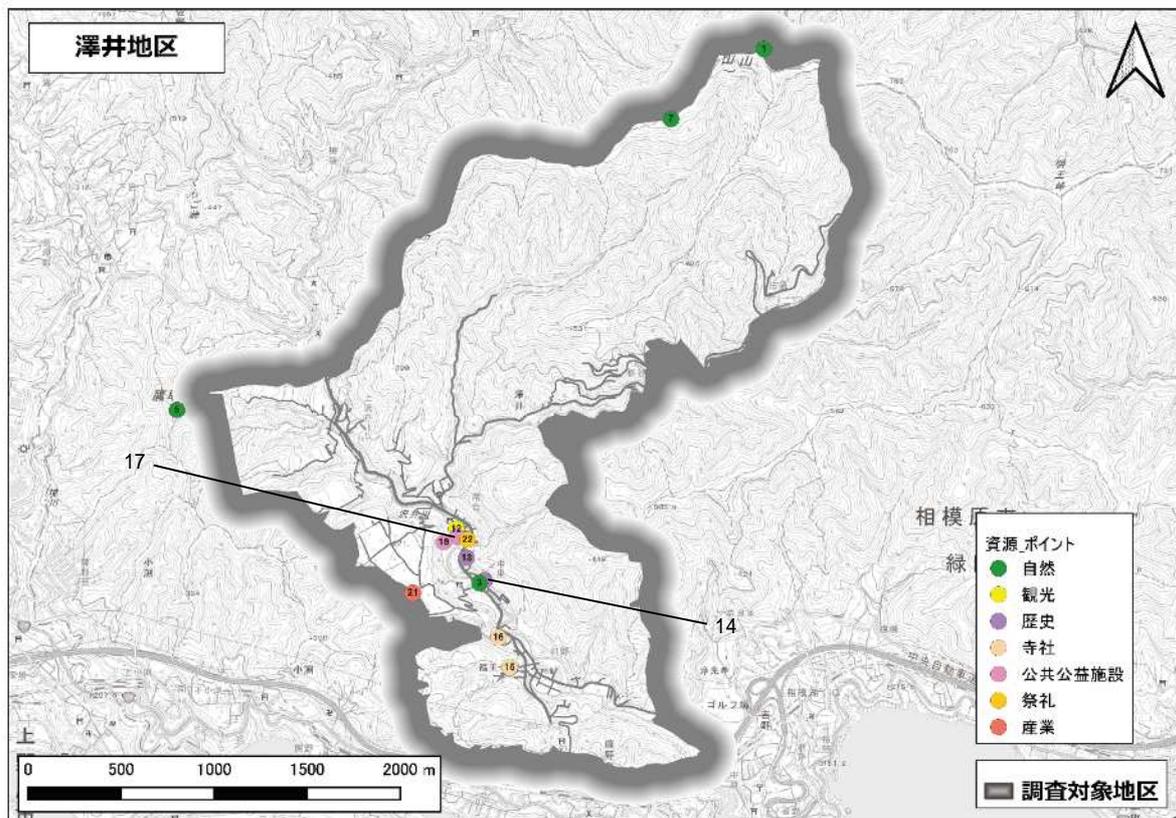


no.	地域資源	分類	回答数	備考
1	生藤山	自然	9	位置あり
2	陣馬山	自然	8	位置あり
3	森林、山林	自然	6	-
4	鷹取山	自然	2	位置あり
5	農地（休耕田等を含む）	自然	2	-
6	野生動物（ジビエ）	自然	2	-
7	上河原ホタル	自然	1	位置あり
8	甲州脇往かんの保全と倉子峠	自然	1	位置あり
9	岩神社のやしろの森	自然	1	位置あり
10	三国山	自然	1	位置あり
11	水資源（水源、沢の水、清流）	自然	1	-
12	ハイキングコース	自然	1	-
13	自然	自然	1	-
14	木材	自然	1	-
15	山菜・山草	自然	1	-
16	藤野 15 名山	自然	1	-
17	和田の里体験センター「村の家」	観光	4	位置あり
18	桐花園キャンプ場	観光	2	位置あり
19	古代養蚕正規跡地（古代養蚕発祥の地と伝えあり）	歴史	1	位置あり
20	日本武尊の神和	歴史	1	-
21	大日野原遺跡	歴史	1	位置あり

no.	地域資源	分類	回答数	備考
22	地域に残る歴史	歴史	1	-
23	八幡神社（佐野川地区）	寺社	1	位置あり
24	石楯尾神社	寺社	1	位置あり
25	佐野川公民館	公共公益施設	2	位置あり
26	たけの子里活性化センター	公共公益施設	1	位置あり
27	藤野北小学校	公共公益施設	1	位置あり
28	和田バス停	公共公益施設	1	位置あり
29	旧甲州街道	道路・橋	1	位置あり
30	陣馬街道	道路・橋	1	位置あり
31	茶畑・茶業	産業	7	-
32	ゆずの里ふじの	産業	1	位置あり
33	農産物	産業	1	-
34	林業	産業	1	-
35	地区全体	その他	2	-
36	にほんの里 100 選佐野川地区	その他	6	位置あり
37	山草の里	その他	1	-
38	山村学習	その他	1	-

【澤井地区 - 地域資源の特徴】

- ・ 自然的資源や産業（農地）が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「陣馬山」である。
- ・ 澤井地区の地域資源は地域全体に分散している。

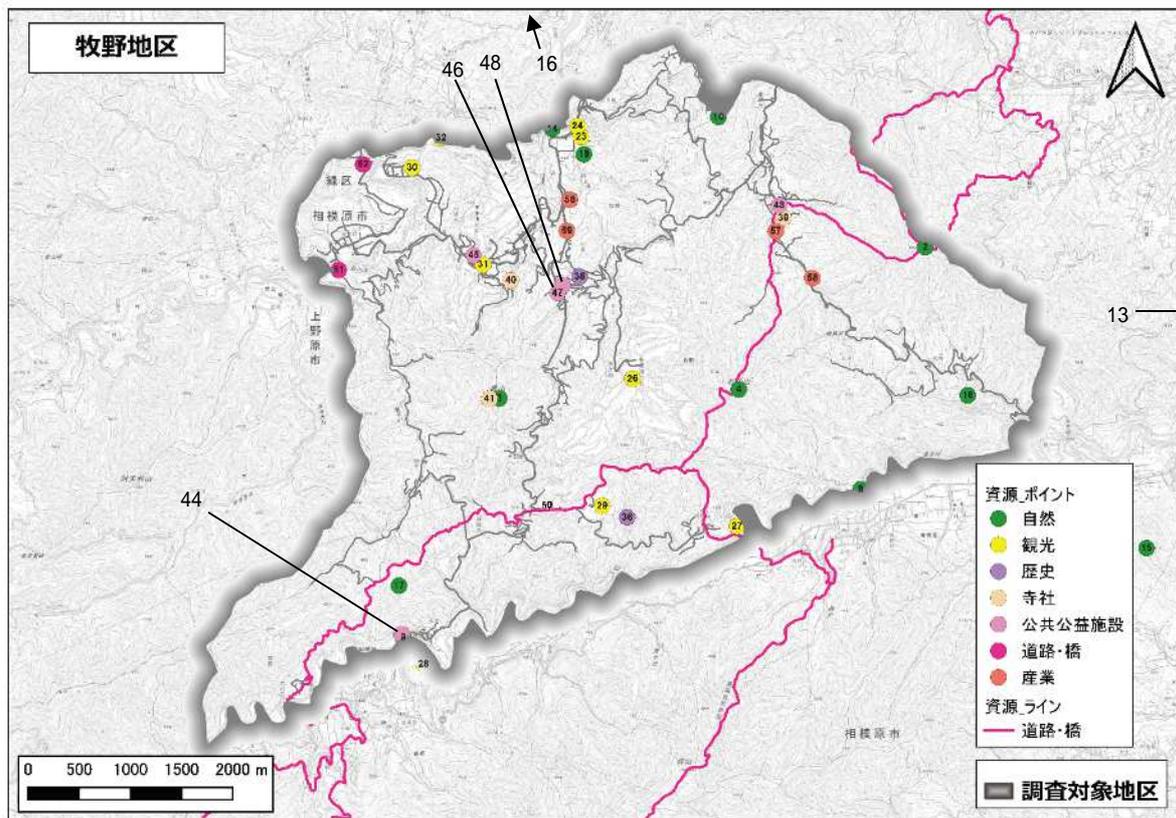


no.	地域資源	分類	回答数	備考
1	陣馬山	自然	12	位置あり
2	農地（休耕田等を含む）	自然	10	-
3	沢井川	自然	8	位置あり
4	森林、山林	自然	4	-
5	鷹取山	自然	2	位置あり
6	木材	自然	2	-
7	一ノ尾尾根	自然	1	位置あり
8	野生動物（ジビエ）	自然	1	-
9	水資源（水源、沢の水、清流）	自然	1	-
10	自然	自然	1	-
11	里山	自然	1	-
12	ふじの体験の森やませみ	観光	8	位置あり
13	石井家住宅	歴史	1	位置あり
14	遠藤家住宅	歴史	1	位置あり
15	福王寺	寺社	1	位置あり
16	御嶽神社	寺社	1	位置あり
17	沢井公民館	公共公益施設	5	位置あり
18	沢井体育館	公共公益施設	2	位置あり
19	道路	道路・橋	1	-
20	沢井川沿いの街並み	景観	1	-
21	大日野原	産業	10	位置あり
22	つつじの里	祭礼	1	位置あり

no.	地域資源	分類	回答数	備考
23	相模湖フィルムコミッション	その他	1	-
24	沼田原	その他	1	-
25	空き家	その他	1	-
26	古民家	その他	1	-
27	土蔵	その他	1	-
28	地区全体	その他	1	-

【牧野地区 - 地域資源の特徴】

- ・ 観光的資源や自然的資源、公共公益施設が多く認知されており、その中でも回答率が最も多い地域資源は「藤野芸術の家」である。
- ・ 牧野地区の地域資源は沢井川周辺に集中している。



no.	地域資源	分類	回答数	位置の有無
1	森林、山林	自然	14	-
2	石老山	自然	10	位置あり
3	峰山	自然	9	位置あり
4	石砂山	自然	4	位置あり
5	野生動物（ジビエ）	自然	4	-
6	農地（休耕田等を含む）	自然	4	-
7	水資源（水源、沢の水、清流）	自然	3	-
8	道志川	自然	2	位置あり
9	奥相模湖	自然	2	位置あり
10	鉢岡山	自然	2	位置あり
11	自然	自然	2	-
12	生物多様性	自然	2	-
13	城山	自然	1	位置あり
14	秋山川	自然	1	位置あり
15	まごめの滝	自然	1	-
16	五段の滝	自然	1	位置あり
17	舟山	自然	1	位置あり
18	川上川	自然	1	位置あり
19	ハイキングコース	自然	1	-
20	木材	自然	1	-
21	ギフチョウ	自然	1	-
22	竹	自然	1	-

no.	地域資源	分類	回答数	位置の有無
23	藤野芸術の家	観光	28	位置あり
24	藤野やまなみ温泉	観光	25	位置あり
25	ふじのアートヴィレッジ	観光	8	位置あり
26	相模湖 CC クラブ	観光	3	位置あり
27	バカンス村	観光	2	位置あり
28	いやしの湯	観光	1	位置あり
29	仁の丘農園（体験農園）	観光	1	位置あり
30	ふじの温泉 東尾垂の湯	観光	1	位置あり
31	神奈川 G.C	観光	1	位置あり
32	遊魚園	観光	1	位置あり
33	温泉	観光	2	-
34	民宿・民泊	観光	1	-
35	キャンプ場	観光	1	-
36	伏馬田城址、尾崎城址	歴史	3	位置あり
37	石仏	歴史	2	-
38	神原家	歴史	1	位置あり
39	福寿院	寺社	3	位置あり
40	蓮乗院	寺社	2	位置あり
41	古峰神社	寺社	1	位置あり
42	寺院・神社	寺社	1	-
43	篠原の里センター	公共公益施設	21	位置あり
44	道志ダム	公共公益施設	1	位置あり
45	牧郷ラボ・旧牧野小学校・牧郷体育館	公共公益施設	3	位置あり
46	藤野農村改善センター	公共公益施設	1	位置あり
47	藤野南小学校	公共公益施設	1	位置あり
48	牧野公民館	公共公益施設	1	位置あり
49	道路	道路・橋	2	-
50	東海自然歩道	道路・橋	1	位置あり
51	前川橋	道路・橋	1	位置あり
52	奥牧野の吊り橋	道路・橋	1	位置あり
53	登山道・山道	道路・橋	1	-
54	景観	景観	1	-
55	農産物	産業	3	-
56	BC 工房	産業	1	位置あり
57	すずかけの家	産業	1	位置あり
58	陶釉舎	産業	1	位置あり
59	百笑の台所	産業	1	位置あり
60	薪炭林	産業	1	-
61	炭焼き	産業	1	-
62	ガラス工芸	産業	1	-
63	陶芸	産業	1	-
64	空き家	その他	3	-
65	水車小屋	その他	1	-
66	ゴルフ場	その他	1	-
67	古民家	その他	1	-
68	セカンドハウス	その他	1	-
69	静寂	その他	1	-
70	拠点	その他	1	-

【各資源の主な問題点・活用案】

- 『青根地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
いやしの湯	<ul style="list-style-type: none"> ・国道から離れており、休暇村センター等と一体となっていない。 ・隣接の施設とは別々の経営であり、連携できていない。 ・送迎バスがない。 ・来場者の減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域核として周辺施設との一体化。 ・自然を生かしたハイキングコースづくり。 ・経営の一本化。 ・道路、公共交通機関の改善。 ・集客PR。 ・昼食利用のみでも受入れる。 ・直売所の設置。 ・24時間営業。(宿泊も)
青根緑の休暇村センター	<ul style="list-style-type: none"> ・いやしの湯等と一体となっていない。 ・設備が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域核として周辺施設との一体化。(リゾート施設に) ・経営の一本化。 ・「道の駅」のような施設を。 ・宿泊機能の充実。 ・人を招き入れる方法を検討。
青根キャンプ場	<ul style="list-style-type: none"> ・国道から離れている。 ・隣接施設と独立して連携していない。 ・来場者の減少。 ・大雨等の災害時にアクセスできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の一体化。 ・周辺施設との一体化。(キャンプと温泉とセットで楽しめるリゾート地に) ・道路、公共交通機関の改善。 ・自然を生かしたハイキングコースづくり。
津久井合唱館	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設と一体となっていない。 ・自然災害や設備の故障発生で、経営が軌道に乗りにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集客PR。 ・道路、公共交通機関の改善。 ・地域核として周辺施設との一体化。 ・合唱以外の幅広い音楽活動に利用させる。

- 『青野原地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
青野原オートキャンプ場	<ul style="list-style-type: none"> ・道が狭い。 ・2～3年前から崖が崩れ、遊泳禁止、泳ぐ場所が少ない。 ・台風19号の被害。 ・地元住民への対応。 ・PR不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現況の河川に合わせたオートキャンプ場として施設の充実。 ・公園の散歩コース、アスレチック等、道具がなくても(手ぶらで)誰でも利用できる施設の増設。 ・地元住民の交流の場として無料で施設を開放。 ・ITを活用した広報活動。 ・トイレ等設備の充実。
青野原グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖されている雰囲気。 ・スポーツ施設(野球以外)としての活用がされていない。 ・予約を取るのが困難。 ・地域住民が自由に利用できない、活用がされていない。 ・駐車場が狭い。 ・トイレが汚い、古い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的に活用(サッカー等の他のスポーツ会場、ドクターヘリの発着、散歩道、ランニングコース、星をみる会)できる設備の整備。 ・屋外だけでなく、運動が気軽にできるような施設(シャワールーム、人工芝、トレーニングルーム)の設置。 ・空き時間を開放し、子どもから高齢者まで利用できる施設に。 ・市外のスポーツ団体への貸し出し。
グリーンファーム青野原ふれあい農園	<ul style="list-style-type: none"> ・獣などの被害がある。 ・借り手・利用者が少ない。 ・未利用の農園があり、管理が不十分。 ・以前は野菜売場があったが、小屋が利用されていない。 ・住民に活動内容を理解されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農園を活用したい人の希望を聞いて、利用しやすい環境、利用方法の検討。 ・休憩ができる場所の整備。 ・道の駅等の整備。 ・地元住民を雇用し、地元や近隣で採れた農作物、ハンドメイド等の特産品の展示・販売。

- 『青山地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
南山	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマヒルが多い。 ・猪、鹿が出没。 ・遊歩道が暗く、一人で歩くのが怖い。 ・ハイキングする人が少ない。 ・林道の荒廃が進んでいる。 ・駐車場がない。 ・案内掲示の汚れ、文字の消滅等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒル対策。 ・草刈り。 ・登山口の増設。 ・登山道、ハイキングコース、トレッキングコースの充実。 ・交通手段の確保と定期的コースの整備。 ・トイレ、休憩場所の整備。 ・案内板の充実、維持管理。
串川グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり活用されていない。目立たない。 ・使用許可が取りにくい。 ・グラウンドとしては地盤がよくない。 ・水はけが悪い。 ・グラウンドの整備が悪い。 ・遊具が少なく、子どもが遊ぶには適さない。 ・樹木の枝が伸びすぎている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ、ソフトボール、学生の大会への活用。 ・地域の団体を優先的に利用。 ・平日、子どもに自由に開放。 ・遊具の増設。 ・排水等、地盤を整備し、利用しやすい施設に。 ・ステージを整備し、屋外イベントなどに活用。 ・資源マップ(道順と時間等)を作成し、ウォーキングに活用。 ・健康のために大人が運動する機会を作る。
青山神社	<ul style="list-style-type: none"> ・神社、社を守っていくのが大変。 ・維持する氏子総代の人員が確保できない。 ・神輿の担ぎ手や準備など、若い人が足りない。 ・お祭りの協賛金が必要。自治会費から出している。 ・夏に行われる祭が、市としてあまりフォーカスされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なところから人員を登用する。 ・夏祭りやその他の行事をPRして人を集める。 ・演芸会(芸能人)にお金がかかっているので中止する。 ・シビックプライドを刺激する広報活動。

- 『鳥屋地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
鳥居原ふれあいの館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場が狭い。不足。誘導。 ・ バイクや車の騒音、排ガス等。 ・ 公共交通での移動手段がない。 ・ 来所する年齢層が狭い。 ・ 長時間滞在する人がいない。 ・ 食堂・売店は、駐車場から動線が悪く、見た目もよくない。 ・ 施設の活用が不十分。 ・ 直売所スペースが狭く、無駄なスペースが多い。 ・ 野菜出荷者の高齢化により出店ができない。 ・ 公の管理のため、使用の自由度が低い。 ・ 建物の老朽化。悪臭があり、衛生面がよくない。 ・ 子どもの遊具がない。 ・ みつばつつじが猪に掘られ、枯れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場の有料化。 ・ 道の駅として整備。 ・ 美しい環境やリニア基地と結びつけた観光地化。 ・ リニアを活用して車以外の利用を増やす。 ・ 集客力のあるカフェや温泉、ペットと自然を楽しめる場所、名物メニュー、イベントの企画。 ・ 広報で観光地としてPR。 ・ 農産物直売の継続。全国の果物、野菜、日用品を販売。 ・ 空室の活用。 ・ 避難所としての活用。 ・ 農業体験より出荷を増やす。 ・ 抜本的な経営法、人材確保。 ・ 鳥居原ふれあい館を拠点にハイキングコースの開設。 ・ 一体とした観光資源として活用。
宮ヶ瀬湖、宮ヶ瀬ダム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日の来客が少ない。 ・ 駐車場が少ない（人が多いとき）。駐車場代が高い。 ・ 一部の道路が通行止め。 ・ サイクリングでの来所環境が充実していない。 ・ 公共交通での移動手段がない。 ・ 釣り等が規制され、水に親しむ範囲が狭い。 ・ お店をもう少しきれいに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を活用したスポーツイベントや音楽フェスの開催。 ・ 親水性の向上のため、ボートや釣り等の許可。 ・ サイクリングコースやグランピング島、施設の充実。 ・ キャンプ場計画の復活。 ・ 虹の大橋下の空き地の活用。 ・ 四季の花を咲かせる。 ・ 公共交通の整備。
津久井馬術場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部の人のためにしか使用されていない。 ・ 使用頻度が少ない。 ・ 使用状況や馬術競技（訓練も含む）状況が不明。 ・ 馬術場は大会等を開催する面積が確保できていない。 ・ 何に利用しているのかわからない。PR 不足。 ・ 地元のために活用されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 馬術競技回数を増加。 ・ 馬術等のイベント開催。 ・ 大学等の馬術競技の実施。 ・ 国体開催時の広さに戻し、乗馬体験など馬や動物に触れ合える施設に。 ・ スポーツの拠点として活用。 ・ 宿泊施設、温泉施設の整備。 ・ 地域の人（特に子ども）が楽しめる施設に。 ・ 民間に運営を委託。 ・ 市の火葬場を整備。 ・ 広報活動を増やす。

- 『小原地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
小原の郷	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような施設なのかわかりにくい。 ・トイレ、休憩場所、直売所としてのみの利用で、広場や展示棟が活用しきれていない。 ・補助金ありきのため、今後の維持・管理。 ・令和5年度限りで、市と県の関係が終了。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント会場やスポーツ開催。 ・物販、飲食の自由化。 ・道の駅として整備。 ・イベントの増加。 ・資料を増設し、定期的に入れ替える。 ・「資料館」等の名称を変更。 ・指定管理会社への委託。 ・起業家に貸し出し。
小原宿本陣	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化。 ・古くてうす暗い。 ・施設が活用しきれていない。 ・朝市以外のイベントの開催日が知られていない。 ・補助金ありきのため、今後の維持・管理。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復元・修繕して、道の駅との一体活用。 ・お土産の販売。 ・蠟人形の設置(臨場感を出す)。 ・ウォーキング等のイベントの実施。 ・入場料を有料にする(低額)。 ・ポスター、広報などでPR。 ・指定管理会社へ委託。
相模湖公園	<ul style="list-style-type: none"> ・人が少ない。 ・寂れている。 ・活気がない。 ・トイレが汚い。 ・土日駐車場の料金。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの増加。 ・相模駅と併せてデザインを統一。 ・洋式トイレの整備。

- 『千木良地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
相模湖	<ul style="list-style-type: none"> ・水が汚い。 ・魚釣り場が整備されていない。 ・一周道路がない。 ・自転車レースがない。 ・水利が地元還元されていない。 ・釣り大会等が少ない。 ・遊泳が禁止。 ・湖の景観が南側に限定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・釣り環境の整備。 ・湖畔周遊歩道、自動車道、吊り橋の整備。 ・アトラクション(ジップライン等)の整備。 ・トライアスロン、自転車レース等のイベント開催。 ・ウォーキングコース(公園 既存店舗 勝瀬橋 元林間公園 ねん坂 公園)の設定。 ・湖の半分を埋め立て、土地利用。
城山	<ul style="list-style-type: none"> ・道が悪い、景色が悪い。 ・すばらしい眺望だが、ほとんどアピールされていない。 ・名物の木彫りの天狗が腐っている。 ・高尾山の賑わいに比べ地味。 ・裏高尾の京王バス、神奈中バス路線が活用されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高尾山からのハイキングコースを整備。 ・城山～千木良、登山道の整備。 ・観光(ウォーキング)コースとして活用。 ・台風で倒れた木の整備。 ・高尾山から人を誘導。富士急等との協力。 ・バスの増便。 ・SNS等でPR。
相模湖公園	<ul style="list-style-type: none"> ・整備が行き届いておらず、日当たりが悪く、暗い。 ・周辺の店舗が開店しているかわかりにくい。 ・ボウリング場施設等が放置。 ・花見シーズンにイベントが少ない。 ・市民の活用できる施設がない。 ・地区・近隣住民のための公園施設ではない。 ・車で気軽に入れない。立派な駐車場はいらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の店舗で長い時間過ごせるような工夫。 ・ボウリング場跡地を公共施設とレストラン街、ファッション(アウトレット)店の複合ビルに整備。 ・コンサートや定期的なフリーマーケット等のイベント開催。 ・運動できる施設の整備。 ・遊具などを設置し、安全に子どもが遊べる場に。

- 『与瀬地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
相模湖公園	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客、来園者が少ない。 ・観光地らしさがない。 ・駅からの行き方が不明確。 ・歩道や走りやすい道がない。 ・ベンチ、テーブルが少ない。 ・照明が少なく暗い。 ・公衆便所がない。 ・子どもの遊び場や高齢者が休める場がない。 ・犬が楽しめる場がない。 ・ボール遊び等の規制が多い。 ・店が少ない。 ・駐車場が有料（休日） ・イルミネーション期間中でも、駐車場が18:00まで。 ・自然の景観を生かしていない。 ・相模湖は飲料水のため問題。 ・イベント時に、大きな音が流れ、住民としては大変迷惑。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高尾山等を利用する登山客を相模湖へ誘導。 ・遊歩道の整備。 ・廃墟の解体。 ・日陰を増やす。 ・子どもの遊び場(アスレチック等)の整備。 ・スケートリンクおよびプール等の整備。 ・ドッグラン等の整備。 ・若い子やファミリーが集まる店舗の整備。 ・駐車場の無料化、時間の延長。 ・フリーマーケット、小さなライブ、ナイトシアター、食フェスなどイベントの開催。 ・学生の合宿、大会等の誘致 ・イベント時の周知。 ・音楽イベント等は、相模湖交流センター等の屋内施設を活用。
相模湖	<ul style="list-style-type: none"> ・湖の水や湖周辺(廃墟)が汚い。 ・イベント時以外は人がこない。 ・古くさい店。商店の減少。 ・ダム湖のため制約が多い。 ・交通の便の良さを生かしていない。 ・湖の周りを散歩する所が少ない。 ・交通渋滞が発生する。 ・駐車スペースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾い。 ・湖一周ウォーキングロードやサイクリングロードの整備。 ・対岸に散歩コースの設定。 ・フリーマーケットや青空市の開催。 ・若者が好むカフェ、アウトレットモールなど商業施設等の誘致。リゾート化。 ・カヌーなどのレジャー整備。 ・水上スキー大会の開催。 ・プレジャーフォレストとの連携(イルミネーション) ・四季を生かした催しを開催。 ・美しい花をつける木の植林。 ・湖上祭の開催日を土日にする。
与瀬神社	<ul style="list-style-type: none"> ・参拝者が少ない。 ・専門の神主が不在。 ・神輿の担ぎ手が少ない。 ・相模湖駅からの道案内等。 ・神社の清掃等。 ・建物の老朽化。 ・神社の裏側の縁結びの神様等が忘れられている。 ・公衆トイレがない。 ・保安林箇所が土砂崩壊。 ・祭りに対して無関心。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内バス(地区内を循環する)。 ・常駐の神主の確保。 ・駅等に神社の説明板の設置。 ・施設の周辺整備。 ・公衆トイレの設置。 ・地域を活気づけるために、定時に鐘を叩くなどする。 ・祭りに市の補助金を活用。 ・町ぐるみでイベント等。

- 『佐野川地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
生藤山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅からの登山口が主に2ヶ所のみ。 ・ 登山道の整備不足。 ・ 陣馬山に比べてハイカーが少ない。 ・ 登山客への宣伝不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの増便。 ・ 登山道の整備。 ・ 頂上周辺の整備。 ・ 生藤山から陣馬山へのコースを整備し、ハイカーの利用。 ・ PR。
茶畑・茶業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化による後継者不足。 ・ 高齢化によるお茶畑の放置。 ・ 猪・猿等の被害が多く、保全意欲が損なわれる。 ・ 収入が低い。 ・ 知られていない。 ・ 日本茶だけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織的な経営管理で定年後の働き場所に。 ・ 農業ボランティア等の活用。 ・ 農地レンタル。 ・ 花畑に転用。 ・ 紅茶に力を入れ、紅茶から町おこし。芸術の町ともからめ、旧スタジオフジノのようなアートともふれあえる地を目指してはどうか。 ・ PR。
陣馬山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅からの登山口が主に2ヶ所のみ。 ・ 登山道の整備不足。 ・ トイレが少ない。 ・ 観光客が少ない。 ・ 都心からのアクセスも悪くなく、高尾山より素晴らしい眺望等の魅力が十分に活かされていない。 ・ 登山客への宣伝不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登山道の整備。 ・ 店舗を整備し、地域に金が落ちるようにする。 ・ 魅力的な観光スポットの整備。 ・ PR。

- 『澤井地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
陣馬山	<ul style="list-style-type: none"> ・登山道が暗い。 ・ハイキングコースの荒れ。 ・駐車場が少ない。 ・山頂のトイレ(神奈川県なし)。 ・沢井トンネルの交互通行。 ・知名度の低さ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な登山道の整備。 ・高尾山との連携。一体となったハイキングコースの整備。 ・大型バス駐車場整備。 ・杉、桧を伐採して落葉樹林にする。 ・ハイキングを兼ねた農産物の直売。 ・メディア通した広告・宣伝。
農地(休耕田等を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の年齢が高い。 ・耕作放棄地が多い。 ・農道が狭く、車でアクセスする道路が未整備。 ・道路が未整備のため若者の利用が続かない。 ・農業用水がない。 ・市や農協の指導と積極性が無い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地を貸し、野菜作り、観光農園等を。 ・農泊等の農家の育成。 ・法人化して、収入の安定化。 ・農薬等を使わない地球にやさしい緑の未来型プロジェクトの展開。 ・体験農園や交流拠点として。 ・太陽光発電の用地として活用。 ・農道等のインフラの整備。 ・農産物の直売、加工品の販売。 ・縄文時代の古代文化等をPR。 ・クマ、イノシシ、サル、シカがいる地域としてPR。
大日野原	<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者の不在。 ・農業を行っているのは一部であり、多くは耕作放棄地。 ・道路が整備されていない。 ・車での侵入が困難。 ・水道水がない。 ・生産緑地に指定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒れた農地の復活。 ・道路の整備(拡幅)。 ・貸し農地化。 ・市民農園や観光農園、滞在型農園として整備。 ・太陽光発電の用地として活用。 ・多目的利用(スポーツ、公園など)。 ・一帯が畑。公共施設用地に転用可能。 ・公共施設を誘致(研究所、高齢者娯楽施設)。

- 『牧野地区』で回答が得られた地域資源に対する主な問題点と活用案を下表に整理する。

地域資源	主な問題点	主な活用案
藤野芸術の家	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の利用が少ない。 ・宿泊客が少なそう。 ・施設の老朽化。 ・駐車場が狭い。 ・藤野駅から芸術の家までの道路がよくない。徒歩で危ない。 ・地域住民の利用。 ・運営、維持費が大変そう。 ・もっとPRすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備・修理等。 ・周辺や利用者の声を聞き、使用しやすくする。 ・地域住民が気軽に立ち寄り、利用したりできるように。 ・地域住民の習い事ができる教室を作る。 ・イベントの拡充。 ・温泉をセットにした日帰りツアー。 ・入所型の老人福祉施設の整備。 ・災害時は避難場所として開放。 ・PR。
藤野やまなみ温泉	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎車がなく、高齢者の利用が不便。 ・宿泊施設がない。 ・食事が美味しくない。 ・室内が暗い、かび臭い。 ・周辺施設との関係。 ・裏の公園とのつながりがない。 ・タトゥーの禁止。時代と逆行。 ・宣伝していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交通機関と連携。 ・整備・修理等。 ・温水プールなどの運動施設の整備。 ・郷土料理のメニュー。 ・温泉日帰りツアー。 ・地元の方による手作り竹細工など学べる交流会。 ・健康づくりとの連携活動。 ・他の資源との連携。 ・やまなみ公園、八幡神社、ほたるの川辺、温泉、峰山等々を結んだ活用。 ・地元住民割引料金の設定。 ・避難所としての活用。 ・PR（ポスター等）。
篠原の里センター	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化。建物の補修等が必要。 ・自主運営のため資金面が心配。 ・正式な避難場所でない。 ・新住人の場となり、旧住人の参加が少ない。 ・知られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備・修理等(エアコン、塗装工事等)。 ・補助の活用。 ・正式な避難場所に指定。避難所としての充実。 ・旧住人の参加の促進。 ・地域NPOが運営。 ・活発な催し等の開催。 ・ギフチョウ、すずかけの家、陶芸、農園、炭焼き等々の活用。

(13) 地域活性化に関する要望や意見（主な意見抜粋）

問 21 どうすれば地域が活性化できるかなど、要望や意見。

- 青根（津久井地区）
- * 2年連続で土砂崩れとなり、とてもイメージが悪くなってしまった。人を増やす努力をしたい。そのためにはまず地域が団結しなければならないと思う。
- * 人がいなければ地域は活性化しない。現在独身の若者（といっても50～60代）が大勢いる。結婚支援の策があればと期待している。
- * まずは今住んでいる人の不安を解消する。【車が運転できない人は困っています もっと移動ができるように、交通機関の工夫を】高齢者のひとり暮らしの方は困っています 買物、病院、家の仕事など行政が援助を】
- * 資源を上手く使って活性化を。休耕田、空き家、山を上手く活用する。
- * 高齢化が進み、子どもの居住が極めて少ない地域になってしまった今となつては、地域資源を生かした観光客が来たくするような環境づくりを進めるため、恵まれた自然を見る、体験する、交流する場の創造が必要と考えます。地域外から来る人々を増加させることによって、この地域で生活してみたいと思う人が少数ずつ発生していくのではないのでしょうか。キャンプ場や温泉だけでは、この地域に住み着くことにはならないと思います。日々の生活の中で春夏秋冬の季節を楽しむことのできる地域整備が必要だと思います。
- * この地域はこれといった産業もありません。ですから豊かな地域資源を活用し、人の往来を活性化する必要があるのではないかと思います。まず、緑の休暇村周辺です。宿泊施設を持ちながら、いやしの湯まで歩いて行かなくてはなりません。センターをいやしの湯に接続するように4階建てに建て直し、1階は地域でとれた野菜やその他の売店、一般食堂、2階はいやしの湯の客の休憩所・食事所、3階・4階は宿泊施設にし、大型車が入れるようにし、夜間は駐車場、トイレを開放し、できれば温泉も24時間入れるようにして、道の駅的な要素を備えた地区に作り直す。また津久井合唱館は現在のところではなく、同エリアの他の場所に移動し、青根キャンプ場と合併し、キャンプと温泉宿泊できる道の駅をキャッチフレーズに車や人を呼び込むようにしたらどうか。大島自然の村ばかりではなく、もっともっと幼児から老人まで活用できる地区になると思います。次に道志ダム、奥相模湖です。道志ダムはダム湖ではありません。ダムの水門の上まで土砂が溜まり、かろうじて水門を開けて水を流す所一ヶ所だけが掘れて、水が溜まっている状態です。立派な観光資源なのに全く活かされていません。閉校になった青根小学校の跡地や青根中学校の活用方法、裏丹沢の登山客招致や交通の便の問題など、本当に行政と地域が一体となって努力しないと、夢ごとに終わってしまい、いずれ消滅していく地区です。
- * 地元の方に限らず、若い方のアイデアを取り入れたらどうか。荒れている畑や山の木材などを生かすことができるアイデアを持っている方が取り組める支援などがあれば、人を呼べるのではないか。

● 青野原（津久井地区）

- * 青野原地区は国道 413 号線のため、山梨方面に向かう車が年々増加しており、ポイントとなる施設などなく、通過していく車が多い。なんとか立ち寄る施設（例として道の駅等）が設置されれば、地域の活性化ができると思います。また、農業振興にも期待できると思います。
- * 自転車、山登り等のアウトドアスポーツの拠点作りなどはどうかと思う。
- * 国道 413 号は、山中湖等に行く観光道路として、またキャンプ場も多く、他県からの人々が利用しております。しかし、青野原バイパスは畑地であるため、直線で見通しは良いが、通過点になってしまっています。「道の駅」を建築して、地元の野菜や特産物売り、立ち寄れる「青野原地区」にしてほしいです。
- * いま自分が持っている力、やりたい希望など見える化して、住民が元気で地域が活性化する道をさぐる。地域の高校生にもアイデアを出してもらう。中高生にも地域活動に参加を呼びかけて、地元愛を深められるようにしていく。
- * 何か人が集まる施設を造ってほしい。そこに地域の人働ける場所ができれば、過疎化にも歯止めがかかるかもしれない。とにかく、地域が賑やかになり、人が集まり、活気が出てくると、ここで生まれ育ち、他の地域に出たことがない自分としては大変嬉しいです。ぜひ山間部にも目を向けていただけよう、よろしく願いいたします。
- * けっこう他県から登山に訪れる方が多い。その方々は通過してしまいます（バスで山中湖へ向かう）。登山のモデルコースを作成し、やまなみ温泉へ向かうようなコース作りとか、少しでも地域にお金を落としてもらえようような街づくりをしてはどうか。地蔵前バス停留所付近にアピオフォーム（無農薬野菜作り）をしている所があるが、あまり知られていない。体験農業とか子ども達を受け入れて、農業の素晴らしさを教えている。そういった地域で活動している方々をもっと PRすべきである。

● 青山（津久井地区）

- * 元々の住民と外から入った者がうまくいかない。外者はいつまでたっても外者。自治会に入っていないと、避難所は居づらいです。自治会は行事が多すぎてどうにもならない。昔からの仕方で、意見もできない。住みづらい。田舎の良さなどなく、人間関係で嫌になる。
- * 串川地区を農住地区のモデル地区として、一戸当たり 300 m²以上の区画割として、それ以下は建築許可を出さないこと（景観価値を上げる）
- * 1. 地域の自治体は悪化するばかりでよくなる。自治会も役所の下請けをしているようで前向きでない。
2. 活性化するような情報はなく、若い人材もいない。
3. 高齢化により自治会活動も大変になっている。
- * この地区は都内から観光地への通過点に過ぎません。そのことを逆に利用し、田舎・緑の多さを生かし、道の駅や休憩できる場所を作る案を提案いたします。青山地区に火葬場建設がされる予定があるそうです。これも good だと思います！地場の商業を活性するチャンスであると思う。全国に誇れる美しく、散歩もできるような近代的な景観の火葬場を作ったら良いと思います。ぜひ地元の野菜やお土産を使ってください。建物や外構の整備なども地元業者を使ってください。
- * 鳥屋方面に向かう道路で狭い場所があり、広い道路にしてほしい。広くなると子ども達も安心して学校に通えるし、ふれあいの家等観光客が多く訪れて、青山地区も活性化すると思います。
- * 人と人との繋がりが少ないと思います。高齢の方々は昔からの知り合いがいたり、行事を通した付き合いがありますが、その子ども世代は勤めている会社も地域にないので、日頃の付き合いが皆無です。イベントや行事を行って、地域の外から人々を集めるのと同時に、地域の人同士の関わりを増やせたらいいと思います。
- * リニアモーターカーの車両基地が鳥屋地区にできると聞いていますが、どうせなら近隣地区に関連の施設を作ってほしいと思います。都留市のようにリニア館や道の駅を付近に建設すれば、少しでも雇用が生まれると思います。
- * 臨海部から内陸部へ産業構造が移行していく中で、AI 技術の職場進出、太陽光発電などのクリーンエネルギーの活用、ドローン技術や自動運転技術の向上が期待される昨今、注目する地域だと僕は確信している。トヨタがスマートシティを裾野市に作るのであれば、なぜ相模原市の緑区に作るができないのか不思議でならない。市街地とは際だった違いを施策に活かし、活性化を図っていくべきだと考えている。具体的には特区を設け、法規制の緩和をする一方で、民間活力をいかしながら社会インフラ（一例だがオフグリッドソーラ発電を地域の共同体が管理するシステムの導入など）をもっと積極的に進めるべきだと思っている。高齢者にとっては心身の安らぎを提供できる景観と環境を残し（指定管理者制度を活かして公設の高齢者有料賃貸住宅などを提供）、若者にとっては在宅勤務などの推進を奨励する。例えば、Webライターや翻訳家、バイオテクノロジーを活かした農業従事者への地域優遇措置などを推し進め、支援し、中山間部を活かした未来都市構想を推し進めていくべきであると考えている。災害という負の経験を顧みて地域を見直し、その地域特性を活かしてプラス志向の施策を展開する。そうしたリーダーシップが求められているのではないのでしょうか。

● 鳥屋（津久井地区）

* リニア事業を有効に利用してほしい。駅ができますように。

* 市が市民の意見を聞き、真剣に考えること。

鳥屋にもメリットを。橋本駅までリニアの複線を引いてほしい。何と言っても鉄道がないので不便。人が減る。魅力ある土地にするために是非鉄道を。

バス問題。税金をかけている割には乗らない。なぜか。一番使う高校生にとって、不便な時刻設定だから。また料金が高すぎる。時刻表を変更し、安い運賃にする。小さめのバスや市のワゴン車等を利用する。コミュニティバス。

鳥屋の資源活用をする。

- ・森林組合と協力し森林の活用を
- ・馬術場ではなく、温泉施設へ。人が集まる施設へ変更
- ・鳥獣や台風被害には、整備に予算を

* リニア建設に関連した開発が進むのであれば、首都圏からアクセスの良い観光資源を持って、地域ジオパーク構想など、JRだけでなく、地域にも経済的な効果が見込まれるようなプランで進めていただきたい。

* 津久井地区には田舎を理解して移り住む大人達が多くいるようだ。そういう人たちにこの地を理解できる講座等を開いたらどうか。歴史を知る人、地域の特徴を知る人等から聞く講座を一年に数回開いてほしい。連続の物語的に。話したい人もいるようだ。「むら起こし」は楽しいものであると思う。

* 地域の高齢化が進む一方、魅力ある地域資源が少ないので、人・物の移動も少ない。宮ヶ瀬湖周辺の施設では、外部からの人・物の移動はあるが、地域の活性化までには結びついていない。人や物が集まり、街ができないと活性化は進まない。幸いこの地域には、宮ヶ瀬湖周辺に地域物産館や広い公園があり、風光明媚である。バスの始終地点でもある。ここをもっと活力ある場所にすべきである。また、近い将来のリニア新幹線の車庫は、問題も多いが、上手に生かせば湖周辺よりインパクトのある地域になりうる。

* ・空き家をリフォームして若い人に住んでもらう。・空いている畑地を貸す。・ふれあいの館をもっとアピール（駅にポスター貼るとか）。

* 緑区はほとんどが森林であり、自然が多いことが良い所なのだから、その特徴を産業にするべきだと思う。林業や農業、酪農などを産業にすることで、森林は健全に維持され、災害も減ると思う。お隣の山梨県でやられていることをもっと学んでみてはどうか。

* 鳥屋は歴史のあるお祭りや蛍が飛び交うきれいな川、緑が多く、自然がいっぱいある所が魅力でした。これからリニア基地ができることで、自然がなくなり、どのように変化していくのか不安です。無理な活性化は必要なのか疑問です。子ども達が大人になっても変わらず、自然が残っているほうがかけがえのない財産になると思う。リニアができるのは残念です。少しでも自然を残してほしいです。

● 小原（相模湖地区）

* 他県や近隣へのアナウンス力が弱い。もっと観光分野を充実させる。

* 住民の意見を尊重しつつ、外部の人に場所、ビジネスチャンスを開放する。その際は市や住民もできる限りサポートする。コミュニケーションを大切にする。地域活性を勉強している大学生に関わってもらい、新しいアイデアをどんどんもらう。学校で学んでいることを実践する場として利用してもらう。

* 観光依存（観光客依存の経済（ワークスタイル）が収入減）からの脱却

観光依存をしている気がするので、そういった古いスタイルから仮想空間（物理的のみの経済から、仮想的経済をも活用できるようにする）も活用して、より多くの集客を図ること。また、それらを可能とするための学習機会（講演会など）の増新設。物理的経済（観光や人的物流依存）だけだと、コロナの騒動だけで地域の収入が激減してしまうなどの弱点がある。ただし、本来のワークスタイルを消したり、総入れ替えするのは困難なので、少しずつ向上・改善・効率化を図る。

* 無理な活性化は必要ないと思います。活性化を狙い、不必要なアミューズメントパークなどを造っても、その時限りに終わるかもしれません。活性化を図りたいのであれば、公共交通機関を良くし、たくさんの人達が来やすいようにしたら良いと思います。

* 1. 地産地消の推進と耕作放棄地対策として

市が空いている農地を貸し出す制度を作り、希望する市民に貸し出し、地産地消と耕作放棄地を減らし、地域の活性化と交流を図る。貸し出す所有者と借りる市民と相模原市の3者がウインウインとなるような制度を作る。

2. 鳥獣被害対策として

小原地区では滅多に猪は見ませんが、被害の多い地区で一定数になるまで、食用になる猪、鹿を捕獲し、加工・販売できる仕組みを作り、鳥獣被害対策と同時に地域の特産品に育て上げる。

3. 移住希望者対策として

市が空き家数を把握し、空き家の所有者に貸し出しや売却の意思を確認し、データを集めて管理。全国の移住希望者に紹介できる仕組みを作ります。そのためにも上記1や2のような対策を取り、地域が荒れないような取り組みを常にして、魅力ある相模原市を全国に発信する必要があります。

緑区は土砂災害指定区域に指定されている箇所が多々ありますので、積極的に対策して、安全・安心な地域であることも全国に発信してほしいです。

● 千木良（相模湖地区）

- * **相模湖を活用した観光地としての充実**。現在は特にこれといった観光客を呼べるようなメインになるものがない。近くにプレジャーフォレストがあるが、せっかくの人を呼べるチャンスを生かしていない。湖の回りにイルミネーションをすとか、観光客を呼べる対応が必要である。
- * 保育園等の子どもに対する施設を充実させて、**若い人達の定住および移住を促す**。
- * 当市でも近所に**空き家**が目立つ。まだ充分居住できるのにもったいない。何とか有効利用できないか？
- * 相模湖は登山初心者向けのルートがあり、プレジャーフォレストや藤野芸術の家など観光資源を生かしていない。まずは**神奈川県民にアピール**が必要だと思います。交通の便も悪く、高尾山より先に行くのもためらうし、相模湖に行くなら宮ヶ瀬湖に行く人が多いと思います。
- * **自然環境の良さ、都心への近さ（通勤範囲）等アピール**し、空き家など活用した**短期の移住体験**など。
- * 都市化しては、せっかくのこの地域の魅力が薄れる。住民の年齢構成のバランスをとるよう適度な移住、少子化対策を進める。

自然と親和性のあるイベント、店、業界の誘致。

- ・ボート、カヌー ・薪ストーブ
- ・農業 ・ロッククライミング、ボルダリング
- ・自転車競技 ・キャンプ
- ・天体観測 ・カフェ
- ・音楽イベント ・登山
- ・バードウォッチング ・園芸、ハーブ

空き家の更地化（農地化）の費用支援するなど、景観の向上や農地・農業拡大を進める。

- * このようなアンケートを、是非未来ある中高生にも実施してみるといいと思います。
- * 資源としては人という資源に勝るものはない。現存する人的資源を最大限に活かす必要がある。少子化が進行し、高齢者が増加しつつある現状では、**高齢者の活動を活発にすること**が最も重要であると思います。
- * ・千木良の里にも空き家や空き地（雑草地）がたくさんあります。そこでこれを活用し、地域活性化にと記入しました。市が空き家の持ち主に依頼をし、安く提供してもらい若い住民を受け入れる。人口を増やす事が一番の市を守ることに通じる。
- ・空き地もたくさん雑草地になっております。守る会とかを発足させ、四季折々の草花を植えて観光客を呼ぶ。ここ千木良の地には、東海道自然歩道が高尾から通じている弁天島～相模湖を花いっぱいにする。
- ・小原にある小原の郷と本陣の使用方法ですが、一日開けることに対して人件費や電気・水道代が出費する訳ですから、何かこの建物の活用に収入を得られる方法を考えてほしい。本陣は入館料を 100 円でも取ったらと思う。何の収入もなく、助成金で賄うという方法は如何なものかと思う。

● 与瀬（相模湖地区）

- * 相模湖周辺を主体にして、**老若男女向けの健康増進策**を講じる。つまり、自然環境を楽しむ整備を行う。これに関連するイベントも（宣伝も兼ねて）実施する。
- * JRの駅があることをもっと利用できないか。あまりにも相模湖駅が活性化していない。残念な気がする。
- * 相模湖駅前にコンビニを一店設けると、ぐっと便利になる。花火大会のように **PRを大々的にやる**（与瀬神社のお祭り、大名行列、相模湖のイベント）。
- * 若い人達が住むやすくなるように、電車の本数を増やして、都会にも通いやすくなると思う。
- * ・プレジャーフォレストの行き帰りに**ちょっと寄ってみたいと思うような場所**を作る。
 - ・人が来ない、店主の高齢化などで閉店している駅前や、湖畔の閉まっている店舗をなくす。貸店舗として活用する。
 - ・20代、30代、40代の若い世代に意見を聞いてみる。人を集めて会議みたいになると発言しづらいので **SNSを活用**。普段ちょっと気になっていることや、あったらいいなと思っているもの、田舎では無理だと思っていることなど、何気ないことに発見があるかも。
 - ・ショッピングモールを造る。
 - ・自然を活かしてグランピング施設を造る。
- * 活性化を考える 地域から人を出して、委員会設置となるだろうが、若い人、転入者からの意見を聞く耳を持たない雰囲気が強い地域なので、その点を考慮してほしい。
- * 活性化などはできない地域です。その理由は、
 - ・地形的に傾斜地。耕作するだけの面積がない
 - ・湖があるために規制が多く、産業には不向きではどうすれば良いのか。**効率的なコンパクトシティ**が好ましい。駅周辺に役所、学校、病院、郵便局、店舗を集中させる。東西1km、南北500m位の範囲が理想。この考え方、すでに与瀬地区はコンパクトシティに近い地域です。欲を言えば狭い道路を拡幅、スーパーを1軒造れば充分。全国的に地域活性化を叫んでいますが、どこも実現していません。原因は人口減少です。もしも子ども3人生んだら、1千万円を市からあげれば活性化になる可能性もあります。古代ローマではこれで蘇ったそうです。
- * ・地元民でも地元のイベント情報がわからない。**広報**の再検討。
 - ・女性が参加しやすいイベントの企画。
 - ・駅前商店街を駅ビルにまとめる。
 - ・駅から相模湖までの動線をわかりやすく、便利にする。
 - ・相模湖公園の運営をプレジャーフォレストと同じにする。
 - ・「あずさ」や「かいじ」が停車できるようにする。通勤に有利。
 - ・目の前が相模湖なのに、水道水がカビ臭くまずい。改善が必要。

● 佐野川（藤野地区）

- * 猿、猪、アナグマ、ハクビシン、鹿などの被害は深刻です。人と共存できる数の管理が緊急課題です。単なる保護ではすまされません。
- * 相模原市の中心地ばかりいろいろな建物があり、緑区には何もなしです。緑区にも何か、**皆が集まるところ**がほしいです。
- * 市外から佐野川地区に移り住んだ。自然環境については申し分ないと思うが、地域にもともと住んでいる人達の間、自分達の環境についての**関心**、あるいは**誇り**が薄いことに残念な気持ちである。私は市外からの移住者として、今の環境を「消費」しているだけで、「生産」していないという負い目を常に持っている。旧藤野・佐野川地区は首都圏にも交通網でつながっている地域であり、もっともっと外に開いた目で活性化を図りたい、図ってほしいと思っている。残念なことに旧藤野町の南側（駅より南）の地域には、移住者が多くいるということだが、北側はまるで時計の針が止まっているかのようで、移住してきている人の存在が見えない。ただ山、畑が荒れるばかり。今後 10 年以内には限界集落化してしまうのではないかと心配している。もったいない。
- * 猿の威嚇等の**安全対策**を実施し、地域の散策ができるようにしたい（散策コースは四季を通して自然を感じたり、富士山が見える）。
- * 晴れた日には山が北側に多いためカラッと日当たりがよく、また時に霧が深く立ちこめ、しっとりとした空気に包まれるなど、**自然豊かで落ち着いた雰囲気**のある佐野川地区は、大人が休日に訪れて休むのにとっても良い場所だと思います。都心でハードワークをして、疲れ切った人たちを受け入れて、再生できるような場所だと思います。旧スタジオフジノのような場所が一ヶ所ではなく数ヶ所点在し、**車がなくてもバスで移動が可能**になり、欲を言えば温泉施設（木を基調としたこぎれいな）があれば、人は来ると考えます。人が来れば、佐野川を出てしまった次世代も帰ってきてくれるのではと期待します。**デジタルデトックスなどの企画**もよいですね。
- * **田舎に住みたい人の応援**。空き家の活用と、使っていない畑を活用して人口を増やしたい。

● 澤井（藤野地区）

- * 沢井トンネルが狭い問題が第一と考える。トンネルのイメージが強く、若者が訪れることが少ない。
- * 地域（地元）を愛する人が積極的に集い、ポジティブな意見を出し合い、10年、20年...継続できる地域事業。収入が確保できるような地域の景観を活かせる何か？新登山口（ルート）陣馬山等、農産物の販売所（道の駅、野菜マルシェ、ファーマーズマーケット）。
- * 大日野原の活用。
- * 澤井地区は観光地として有名な陣馬山の入口ですが、澤井隧道が対面通行できないので、対向車が通過するまで待機しなければならないという時間のロス。そして大型車は無理という、交通機関の不便が多分にあると思います。隧道の拡張または新設を望んではいるが、現状では無理だと思います。交通機関の充実ができないと、当地区の将来の展望は難しいと思います。
- * ハイキングをする人が増えている。陣馬山は都会から近く、小さな子どもから年配の人まで手軽に登ることができる。山頂からの展望は素晴らしく、とても良い山だと思う。それでも高尾山などに比べると、訪れる人も少なく、知名度も高くない。どこに原因があるか考えてみると、一つは登山道だと思う。杉や檜の人工林の中を通る所が多く、暗いし展望も良くない。歩いていて楽しくない。そこで登山道の両側 2~30メートルだけでも伐採して、花木を植えたら良いと思う。登山道が花のトンネルのようになれば、それを目当てに訪れる人も増えると思う。明るい登山道は気分も良い。人がたくさん来てくれることが、地域活性化の第一歩だと思う。
- * ・陣馬山から高尾山ルートの登山道の整備を図り、観光客の集客を図る。
 - ・大日野原は農用地として 30ha の平地が広がっており、休耕地や荒地とするのは非常にもったいない。澤井地区の活性化のためには、大日野原の有効活用が必要であり、滞在型の農園として整備するなど抜本的対策が急務である。
 - ・澤井地区は沢井川を中心に平坦であり、健康管理のため、現状でも多くの人がウォーキングを楽しんでいる。沢井川岸を中心に遊歩道の整備を進め、さらに健康管理のためのウォーキングを楽しめる場所とすることが可能である。大日野原等の林地に遊歩道を広げていくことで、体力にあったウォーキングロードが整備できる。
 - ・陣馬山を離陸場～大日野原を着陸地とするパラグライダー場としての活用も一考の価値があると思う。

● 牧野（藤野地区）

* 篠原に FM ラジオ局を開設したいね、と近所の仲間で話しています。地域のホットな話題や役立つ情報を共有したり、発信したりする中で、新しい活動が生まれると思います。また、元から住んでいる方々が知っている地域の魅力の他にも、いろいろな魅力が新住民から伝えられると思います。FM さがみがここでは受信できません。ぜひ篠原にラジオ局を作るサポートをしてください。

* 空き家などを使った定住者を増やすこと（低家賃）

・ バス以外での買い物等の移動をしやすくする。ボランティアの組合で送迎を行う。市が保険と実費を負担できるか。

* 牧野地区で 15 年以上、旧牧野小学校を中心に活動してきましたが、なかなか活性化できていないとは思いません。地域の活性化の難しさを感じています。近い将来、この活動も終了の予定です。

* < 古民家や空き家を使った宿泊施設の運営 >

・ 自然を生かす（緑や温泉）

・ 田舎暮らしのおためし

・ オリンピックや国際大会誘致の際の宿泊施設使用によるインフラへの提案

・ 田舎の地形を利用することによるレジャー施設やそれに伴う運営による人材確保（人口増加）と雇用促進

・ 空き家の管理（財産の活用）

・ 活躍の場を創り出すことによる地域住民の生きがい

・ イベント会場になることによる物流など含め、地域にお金を落とすことがでてる

* 芸術の街らしいイベントのアピールをもっとしたほうが良いと思う。

* 素晴らしい自然に溢れている土地にもかかわらず、樹木の手入れをしていないため景観が悪い。地元の郷土料理を発掘し、観光客を今以上に呼べる場所にしてほしい。都心の人には車を持っている人が少なく、電車で動くが、藤野はバスもあてにできず…。いやしの湯が駅までのバスを通してくれるのであれば、電車客でも行ける場所が多くあると思います。地元の施設が市と協同で活動できれば、町は豊かになるでしょう。

* この地域の人達は、放っておいても独自に勝手に動きます。だからこそ、その活動をサポートするような仕組みが行政側にあると嬉しい。メッセージ事業はまさにそれですが、もっと規模を大きくしても、その分面白いことが起きると思う。個人的には市部と山間部がもっとつながるといいと思っています。市の中に都市も山林も含まれている行政はあまりありません。地域内で循環型社会を構築して実現してみたい。それができる都市だと思えますし、せっかく合併したのだから、そういう個性を作り上げたい。相模原市全体の見せるようなオウンドメディアがあるといいのにとおもいます。ローカルでは今こうしたメディアを持つ自治体は多いです。市部の人には山間部に、山間部の人に市部に関心を持つような仕掛けが、今はないと感じます（本職でまちづくり系のライターをしている者です。もっとちゃんとイケてる情報発信したいです）。

* 若者が住みたいと思える地域にしていかなければ活性化はないと思います。そのためには、空き家、倉庫、使わなくなったお店等、また農地の利用法も必要だと思います。

* 被災状況の連絡を文書等にて回答を得ようとしても、全くの無回答です。住民からの要望

には、即目に見える形で回答を望む。現在は住民の要望等には全く耳を傾けてもらえない。このような状況では、行政と地域住民との溝ができ、地域との連携が薄れます。地域住民の協力なしでは、地域の活性化は望めない。行政はもっと地域住民に安心・安全な生活環境を作ってほしい。

- * 元々の住民と移住してきた住民とが上手く連携していくことが重要かと。特に移住者の中には、様々な専門的スキルを持っている方も多いので、地域活性化のための重要な戦力になると思われる。
- * 藤野は新しい生き方、ストレスのない伸び伸びとした人生を過ごせるまちとして、精神的な豊かなまちのイメージが広がってきているような気がします。そのためにも自然と緑の保全是、より大切な事柄です。リラクゼーションエリアとしての価値を大切に考えていただければと思います。
- * 地域によって年間色々なイベントをやっているように見えますが、地域が違くと情報が入ってこなかったりするので、SNS等でもっと発信して、外部(県外)からも人が興味・関心をもって来られるようにする。そのためには交通の便を充実してほしい。藤野地域だけでは衰えていくだけ。他の人をもっと受け入れて、自分達だけで楽しんで、満足しない方向に持って行ってほしい。
- * 新しい知恵やネットワークのある移住者と、古くからの智恵を持つ地元民がいる。この交流をさらに進め、また行政とも連携することで、SDGsも絡めた先進的なエリアになれる可能性を藤野は持っていると思う。それを育みつつ、将来的には津久井全域に広げ、また西部地域と住宅地の東部が連携していければ、面白い相模原市になると思う。ただ行政主導では上手くいかず、補助金漬けでも上手くいかないと思うので、動きがあるところをサポートいただけると良いように思う。特に林業は日本円の下落により伸びしろのある産業だが、従事者が5万人を切り、後継者の課題がある。森林環境税なども活用し、新しい従事者の育成等にも力を入れていただきたい。